商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

eco info
この説明書は 100%古紙再生紙を使用しています。
待機時消費電力：0.5W
はんだ付けに無鉛はんだを使用
キャビネットおよびプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用
包装用緩衝材に再生発泡スチロールを使用

Sony Corporation　Printed in Japan

http://www.sony.net/

SONY *Video Projector* VPL-VW100

SONY

2-655-463-**01** (1)

Video Projector

取扱説明書 JP

使用说明书 CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-VW100

VPL-VW100　2-655-463-01(1)

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

４～９ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

５年に１度は、内部の点検を、お客様ご相談センターにご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お客様ご相談センターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お客様ご相談センターに連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

VPL-VW100 2-655-463-01(1)

目次

JP

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。

- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お客様ご相談センターに交換をご相談ください。

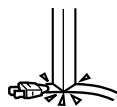
指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお客様ご相談センターにご相談ください。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから 1 時間以上たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お客様ご相談センターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 20cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

幼児の手の届かない場所に置く

禁止

本体の高温部でやけどしたりする場合があります。
お子様がさわらないようにご注意願います。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付け、移動は必ずお客様ご相談センターにご相談ください（有料）。
天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下し大けがの原因となります。必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は、取り付けを安全に行うために、必ず本機、およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する

指示

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

⚠注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台や棚の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

禁止

火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスター調整は慎重に行ってください。アジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお客様ご相談センターにご相談ください(有料)。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、キセノンランプを使用しています。キセノンランプには、次のような特性があります。

・衝撃や、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯となって寿命が尽きることがあります。
・個体差や使用条件によって、寿命にバラツキがあります。
・交換時期を越えると、破裂、不点灯やチラつきの発生の可能性が高くなります。
「ランプ／フィルターを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから 1 時間以上たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

⚠注意

破裂

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内に破片が飛散している可能性があります。 **お客様ご相談センターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。
速やかに医師にご相談ください。

ランプの重量についての注意

注意

ランプは重いので(約 2.9 kg)取り扱いには、十分ご注意ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

お客様ご相談センターに連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

↓

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

破裂
高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、**死亡**や**大けが**などの人身事故になることがあります。

・乾電池は充電しない。
・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
・指定された種類の電池を使用する。

注意

破裂

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

・投げつけない。
・使用推奨期限内(乾電池に記載)の乾電池を使用する。
・⊕と⊖の向きを正しく入れる。
・電池を入れたまま長期間放置しない。
・新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
・種類の違う電池を混ぜて使わない。
・水や海水につけたり濡らしたりしない。

警告

使用済み乾電池は、地域のルールに従って処分してください。

各部の名前

本機前面／右側面

本機のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

ON/STANDBY　POWER SAVING　LAMP/COVER　TEMP/FAN

吸気口
（☞ 16 ページ）

ON/STANDBY（オン／スタンバイ）ランプ
（☞ 24 ページ）

POWER SAVING（パワーセービング）（節電）ランプ（☞ 54 ページ）

LAMP/COVER（ランプ／カバー）ランプ
（☞ 65 ページ）

TEMP/FAN（テンパラチャー／ファン）ランプ
（☞ 65 ページ）

リモコン受光部
（☞ 24 ページ）

PUSH

カバーを押して開ける。

LENS　MENU　INPUT　I / ⏻

LENS（レンズ）ボタン
（☞ 24 ページ）

↑/↓/←/→（矢印）/ENTER ボタン（☞ 44 ページ）

MENU（メニュー）ボタン
（☞ 44 ページ）

INPUT（インプット）（入力切換）ボタン
（☞ 33 ページ）

I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチ
（☞ 25 ページ）

VPL-VW100
2-655-463-01 (1)

本機右側面

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

本機後面／底面

吸気口
(☞ 16 ページ)
トップカバー（天板）
(☞ 69 ページ)
排気口
(☞ 16 ページ)
リモコン受光部
(☞ 24 ページ)

カバーリリースレバー
(☞ 69 ページ)
天井つり金具取り付け穴
(☞ 84 ページ)
アジャスター
(☞ 28 ページ)
フィルターホルダー
(☞ 72 ページ)
吸気口
(☞ 16 ページ)

リモコン

リモコン発光部

インプット
INPUT（入力切換）ボタン（☞ 33 ページ）

ライト
LIGHT ボタン
押すとリモコンのボタンが光ります。

I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチ（☞ 25 ページ）

ピクチャーモード
PICTURE MODE ボタン（☞ 39 ページ）

🡅/🡇/🡄/🡆（矢印）／エンター ENTER（確定）ボタン（☞ 44 ページ）

ADJ PIC ボタン（☞ 40 ページ）

メニュー
MENU ボタン（☞ 44 ページ）

レンズ
LENS ボタン（☞ 24 ページ）

リセット
RESET ボタン（☞ 47 ページ）

ワイドモード
WIDE MODE ボタン（☞ 36 ページ）

RCP（リアルカラープロセッシング）ボタン（☞ 42 ページ）

ブライト
BRIGHT ボタン＋／－（☞ 40 ページ）

コントラスト
CONTRAST ＋／－ボタン（☞ 40 ページ）

VPL-VW100
2-655-463-01 (1)

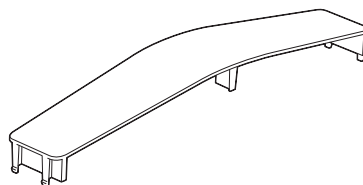
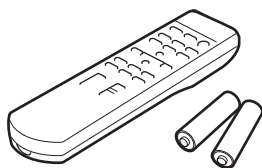
接続と準備

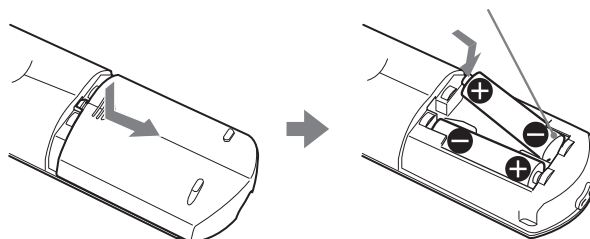
この章では、プロジェクターとスクリーンの置く位置を決めたり、プロジェクターで映す機器との接続のしかたなどを説明します。

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

・リモコン（1 個）と
単 3 形乾電池（2 個）

・エアフィルターカバー（1 個）
天井つりの場合のみ使用します。
（☞ 84 ページ）

・電源コード（1 本）
・ImageDirector2 CD-ROM（1 枚）
・プラグホルダー
電源コードが抜けないように、付属のプラグホルダーを必ず取り付けてください。
・レンズキャップ
お買い上げ時は本体に取り付けられています。ご使用時は取りはずしてください。
・取扱説明書（本書）（1 部）
・保証書（1 部）

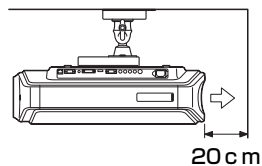
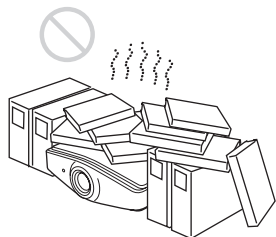
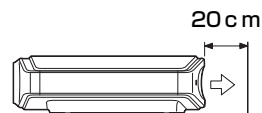
リモコンに電池を入れるには

手順 1：プロジェクターを置く

プロジェクターは、ビデオ機器などからの映像をスクリーンに映します。本機はレンズシフトにより、置き場所を広範囲に選べて簡単に美しい映像をご覧いただけます。

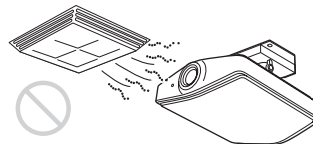
プロジェクターを置く前に

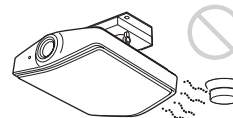
設置に適さない場所

次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

風通しの悪い場所

⇨：排気

本機の性能信頼性のために、後面から20cm 以内には物を置かないようにしてください。壁は高温になる恐れがありますのでご注意ください。

温度や湿度が非常に高い場所

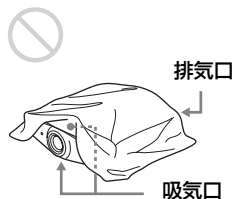
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

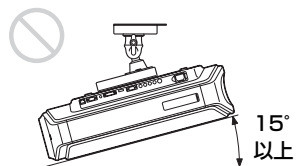
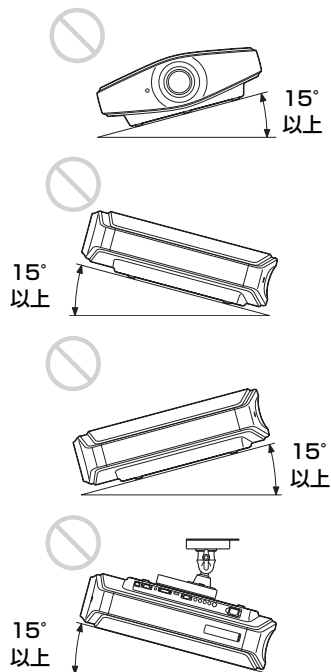
ほこりが多い場所、たばこの煙などが直接入る場所

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

吸排気口を覆う

ちょっと一言

吸排気口の位置について詳しくは、「各部の名前」（☞ 10 ～ 12 ページ）をご覧ください。

本機を前後左右に傾ける

プロジェクターを 15 度以上傾けたり、床置きおよび天井つり以外での設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの信頼性を著しく損ねる原因となることがあります。

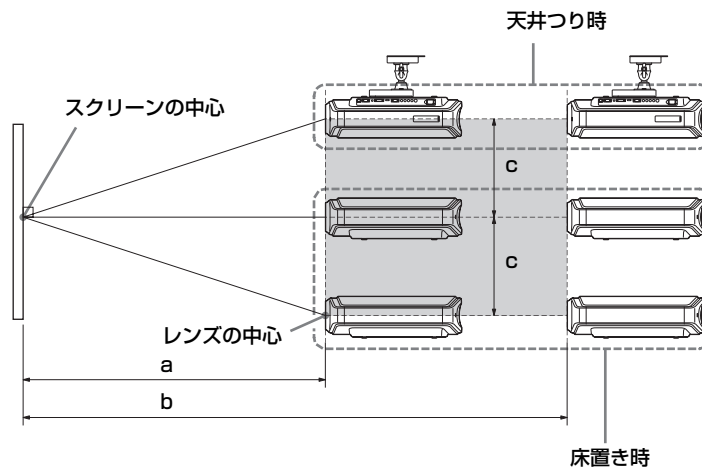
標高の高い場所でご使用になる場合

海抜 1500m 以上の場所でのご使用に際しては、設置設定メニューの「高地モード」で設定を「入」にしてください。（☞ 56 ページ）そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

スクリーンとプロジェクターの置く位置を決める

お使いになるスクリーンの大きさ（投影サイズ）によって、スクリーンとプロジェクターとの位置関係が変わります。プロジェクターのレンズ中心からスクリーンまでの距離を投射距離といいます。

1 スクリーンとプロジェクターを置く位置を決める。

図の　　　の範囲内にレンズの中心が入るようにプロジェクターを置くと、画質を損なうことなく投影することができます。次ページの表の a、b、c の距離を目安に、スクリーンとプロジェクターの置く位置を決めてください。

a：スクリーンからプロジェクターのレンズ中心までの投射距離（最小）
b：スクリーンからプロジェクターのレンズ中心までの投射距離（最大）
c：上レンズシフトを最大にしたときのスクリーン中心からプロジェクターのレンズ中心までの垂直距離

◆レンズシフトについて詳しくは「手順 3：画面の位置を調整する」（☞ 24 ページ）をご覧ください。

16:9 スクリーン使用時

単位：mm

投影サイズ（インチ）	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	1212	1842	2472	3102	3732	4677	5622	6252	7827	9402
b	2105	3181	4257	5333	6409	8023	9637	10713	13403	16093
c	324	485	647	809	971	1213	1456	1618	2022	2426

設置寸法の計算方法（SS：スクリーンサイズ）
a 最小値 =31.5 × SS － 48.2
b 最大値 =53.8 × SS － 46.9
c 値 =8.0876 × SS

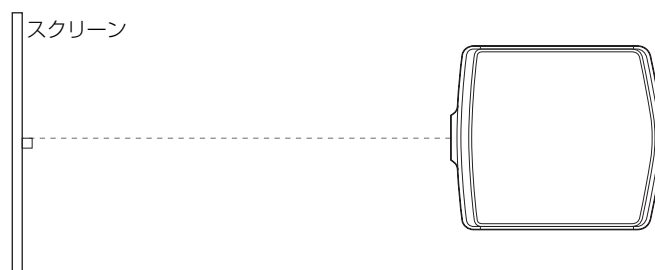
4:3 スクリーン使用時（4：3 映像投影）

単位：mm

投影サイズ（インチ）	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	1494	2265	3036	3807	4578	5734	6891	7662	9590	11517
b	2587	3904	5220	6537	7854	9829	11805	13122	16414	19706
c	396	594	792	990	1188	1485	1782	1980	2474	2969

設置寸法の計算方法（SS：スクリーンサイズ）
a 最小値 =38.551 × SS － 48.2
b 最大値 =65.842 × SS － 46.9
c 値 =9.8979 × SS

2 **レンズがスクリーンに平行になるようにプロジェクターを置く。**

上から見た図

3 スクリーンに画像を映して画面の位置を調整する。（☞ 24 ページ）

スクリーンに画像を映すには、ビデオ機器などを接続します。（☞ 20 ページ）

ご注意

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、プロジェクターとスクリーン間の距離やズーム倍率によっては、まれに画面上に縞模様が現れることがあります。これはプロジェクターの故障ではありません。

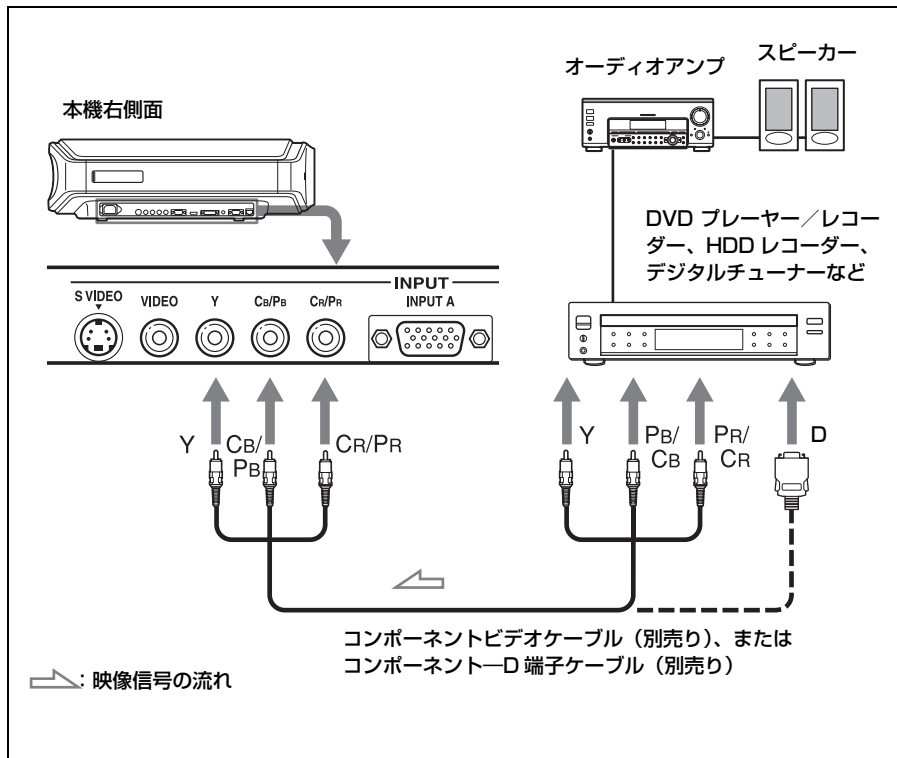
◆天井つりで設置する場合は、「天井つり」（☞ 84 ページ）をご覧ください。

手順 2：プロジェクターで映す機器をつなぐ

接続するときは

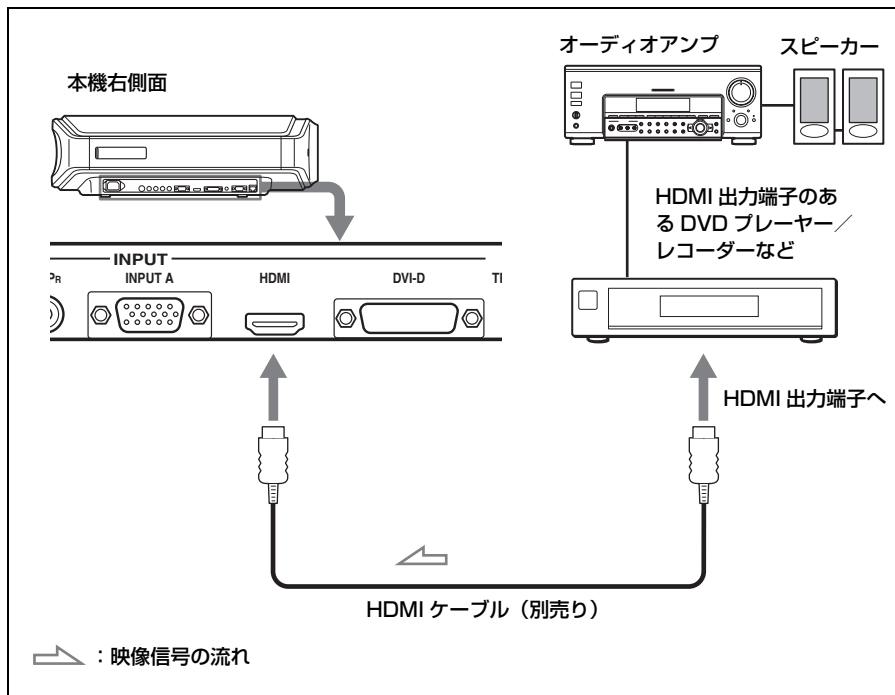
・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVD プレーヤー／レコーダー・デジタルチューナーなどをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子、または D 端子のある DVD プレーヤー／レコーダー、デジタルチューナーをつなぐ場合

ちょっと一言

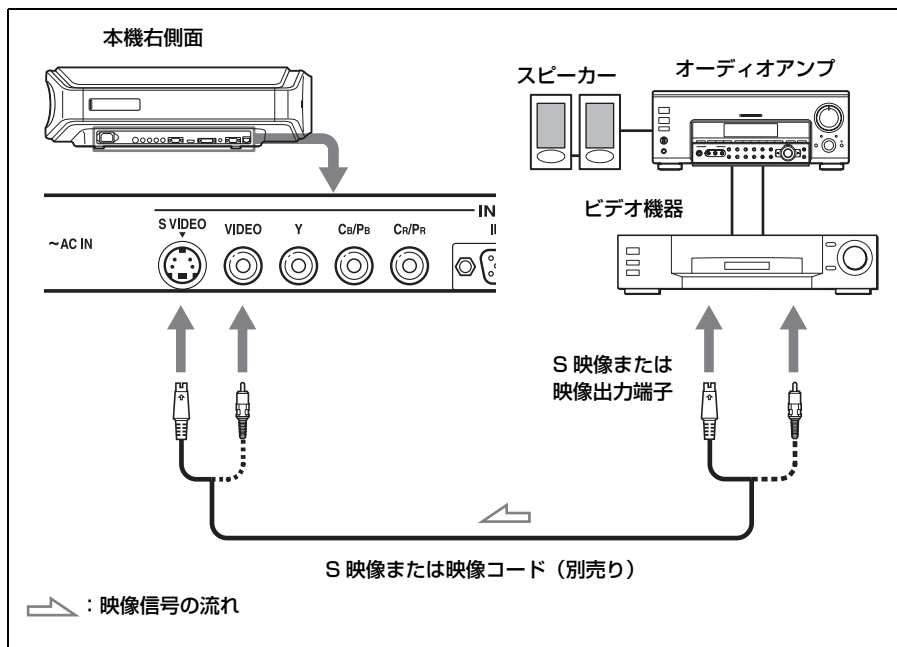
コンポーネントビデオ出力端子や D 端子のない DVD プレーヤー／レコーダー、HDD レコーダー、デジタルチューナーなどを本機とつなぐ場合は、DVD プレーヤー／レコーダー、HDD レコーダー、デジタルチューナーの S 映像出力端子と S 映像ケーブルでつなぐことをおすすめします。S 映像出力端子がない場合は映像ケーブルでつないでください。

HDMI 出力端子のある DVD プレーヤー／レコーダーをつなぐ場合

HDMI 出力端子のある DVD プレーヤー／レコーダーなどは、本機の HDMI 入力端子につなぐとより高品質の映像をお楽しみいただけます。

HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC 社の商標または登録商標です。
HDMI 規格の Ver.1.1 に準拠しております。

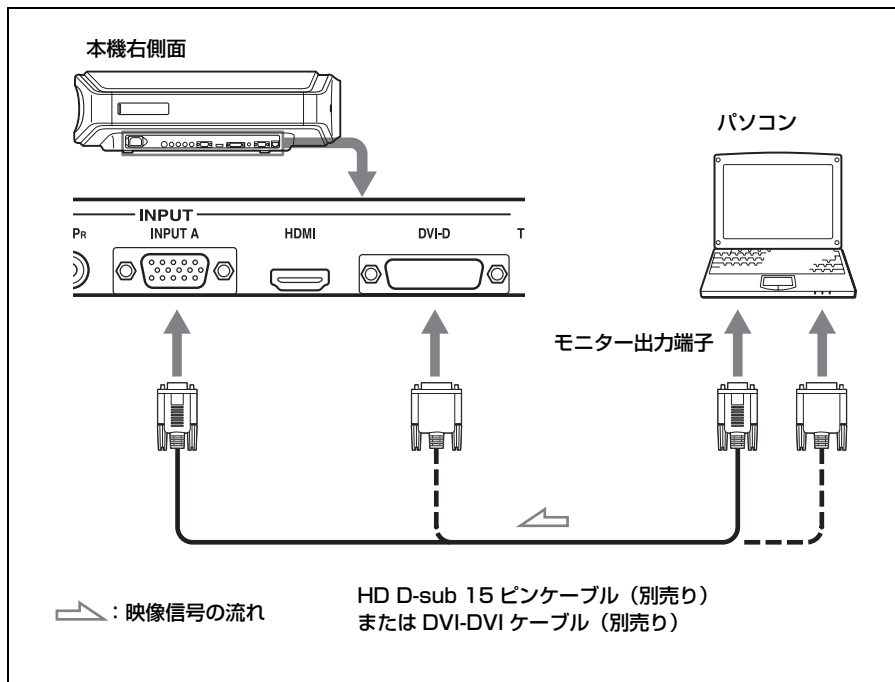
ビデオ機器をつなぐ

S 映像端子または映像端子のあるビデオ機器をつなぐ場合

コンポーネント出力端子のない DVD プレーヤー／レコーダー、ハードディスクレコーダー、ビデオデッキ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

ちょっと一言

よりよい画質でご覧いただくために、S VIDEO INPUT（S 映像）端子につなぐことをおすすめします。

つなぐ機器に S 映像出力端子がない場合は、VIDEO INPUT（映像）端子につないでください。

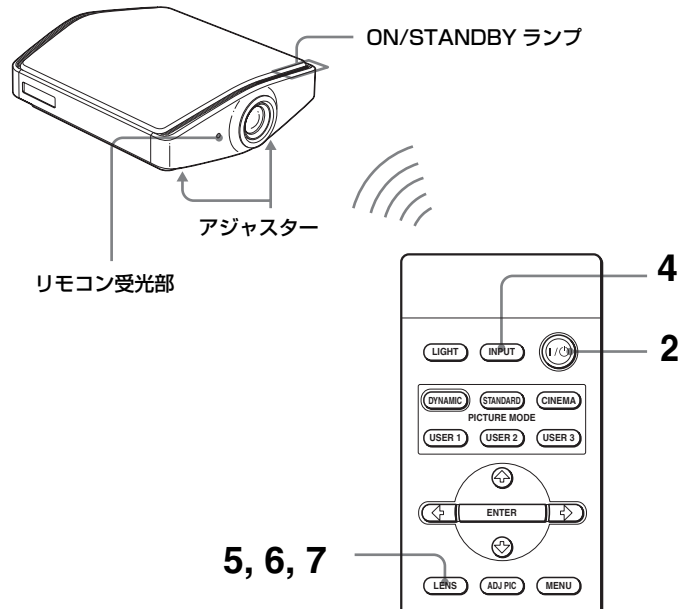
パソコンをつなぐ

ちょっと一言

「初期設定」メニューの「入力 A 信号種別」、「DVI 信号種別」で「オート」または「コンピューター」を選んでください。入力信号が正しく表示できない場合は「コンピューター」を選んでください。（☞ 57、58 ページ）

ご注意

ノート型のパソコンで、出力信号をパソコンの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、パソコンを設定してください。

手順３：画面の位置を調整する

スクリーンに画像を映して画面の位置を調整します。

ちょっと一言

本体側面のI/⏻（オン／スタンバイ）、INPUT（インプット）、LENS（レンズ）、MENU（メニュー）、↑/↓/←/→/ENTER（エンター）（ジョイスティック）ボタンは、リモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

ご注意

設置場所によってはリモコンで操作できないことがまれにあります。その場合は、リモコンをスクリーンに向けて操作してください。

1 電源コードをコンセントにつなぐ。

ON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

2 I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押して電源を入れる。

ON/STANDBY ランプが緑色に点滅したあと、点灯します。

3 接続した機器の電源を入れる。

それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

4 INPUT ボタンを押してスクリーンに画像を映す。

押すたびに入力信号の画面表示と投影される機器が切り換わります。（☞ 33 ページ）

ちょっと一言

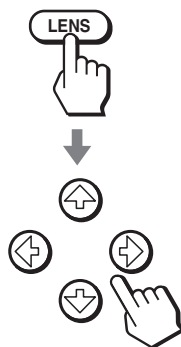
「機能設定」メニューの「オート入力サーチ」が「入」に設定されている場合は、INPUT ボタンを押すと自動的に入力信号のあるチャンネルに切り換わります。（☞ 54 ページ）

5 画面の垂直位置を調整する。

LENS ボタンを繰り返し押してレンズシフト調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで最適な画面の垂直位置を選択する。

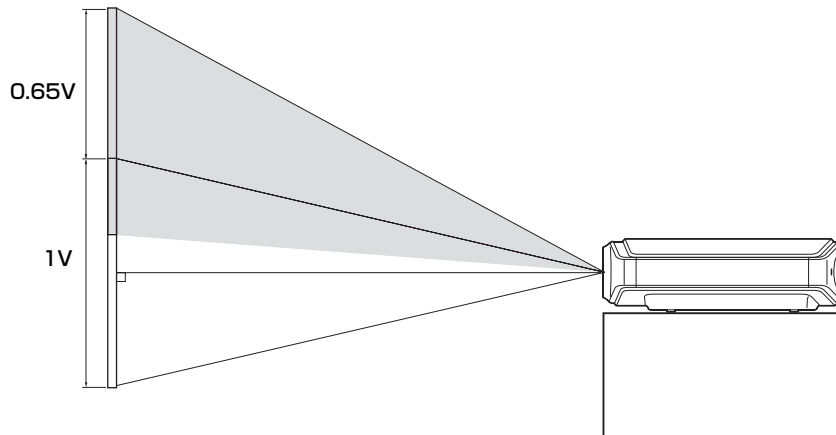
↑ または → ボタンを押すと、画面位置は上方向に移動します。

↓ または ← ボタンを押すと、画面位置は下方向に移動します。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

ちょっと一言

「設置設定」メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている場合は、垂直位置調整ができません。（☞ 55 ページ）
「機能設定」メニューの「テストパターン」が「切」に設定されている場合は、「パターン画面」が表示されません。（☞ 54 ページ）

レンズの中心から上方向に 0.65 画面投影画面を移動できます。

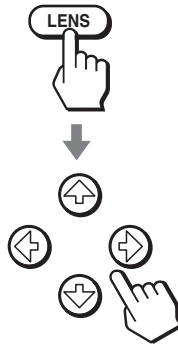
横から見た図

：レンズシフトを最大にしたときの画面位置

ちょっと一言

画面の水平位置も微調整できます。
詳しくは「左右の画面位置を微調整する」（☞ 91 ページ）をご覧ください。

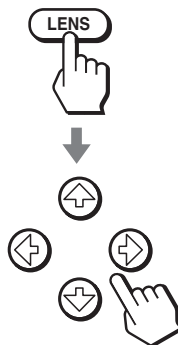
6 LENS（レンズ）ボタンを繰り返し押してレンズズーム調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の大きさを合わせる。

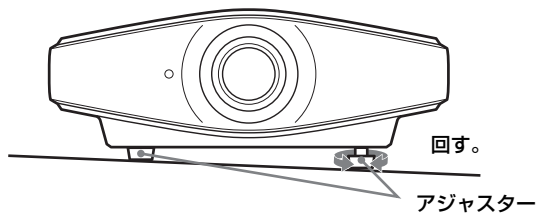
↑ または → ボタンを押すと、画面は大きくなります。
↓ または ← ボタンを押すと、画面は小さくなります。

接続と準備

ちょっと一言

「設置設定」メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている場合は、レンズズーム調整、また次のレンズフォーカス調整ができません。（☞ 55 ページ）

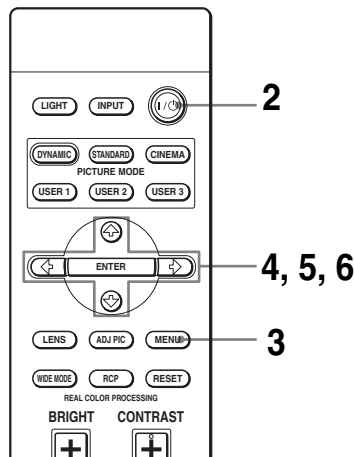
「機能設定」メニューの「テストパターン」が「切」に設定されている場合は、「パターン画面」が表示されません。（☞ 54 ページ）

7 LENS（レンズ）ボタンを繰り返し押してレンズフォーカス調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面のピントを合わせる。

設置面の傾きを調整するには

プロジェクターを置く台などが水平でない場合は、アジャスターを使って調整できます。

ご注意

アジャスターを回しているとき、手を挟まないようご注意ください。

手順４：画面に表示される言語を選ぶ

メニュー画面やメッセージなどの表示言語を 15 言語から選ぶことができます。
お買い上げ時は英語で表示されるように設定されています。日本語表示に切り換えるには、メニュー画面で設定し直します。

ちょっと一言

リモコンの ↑/↓/←/→/ENTER ボタンは、本体側面の矢印ボタンでも同じ操作ができます。

1 電源コードをコンセントにつなぐ。

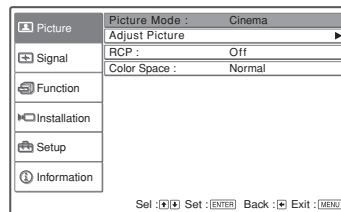
ON/STANDBY ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

2 I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押して、電源を入れる。

ON/STANDBY ランプが緑色に点滅したあと、点灯します。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

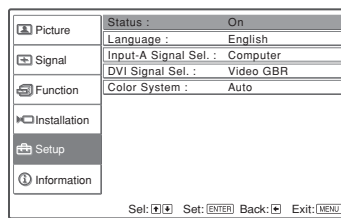
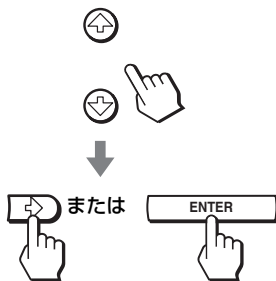
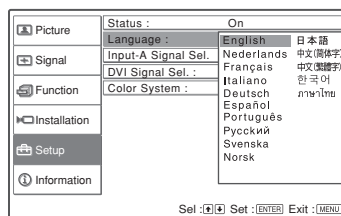
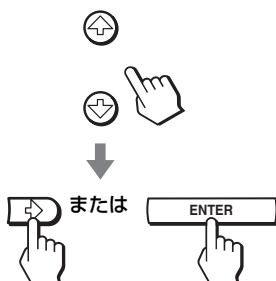
3 MENU ボタンを押す。

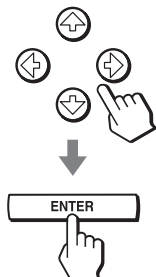
メニュー画面が表示されます。

4 ↑ または ↓ ボタンを押して「 (Setup)」メニューを選び、➡ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

Picture / Signal / Function / Installation / Setup / Information

Status : On
Language : English
Input-A Signal Sel. : Computer
DVI Signal Sel. : Video GBR
Color System : Auto

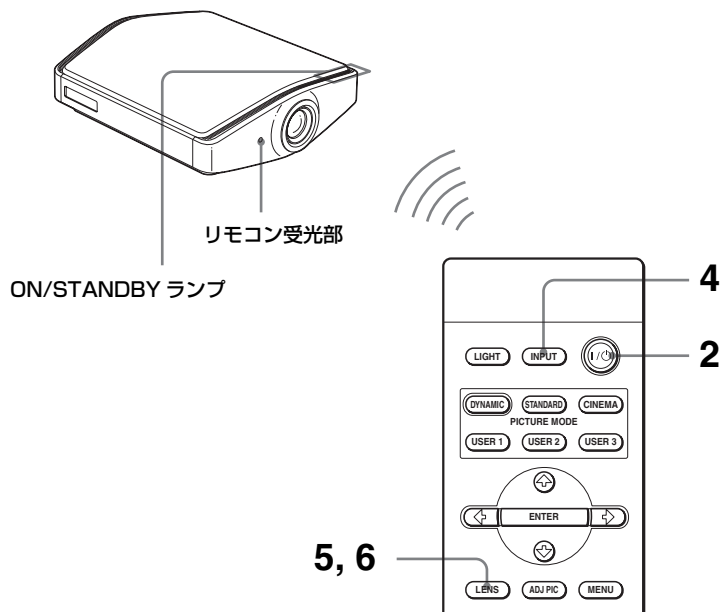
Sel: Set: ENTER Back: Exit: MENU

5 ↑ または ↓ ボタンを押して「Language」（表示言語）を選び、➡ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

6 ↑/↓/←/→ ボタンで「日本語」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す。

画面表示が日本語になります。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押します。

見る

この章では、プロジェクターにつないだ DVD プレーヤーなどの映像をスクリーンに映して見るときの操作を説明します。また、お好みに合わせた画質でご覧になる操作も説明しています。

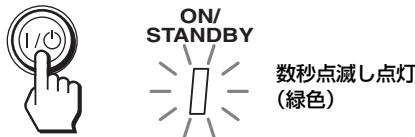
スクリーンに映像を映して見る

1 **電源コードをコンセントに差し込む。**

ON/STANDBY ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

見る

2 I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押してプロジェクターの電源を入れる。

ON/STANDBY ランプが緑色に点滅したあと、点灯します。

数秒点滅し点灯
（緑色）

3 接続した機器の電源を入れる。

それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

4 INPUT（インプット）ボタンを繰り返し押して、スクリーンに映したい機器を選ぶ。

スクリーンに見たい機器の表示が出るようにします。

例：本機の VIDEO INPUT 端子につないだビデオの画像を見る

画像を見たい機器	選択する画面表示
本機の VIDEO INPUT 端子につないだ機器	ビデオ
本機の S VIDEO INPUT 端子につないだ機器	S ビデオ
Y / CB/PB / CR/PR 端子につないだ機器	コンポーネント
本機の INPUT A 端子につないだ機器	入力 A*
本機の DVI-D 端子につないだビデオ機器	DVI*
本機の HDMI 端子につないだ機器	HDMI

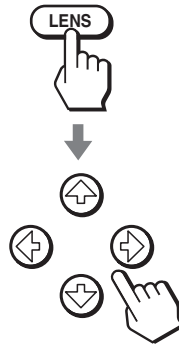
*入力する信号によって「初期設定」メニューで「入力 A 信号種別」「DVI 信号種別」を設定してください。「オート」に設定していて信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。（☞ 57、58 ページ）

ちょっと一言

「機能設定」メニューの「オート入力サーチ」が「入」に設定されている場合は、INPUT ボタンを押すと自動的に入力信号のあるチャンネルに切り換わります。

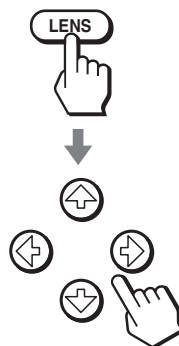
5 LENS（レンズ）ボタンを繰り返し押してレンズズーム調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の大きさを合わせる。

↑ または → ボタンを押すと、画面は大きくなります。

↓ または ← ボタンを押すと、画面は小さくなります。

ちょっと一言

「設置設定」メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている場合は、レンズズーム調整、次のレンズフォーカス調整ができません。（☞ 55 ページ）

「機能設定」メニューの「テストパターン」が「切」に設定されている場合は、「パターン画面」が表示されません。（☞ 54 ページ）

6 LENS（レンズ）ボタンを繰り返し押してレンズフォーカス調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面のピントを合わせる。

レンズの垂直位置を調整するには

LENS ボタンを使って画面の垂直位置を調整することもできます。
（☞ 25 ページ）

電源を切る

1 I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押す。

「パワーオフしますか？」というメッセージが表示されます。

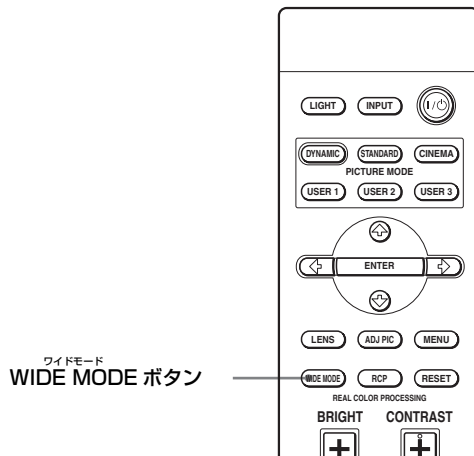
2 I/⏻ スイッチをもう一度押す。

ON/STANDBY ランプが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめは早い間隔で点滅します。この間は再び I/⏻ スイッチを押してもランプは点灯しません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBY ランプが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

上記の手順のかわりに I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチを約 1 秒押したままにしても電源が切れます。

ワイド画面を楽しむ

お好みの画面モードを選べます。メニューでも選べます。（☞ 51 ページ）

WIDE MODE（ワイドモード）ボタンを押す。

押すたびに、「ワイド切換」の設定が順次切り換わります。

「フル」

４：３にスクイーズされた映像を正しいアスペクトで映します。また、４：３の映像を映した場合は、左右に引き伸ばした状態になります。

ちょっと一言

スクイーズ：オリジナルの映像が縦長に圧縮されて記録されている状態をスクイーズと言います。

見る

「ノーマル」

アスペクト比４：３の映像を、画面の中央へ上下いっぱいに映します。

「ワイドズーム」

４：３の映像をそのまま拡大し、上下にはみでた部分の映像を圧縮して画面の上下に収めます。
ニュースやバラエティなど一般的なテレビ番組に適しています。

「ズーム」

４：３の映像をスクリーンいっぱいになるよう縦横同じ比率で拡大して映します。
レターボックス映像などに適しています。

「字幕入り」

字幕の部分を圧縮して画面の中に収めます。
字幕付きの映画やソフトに適しています。

ご注意

・「 信号設定」メニューの「垂直位置」は、「ワイド切換」で「ズーム」または「字幕入り」に設定したときのみ調整できます。（☞ 52 ページ）
・「 信号設定」メニューの「字幕サイズ」は、「ワイド切換」で「字幕入り」に設定したときのみ調整できます。（☞ 52 ページ）

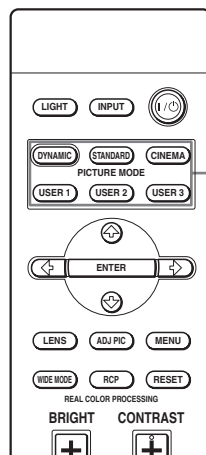
ワイドモード切換時のご注意

本機はワイドモード切り換え機能があります。ワイドモード切り換え時は以下のことにご注意ください。

・テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご注意してワイドモードを選択してください。
・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイドモード切り換え機能（ワイドズーム）などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画質を選ぶ

見る

使用する場所や投影する映像の内容に合った画質設定を選べます。

PICTURE MODE ボタン（DYNAMIC、STANDARD、CINEMA または USER1、2、3）を押す。

DYNAMIC（ダイナミック）

明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。

STANDARD（スタンダード）

通常はこの設定で使用します。「DYNAMIC」で使用時に、映像にざらつきがあるときは、「STANDARD」にします。

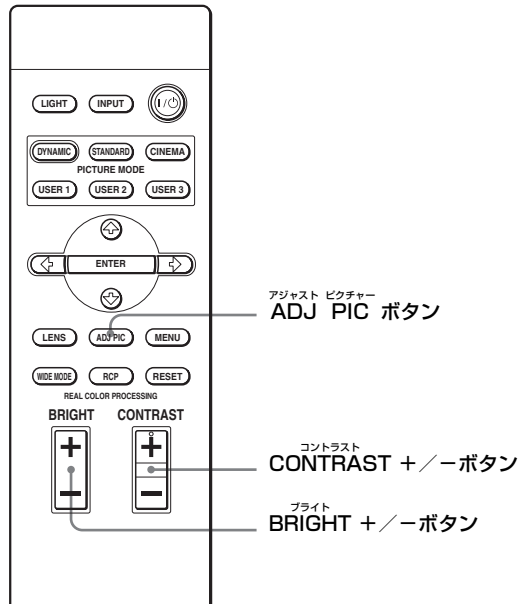
CINEMA（シネマ）

暗い環境で映画などを見るのに適した画質になります。

USER1、2、3（ユーザー 1、2、3）

いずれかのボタンを押し、リモコンのボタンまたはメニュー画面でお好みの画質に調整すると、その設定が記憶されます。（☞ 40、48 ページ）記憶後はボタンを押すだけでお好みの画質でご覧いただけます。

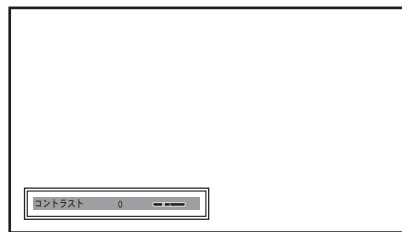
お好みの画質に調整する

リモコンのボタンで画質調整の項目を選び、お好みの画質に調整できます。また、各画質モードのとき、調整した画質を記憶させることができます。

1 ADJ（アジャスト） PIC（ピクチャー） ボタンを押す。

押すたびに、次の順にそれぞれの画質調整画面* が表示されます。

→コントラスト→明るさ→色の濃さ→色あい→シャープネス→NR→黒補正→ガンマ補正→色温度→アドバンストアイリス→（コントラストに戻る）

* 入力する信号の種類によっては表示されない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（☞ 82 ページ）をご覧ください。

例：コントラストを調整する場合

◆各項目について詳しくは、「 画質設定」メニューの「画質調整」（☞ 48 ページ）をご覧ください。

2 ↑、↓、← または → ボタンで調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合は

→ ボタンを押すと数値が大きくなり、← ボタンを押すと数値が小さくなる。

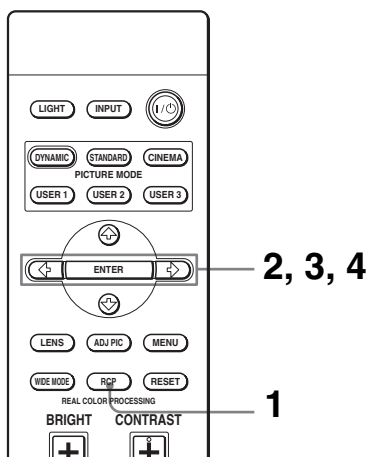
設定を変更する項目の場合は

↑ または ↓ ボタンを押して設定を選ぶ。

コントラストと明るさを調整するには

リモコンの CONTRAST ＋／－ボタンでコントラストを、BRIGHT ＋／－ボタンで明るさを簡単に調整できます。

リアルカラープロセッシングを使って画質調整する

調整したい色を細かく選び、選んだ色ごとにお好みの色合い、色の濃さを調整することができます。よりリアルできめ細かいお好みの画像を映すことができます。

ちょっと一言

調整したい色のあるシーンで、入力機器の映像を一時停止して調整を行ってください。

1 **RCP（リアルカラープロセッシング）ボタンを押す。**

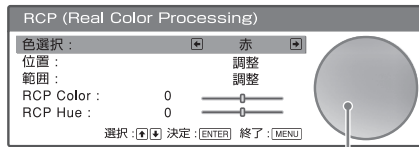
2 **↑または↓ボタンを押して、「ユーザー 1」、「ユーザー 2」または「ユーザー 3」を選び、➡ボタンを押す。**

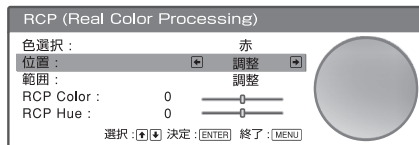
RCP 調整画面が画面下に表示されます。

3 **調整したい色を選ぶ。**

下記の ①、② を繰り返して調整したい色を決めます。

① ↑または↓ボタンで「色選択」を選び、⬅または➡ボタンで、調整したい色を赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタから選ぶ。
投影画面の中で、選んだ色に対応する部分のみ色が表示され、それ以外は白黒で表示されます。RCP 調整画面の補正パレットにも選んだ色のみ表示されます。

補正パレットを目安に、投影画面を見ながら調整するターゲットを選んでください。

補正パレット

② ⬆または⬇ボタンで「位置」または「範囲」を選び、⬅または➡ボタンで調整したい色と色の範囲を細かく絞り込む。

4 選択した部分の色を調整する。

⬆または⬇ボタンで「RCP Color（色の濃さ）」または「RCP Hue（色あい）」を選び、投影画面を見ながら⬅または➡ボタンでお好みの色になるように調整します。このとき、白黒表示は解除され通常の投影画面になります。

5 調整が終わったら、RCP ボタンを押す。

調整画面が消え、通常の画面に戻ります。
手順 2 で選んだメモリーに設定が記憶され、あとで呼び出すことができます。

ちょっと一言

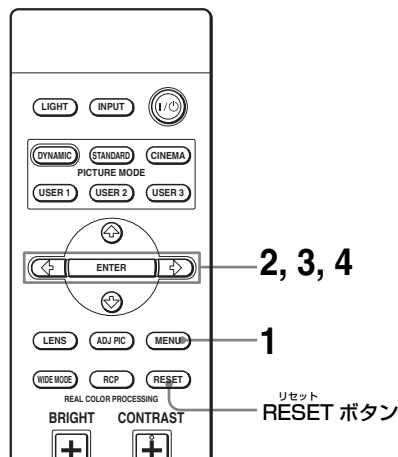
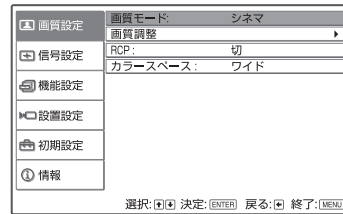
位置や範囲調整には制限があります。

見る

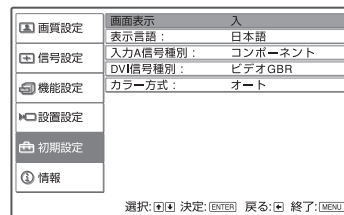
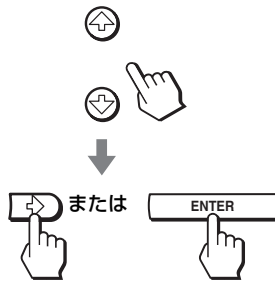
メニュー画面で調整や設定をする

この章では、メニュー画面で画質を細かく調整したり、画面の位置やサイズ、ゆがみを調整するなどの操作を説明しています。

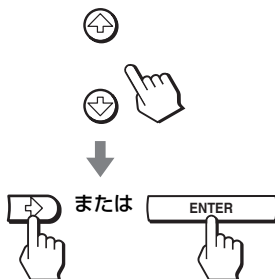
メニュー操作のしかた

本機では、入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選んだ調整／設定項目によって、ポップアップメニューで表示されるもの、メニュー画面を消して設定メニューや調整メニューで表示されるもの、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。表示言語を切り換えるには、「画面に表示される言語を選ぶ」（☞ 29 ページ）をご覧ください。

1 **MENU（メニュー）ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

2 **↑または↓ボタンを押してメニュー項目を選び、➡またはENTER（エンター）ボタンを押す。**

調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が黄色で表示されます。

3 **↑または↓ボタンを押して設定したい項目を選び、➡またはENTER（エンター）ボタンを押す。**

設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

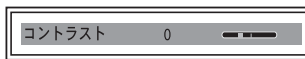
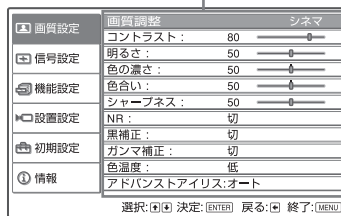
ポップアップメニュー

設定できる項目

設定メニュー

調整メニュー

次の階層に表示された画面

設定できる項目

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報
画質調整 シネマ
コントラスト： 80
明るさ： 50
色の濃さ： 50
色合い： 50
シャープネス： 50
NR： 切
黒補正： 切
ガンマ補正： 切
色温度： 低
アドバンストアイリス:オート
選択: 決定:ENTER 戻る: 終了:MENU

4 調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合は

数値を大きくしたいときは、↑または→ボタンを押す。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。
数値を小さくしたいときは、↓または←ボタンを押す。ENTER ボタンを押すと元のメニュー画面に戻ります。

設定を変更する項目の場合は

↑または↓ボタンを押して設定を選ぶ。ENTER ボタンを押すと元の画面に戻ります。ただし設定によっては←ボタンでも元の画面に戻ります。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押す。

調整、設定した項目をお買い上げ時の値に戻すには（リセット）

リセットしたい項目を選び、RESET（リセット）ボタンを押す。
「終了しました」というメッセージが表示され、設定値がお買い上げ時の値に戻ります。
リセットできるのは次の項目のみです。

- 「画質設定」メニューにある「画質調整」の「コントラスト」と「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「色温度」および「RCP」
- 「信号設定」メニューにある「入力信号設定」の「ドットフェーズ」と「水平サイズ」、「シフト」、「垂直位置」、「字幕サイズ」および「DRC モード」の「DRC パレット」
- 「設置設定」メニューにある「V キーストーン」

調整できない項目について

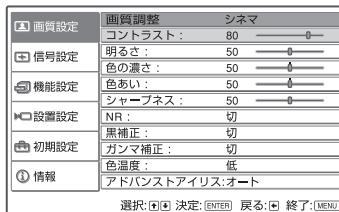
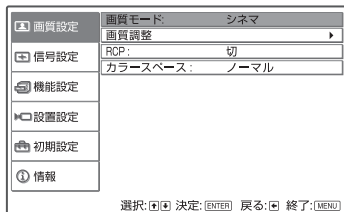
入力する信号の種類によって、調整／設定できる項目が限られます。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。（☞ 82 ページ）

画質設定メニュー

画質を調整するメニューです。

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報
画質モード: シネマ
画質調整
RCP : 切
カラースペース : ノーマル
選択: 決定: ENTER 戻る: 終了: MENU

画質調整画面

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報
画質調整 シネマ
コントラスト : 80
明るさ : 50
色の濃さ : 50
色あい : 50
シャープネス : 50
NR : 切
黒補正 : 切
ガンマ補正 : 切
色温度 : 低
アドバンストアイリス:オート
選択: 決定: ENTER 戻る: 終了: MENU

画質モード

ご覧になる場所や映像の内容に合わせた画質設定を選べる。

ダイナミック	**明暗のはっきりしたメリハリのある画質になる。**
スタンダード	**通常はこの位置にする。また、「ダイナミック」より、ざらつきを抑えた画質になる。**
シネマ	**映画などを見るのに適した画質になる。**
ユーザー 1、 ユーザー 2、 ユーザー 3	**好みに合わせた画質を調整、設定し、保存しておける。** 保存したあとはリモコンの PICTURE MODE ボタンを押すか、「 画質設定」メニューの「画質モード」で選ぶと、保存した画質で映像を映すことができる。 **保存のしかた** **1** ユーザー 1、ユーザー 2 またはユーザー 3 を選ぶ。 **2** メニュー画面で調整したい項目を選び、調整する。 **保存できる項目：**画質調整の項目、ワイド切換、垂直位置、字幕サイズ、DRC モード、フィルムモード **ちょっと一言** 「ダイナミック」、「スタンダード」、「シネマ」でも画質を調整し、保存することができます。元の値に戻すには、RESET ボタンを押します。

画質調整

画質を細かく調整できる。

コントラスト	**映像の明るい方（白レベル）を調整する。** 設定値が大きくなるとコントラストが強くなり、小さくなると弱くなる。

明るさ	**映像の明るさ（輝度）を調整する。** 設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなる。
色の濃さ	**色の濃さを表す彩度を調整する。** 設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなる。
色あい	**色あいを調整する。** 設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると赤みがかる。
シャープネス	**映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくさせたりする。** 設定値が大きくなると輪郭がくっきりし、小さくなると柔らかくなりノイズを目立ちにくくできる。
NR	**映像のざらつきやノイズを低減する。** 通常は **「切」** にしておいてください。 ノイズが気になる場合、**「弱」**、**「中」**、**「強」** からソースに応じて選んでください。
黒補正	**明暗のはっきりしたメリハリのある画質になる。** 映像ソースに合わせて設定する。 **「切」**：黒補正なし。 **「弱」**：弱い黒補正。 **「強」**：強い黒補正。
ガンマ補正	**映像の階調の応答特性を設定する。** 好みに合わせて３通りの階調の中から選択できる。 **「切」**：ガンマ補正なし。 **「ガンマ 1」**：画面がやや明るくなる。 **「ガンマ 2」**：画面が明るくなる。 **「ガンマ 3」**：画面が暗くなる。 付属 CD-ROM の「ImageDirector2」を使うと、好みに応じて階調を調整でき、調整した値はパソコンに保存できます。 「ImageDirector2」の使いかたについて詳しくは、CD-ROM 内のヘルプをご覧ください。
色温度	**色温度を調整する。** **「高」**：白い部分が青みがかった冷たい色調になる。 **「中」**：「高」と「低」の中間の色調になる。 **「低」**：白い部分が赤みがかった暖かい色調になる。 **「カスタム１」**、**「カスタム２」**、**「カスタム３」**：好みに合わせた色温度を調整、設定、保存できる。
アドバンストアイリス	**投影時の絞り機能を切り換える。** **「切」**：通常のコントラストで投影される。 **「入」**：コントラストが高くなり、黒が引き締まる。 **「オート」**：投影されるシーンに合わせて最適な絞り値に自動的に切り換わり、最も高いコントラストが得られる。

RCP（リアルカラープロセッシング）

選択した色ごとに好みの色あいと色の濃さに調整できる。

切る	調整しない。
ユーザー 1、 ユーザー 2、 ユーザー 3	**リアルカラープロセッシングを使った調整をし、保存できる。保存したあと、設定した画質で映像を映すことができる。** ◆詳しい調整のしかたは、「リアルカラープロセッシングを使って画質調整する」をご覧ください。（☞ 42 ページ）。

カラースペース

色再現領域を切り替える。

ノーマル	ハイビジョンの色合いにする。
ワイド	ノーマルより広い色域で自然な色合いに近づける。

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
画面のサイズやワイド切り換えなどを調整できます。

入力信号調整画面

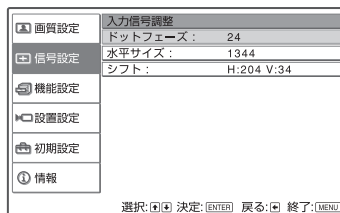
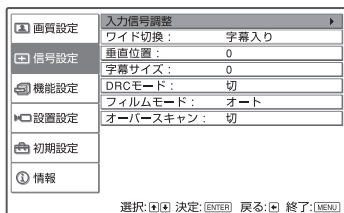
画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報

入力信号調整
ワイド切換： 字幕入り
垂直位置： 0
字幕サイズ： 0
DRCモード： 切
フィルムモード： オート
オーバースキャン： 切

選択: ⬆⬇ 決定: ENTER 戻る: ⬅ 終了: MENU

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報

入力信号調整
ドットフェーズ： 24
水平サイズ： 1344
シフト： H:204 V:34

選択: ⬆⬇ 決定: ENTER 戻る: ⬅ 終了: MENU

入力信号調整

入力信号を調整する。

ドットフェーズ	**画素とコンピューター信号の位相を調整する。** 一番くっきり見える数値にする。
水平サイズ	**コンピューター信号入力時、画面の水平方向のサイズを調整する。** 数値が大きくなるとサイズが大きくなり、小さくなるとサイズが小さくなる。入力信号のドット数と同じ数値にあわせる。
シフト	**画面の位置を調整する。** **「H」（水平）：**数値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動する。⬅ または ➡ ボタンを押して設定する。 **「V」（垂直）：**数値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動する。⬆ または ⬇ ボタンを押して設定する。

ワイド切換

入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定する。SD 信号入力時（メモリーナンバー１～６）の場合のみ設定可能。

フル	**4:3 にスクイーズされた映像を正しいアスペクトで映す。**
ノーマル	**アスペクト比 4:3 の映像を、画面の中央へ上下いっぱいに映す。**
ワイドズーム	**4:3 の映像をそのまま拡大し、上下にはみでた部分の映像を圧縮して画面の上下におさめる。**

ズーム	4:3 の映像をスクリーンいっぱいになるよう縦横同じ比率で拡大して映す。
字幕入り	字幕の部分を圧縮して画面の中に収める。

垂直位置	**画面の位置を上下に調整する。** 数値が大きくなると画面が上に動き、小さくなると下に動く。 **ご注意** 「ワイド切換」で「ズーム」または「字幕入り」に設定したときのみ調整できます。

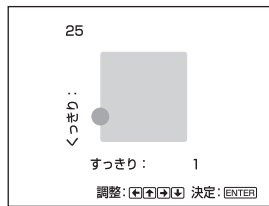
字幕サイズ	**字幕付き映画などに表示されている字幕の範囲を調整する。** 数値が大きくなると文字が上に、小さくなると文字が下に動く。 **ご注意** 「ワイド切換」で「字幕入リ」に設定したときのみ調整できます。

DRC モード	**大画面になるほど粗さの目立つビデオ映像を滑らかに再現する。** **「切」**：変換なし。 **「モード 1」**：きめ細かく自然な映像にする。動画向き。 **「モード 2」**：チラツキを抑えた映像にする。静止画向き。 DRC モードの「モード 1」または「モード 2」を選択しているときは DRC パレットで画質の「くっきり」（リアル感）、「すっきり」（ざらつき感）を、好みに合わせて調整できる。ノイズが多いときは、「すっきり」をあげる。 ◆詳しい調整のしかたは、「DRC パレット」をご覧ください。（☞ 53 ページ）
フィルムモード	**映画ソフトなど 2-3、2-2 プルダウン方式の素材を滑らかな動きで再現する。** **「オート」**：2-3、2-2 プルダウン自動検出し、フィルム素材を滑らかな動きで再現する。 **「切」**：2-3、2-2 プルダウン処理を行わない。

オーバースキャン	**映像の周囲を隠したいときに使う。** **「入」**：入力映像の周囲を隠す。映像の端にノイズなどが見えるような場合にはこちらに設定する。 **「切」**：入力映像を全て表示する。

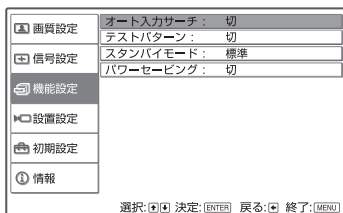
スクリーンエリア	**ハイビジョン映像をオーバースキャンした場合の映像の大きさを選択する。** **「フル」**：画面一杯に拡大する。 **「スルー」**：画面一杯に拡大しない。 ハイビジョン信号入力時（メモリーナンバー 7、8、9、12、13）でかつオーバースキャン設定が「入」の場合のみ有効。

DRC パレット

画質の「くっきり」（リアル感）、「すっきり」（ざらつき感）を、お好みに合わせて調整できます。DRC モードの「モード 1」または「モード 2」を選択しているときのみ調整できます。

➡ ボタンを押すと「すっきり」が上がり、⬅ ボタンを押すと下がります。

⬆ ボタンを押すと「くっきり」が上がり、⬇ ボタンを押すと下がります。

機能設定メニュー

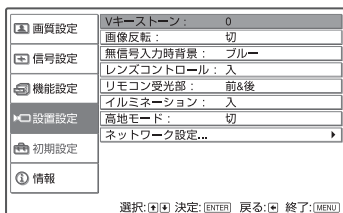
本機の機能の設定を変更するメニューです。

オート入力サーチ	**INPUT ボタンを押したとき、入力信号のあるチャンネルに自動で切り換える。** **「入」**に設定すると、INPUT ボタンが押されたときに、コンポーネント、HDMI、DVI、ビデオ、S ビデオ、入力 A の順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示する。 入力信号のないチャンネルを選択する場合や、手動で切り換える場合は**「切」**にする。
テストパターン	**テストパターンを表示する。** **「入」**にすると、レンズのフォーカス、ズーム、シフト調整時およびV キーストーン調整時に、テストパターンが表示される。表示したくないときは**「切」**にする。
スタンバイモード	**スタンバイモード時の消費電力を少なくする。** **「低」**に設定すると、スタンバイモード時の消費電力を少なくすることができる。
パワーセービング（節電モード）	**パワーセービングを設定する。** **「入」**に設定し、プロジェクターに信号が入力されない状態が 10 分以上続くと節電モードになり、POWER SAVING ランプがオレンジ色に点灯する。画面が暗くなる。その後、信号が入力されたり、ボタンを押すと解除される。節電モードにしないときは、**「切」**にする。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報

Vキーストーン：　0
画像反転：　切
無信号入力時背景：　ブルー
レンズコントロール：　入
リモコン受光部：　前&後
イルミネーション：　入
高地モード：　切
ネットワーク設定...

選択: 決定:ENTER　戻る:　終了:MENU

V キーストーン	**投影角度によって画像が台形になってしまった場合に補正する。** **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定する。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定する。 **ご注意** レンズシフト調整の位置によっては、V キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。
画像反転	**画像を水平または垂直方向に反転する。** **「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」**に変える。天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用する。
無信号入力時背景	**信号が入力されていないときの画面の色を選択できる。** **「ブラック」**または**「ブルー」**に設定できる。
レンズコントロール	**レンズ関連の調整（「レンズフォーカス」、「レンズズーム」、「レンズシフト」）を誤って変更しないようにする。** **「入」**に設定するとレンズ関連の調整ができる。レンズ関連の調整を変更したくないときは**「切」**に設定する。
リモコン受光部	**リモコンの効きが悪いとき、本体前面と後面にあるリモコン受光部を切り替えます。** **「前＆後」：**前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。 **「前」：**前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。 **「後」：**後ろ面のリモコン受光部だけを働かせるとき。
イルミネーション	**本体上面のイルミネーションを点灯する。** **「入」**に設定すると、本体天面のイルミネーションが点灯する。消したいときは**「切」**に設定する。

高地モード	**高地で使用の場合に設定する。** **「切」**：平地での使用の場合はこの位置に設定する。 **「入」**：1500m 以上の高地で使用の場合はこの位置に設定する。（ただし、**「入」**にした場合、ファンの音が少し大きくなります。） **ご注意** 設定を**「入」**にした場合、ファンの回転数が上がります。

ネットワーク設定

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーなどのインターネットプロトコル設定を行います。
パソコンからアクセス（☞ 61 ページ）したり、付属のガンマコントロール調整ソフトウェア「ImageDirector2」を使用する場合に設定してください。
全ての設定が終了した時点で、⬇ボタンで「適用」を選び ENTER を押してください。

IP アドレス設定	**「自動（DHCP)」、「手動」を選択する。** 「手動」を選択したときにはこの画面の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定する。
IP アドレス	**プロジェクターの IP アドレスを設定する。** （1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
サブネットマスク	**プロジェクターのサブネットマスクを設定する。** （1.0.0.0 ～ 255.255.255.255）
デフォルトゲートウェイ	**プロジェクターのデフォルトゲートウェイを設定する。** （1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
プライマリ DNS	**優先して使用する DNS サーバーを設定する。** （1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
セカンダリ DNS	**代替の DNS サーバーを設定する。** （1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
MAC アドレス	**本機の MAC アドレスを表示します。変更はできません。**

ご注意

ネットワーク機能を使う際は、必ず「機能設定メニュー」の「スタンバイモード」を「標準」に設定してください。（☞ 54 ページ）

初期設定メニュー

お買い上げ時の設定を変更するメニューです。

画質設定 / 信号設定 / 機能設定 / 設置設定 / 初期設定 / 情報

画面表示	入
表示言語：	日本語
入力A信号種別：	コンポーネント
DVI信号種別：	ビデオGBR
カラー方式：	オート

選択: 決定:ENTER 戻る: 終了:MENU

画面表示	**メニュー表示などの情報を投影画面に表示するかを設定する。** **「切」**に設定すると、メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなる。
表示言語	**メニュー画面の表示言語を選択する。** 「English」（英語）、「Nederlands」（オランダ語）、「Français」（フランス語）、「Italiano」（イタリア語）、「Deutsch」（ドイツ語）、「Español」（スペイン語）、「Português」（ポルトガル語）、「Русский」（ロシア語）、「Svenska」（スエーデン語）、「Norsk」（ノルウェー語）、「日本語」、「中文（简体字）」（中文簡体字）、「中文（繁體字）」（中文繁体字）、「한국어」（韓国語）、「ภาษาไทย」（タイ語）から選べる。
入力 A 信号種別	**INPUT A に入力される信号の種類を選択する。** INPUT ボタンで「入力 A」を選んで映す機器からの信号の種類を選ぶ。 **「オート」：**入力されている信号の種類を自動判別して設定する。 **「コンピューター」：**パソコンからの信号を入力するとき **「コンポーネント」：**DVD プレーヤー／レコーダー、地上・BS・110 度・CS チューナーなどからのコンポーネント信号を入力するとき **「ビデオ GBR」：**ゲーム機、ハイビジョン放送などの信号を入力するとき **ご注意** 「オート」に設定して、入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。

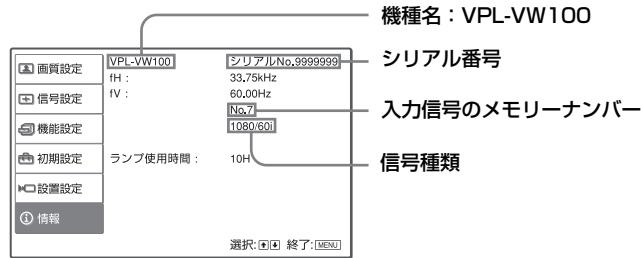
DVI 信号種別	**DVI-D に入力される信号の種類を選択する。** INPUT ボタンで「DVI」を選んで映す機器からの信号の種類を選ぶ。 **「オート」：** 入力されている信号の種類を自動判別して設定する。 **「コンピューター」：** パソコンからの信号を入力するとき **「ビデオ GBR」：** ゲーム機、ハイビジョン放送などの信号を入力するとき **ご注意** 「オート」に設定して、入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。 「DVI 信号種別」の設定を変更する場合は、DVI ケーブルを抜き、デジタルチューナーなどの出力を切った状態で行ってください。
カラー方式	**ビデオ入力時のカラー信号方式を選択する。** **「オート」：** NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 から自動判別する。 **「NTSC3.58」～「PAL-N 」：** 強制的に指定されたカラーシステムに設定する。 **ご注意** 通常は「オート」にしておくと、自動的に判別しますが、信号の状態が悪く、画が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式にあわせて選択してください。

VPL-VW100
2-655-463-01 (1)

情報メニュー

プロジェクターの機種名、シリアル番号、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。

画質設定
信号設定
機能設定
初期設定
設置設定
情報
VPL-VW100
シリアルNo.9999999
fH :
33.75kHz
fV :
60.00Hz
No.7
1080/60i
ランプ使用時間 :
10H
選択: 終了:MENU

機種名：VPL-VW100
シリアル番号
入力信号のメモリーナンバー
信号種類

機種名	機種名（VPL-VW100）とシリアル番号を表示する。
fH（水平周波数）	水平周波数を表示する。
fV（垂直周波数）	垂直周波数を表示する。
メモリー No.	入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示する。
信号種類	入力信号の解像度を表示する。
ランプ使用時間	ランプの使用時間を累積して表示する。

ご注意

上記の項目は変更できません。

プリセットメモリーについて

本機では、お買い上げ時に、42 種類の信号に対して最適な画面で映るように映像データがあらかじめ設定されています（プリセットメモリー）。これらの信号を入力したときは、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面でスクリーンに映します。「情報」メニューの画面に入力信号のメモリーナンバーと信号種類が表示されます。
プリセットされたデータを「信号設定」メニューでさらに調整できます。

また、主にコンピューター信号の入力用に入力AとDVIチャンネルにはプリセットメモリーとは別に、それぞれ20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号の設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力されたときは、メモリーナンバー0と表示され、「信号設定」メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。
プリセットされている信号についての情報は、「プリセット信号一覧」にあります。（79ページ）

ご注意

アスペクト（縦横比）がスクリーンサイズに合わない場合、画面の一部が黒で表示されます。

パソコンで操作する

パソコンからアクセスする

パソコンからプロジェクターの情報を見たり、プロジェクターを遠隔操作したりすることができます。
プロジェクター、パソコン、ルーターまたはハブがネットワークケーブルで接続されていることを確認し、プロジェクターとパソコン、ルーターまたはハブの電源を入れてください。

1 パソコンのブラウザ（Internet Explorer 5.0 以上）を起動する。

2 アドレスに「http://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターの IP アドレス）」と入力し、キーボードの Enter キーを押す。

プロジェクターの IP アドレスは、「設置設定」メニューで確認できます（☞ 56 ページ）。

ここに IP アドレスを入力します。

プロジェクターの状態を確認する

「インフォメーション」をクリックします。プロジェクターの情報や現在の状態などをパソコン上で確認できます。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。

INFORMATION（インフォメーション）

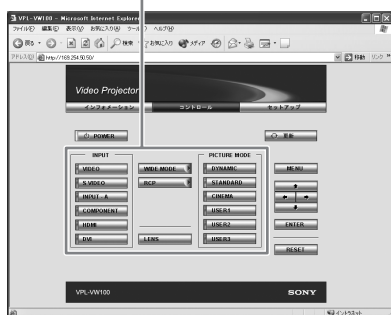
プロジェクターの現在の情報を表示します。

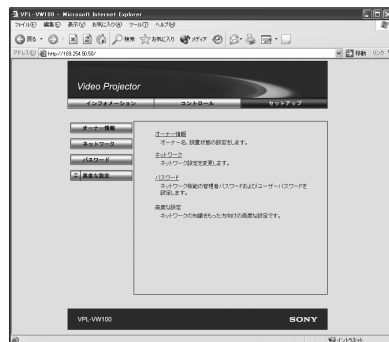
MENU（メニュー）

プロジェクターの現在の設定が表示されます。

プロジェクターをパソコンで操作する

「コントロール」をクリックします。
パソコンの画面上でプロジェクターを操作できます。
各ボタンの働きは、本機に付属のリモコンの同名のボタンと同じです。

プロジェクターの設定が点灯します。プロジェクター本体で設定を変えた場合は、画面右上の「更新」をクリックすると、設定の変更が反映され、点灯位置が変わります。

設定する

「セットアップ」をクリックします。
ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。お買い上げ時は、「ユーザー名：root」に設定されています（パスワードはなし）。
所有者情報などの設定ができます。各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「適用」をクリックするとプロジェクターに反映されます。

所有者とプロジェクターの情報

「オーナー情報」をクリックします。

所有者

所有者の情報を入力します。

プロジェクター

プロジェクターの設置場所を入力します。

メモ

メモを入力しておくことができます。

ネットワークの設定

「ネットワーク」をクリックします。

インターネット プロトコル（TCP/IP）
通常は、「IP アドレスを自動的に設定する（DHCP）」に設定します。「IP アドレスを手動で設定する」を選んだ場合は、各数値を入力してください。

管理者とユーザーのパスワード

「パスワード」をクリックします。管理者、ユーザーそれぞれにパスワードを設定できます。
管理者の名前は「root」に固定されています。
これは変更できません。

高度な設定

「高度な設定」をクリックすると「Advertisement」、「PJ Talk」、「SNMP」のボタンが表示されます。
各設定項目は主に業務用のものです。
「Advertisement」、「PJ Talk」について詳しくは、プロトコルマニュアルに記載されています。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、光源用ランプやエアフィルターの交換のしかたなどについて説明します。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう 1 度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	→ ランプカバー、トップカバーをしっかりはめる。（☞ 69 ページ） → ランプリリースレバーを元の位置に戻す。（☞ 71 ページ） → フィルターホルダーをしっかりはめる。（☞ 73 ページ） → 警告ランプを確認する。（☞ 65 ページ）

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	→ ケーブルの接続を確認する。（☞ 20 ページ） → INPUT ボタンで入力を正しく選ぶ。（☞ 33 ページ） → 出力信号をパソコンの外部モニターから出力するように設定する。 → 出力信号を外部モニターだけに出力するように設定する。 → 入力信号に合わせて「初期設定」メニューの「入力 A 信号種別」、「DVI 信号種別」でコンピューター、コンポーネント、ビデオ GBR の設定を正しく合わせる。（☞ 57 ページ）
INPUT A 端子につないだ機器からの映像の色がおかしい。	→ 入力信号に合わせて「初期設定」メニューの「入力 A 信号種別」でコンピューター、コンポーネント、ビデオ GBR の設定を正しく合わせる。（☞ 57 ページ）
DVI-D 端子につないだ機器からの映像の色がおかしい。	→ 入力信号に合わせて「初期設定」メニューの「DVI 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR の設定を正しく合わせる。（☞ 58 ページ）

症状	原因と対処
VIDEO または S VIDEO 端子につないだ機器からの映像の色がおかしい。	➔「画質設定」メニューの「画質調整」で画質の調整をする。（☞ 48 ページ） ➔ 入力信号のカラー方式に合わせて、「初期設定」メニューの「カラー方式」を正しく設定する。（☞ 58 ページ）
画面が暗い。	➔「画質設定」メニューの「画質調整」でコントラスト、明るさを正しく設定する。（☞ 48 ページ）
画面がぼやける。	➔ 画面のフォーカスを合わせる。（☞ 27、34 ページ） ➔ 結露が生じた。電源を入れたまま約 2 時間放置する。
ファンの音が気になる。	➔ 高地モードの設定を確認する。（☞ 56 ページ）
画面がちらつく。	➔「信号設定」メニューの「入力信号調整」で「ドットフェーズ」を設定しなおす。（☞ 51 ページ）

その他

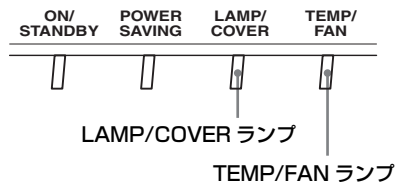
表示に関する項目

症状	原因と対処
画面表示が出ない。	➔「初期設定」メニューで「画面表示」の設定を「入」にする。（☞ 57 ページ）

リモコンに関する項目

症状	原因と対処
リモコンが働かない。	➔ 電池が消耗している。新しい電池と交換する。（☞ 14 ページ） ➔ 電池の ⊕ ⊖ を正しく入れる。（☞ 14 ページ） ➔ リモコン受光部の近くに蛍光灯があると誤動作することがある。「設置設定」メニューで「リモコン受光部」の設定を変更する。（☞ 55 ページ）

警告ランプ

本機では、本体天面の LAMP/COVER ランプと TEMP/FAN ランプの点灯または点滅で不具合をお知らせします。

症状	原因と対処
LAMP/COVER 点滅	→ トップカバー、ランプカバー、フィルターホルダーをしっかりはめる。（☞ 69、73 ページ）
LAMP/COVER 点灯	→ 光源用ランプの寿命がきた。ランプを交換する。（☞ 69 ページ） → 光源用ランプが高温になっている。ランプが冷えてから、もう一度電源を入れる。（☞ 35 ページ）
TEMP/FAN 点滅	→ ファンが故障している。お客様ご相談センターに相談する。
TEMP/FAN 点灯	→ 本体内部が高温になっている。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認する。
LAMP/COVER、TEMP/FAN 点灯	→ 電源コードを抜き差しし、もう一度電源を入れる。それでもこの状態が続いたら、電気系統が故障している。お客様ご相談センターに相談する。

メッセージ一覧

警告メッセージ

メッセージ	意味と対処
「セット内部温度が高いです。 1 分後にランプオフします。」	→ 電源を切る。 → 排気口、吸気口をふさいでいないか確認する。（☞ 16 ページ）
「入力信号の周波数が対応範囲をこえています！」	→ 入力信号の周波数範囲を超えている。対応範囲内の信号を入力する。
「入力 A 信号種別の設定を確認してください。」	→ パソコンの RGB 信号を入力するときは、「初期設定」メニューの「入力 A 信号種別」を「コンピューター」に設定する。（☞ 57 ページ）
「DVI 信号種別の設定を確認してください。」	→ パソコンの RGB 信号を入力するときは「初期設定」メニューの「DVI 信号種別」を「コンピューター」に設定する。（☞ 58 ページ） **ご注意** 「DVI 信号種別」の設定を変更をする場合は、DVI ケーブルを抜き、デジタルチューナーなどの出力を切った状態で行ってください。
「ランプ／フィルターを交換してください。 使用可能時間は、残り 50 時間以下です。」	→ 光源用ランプとエアフィルターの使用可能時間が残り少なくなりました。（50 時間は目安です。）
「ランプ／フィルターを交換してください。 使用可能時間は、残り 15 時間以下です。」	→ 光源用ランプとエアフィルターの使用可能時間が残り少なくなりました。（15 時間は目安です。）
「ランプ／フィルターを交換してください。 使用可能時間を過ぎました。1 分後にランプオフします。」	→ 光源用ランプの交換時期がきた。光源用ランプを交換する。（☞ 69 ページ） → 光源用ランプ交換と同時にエアフィルターを交換する。（☞ 73 ページ） ランプ、エアフィルター交換後も表示される場合は、光源用ランプを交換するときの手順を確認する。（☞ 69 ページ）

メッセージ	意味と対処
「フィルターを掃除してください。」	→ エアフィルターを掃除するときがきた。エアフィルターを掃除する。（☞ 72 ページ）
「フィルターを掃除してください。掃除しましたか？ はい：↑いいえ：↓」	→ エアフィルターを掃除するときがきた。エアフィルターを掃除する。（☞ 72 ページ） → エアフィルターの掃除が終了している場合、「はい」を選択する。まだ掃除していない場合、「いいえ」を選択する。
「高地で使用されている可能性があります。高地モードに切り替えますか？ はい／いいえ」	→ 標高海抜 1500m 以上でのご使用の場合：「はい」を選択し、高地モードに設定する。（☞ 56 ページ） → 標高海抜 1500m 以下でのご使用でこの表示が出た場合：排気口をふさいでないか確認する。（☞ 16 ページ） **ご注意** 「はい」を選択した場合、ファンの回転数があがります。

注意メッセージ

メッセージ	意味と対処
x⊡	→ 選択されているチャンネルに何も入力されていない。接続を確認する。（☞ 20 ページ）
「無効キーが押されました。」	→ 正しいボタンで操作する。
「ネットワークの設定を確認してください。」	→ ネットワーク設定画面で空白など正しくない値が入力されている。正しい値を入力する。（☞ 56 ページ）

光源用ランプを交換する

光源として使われているランプには寿命があります。画面が暗くなったり色がおかしくなった場合、または画面に「ランプ／フィルターを交換してください。使用可能時間を過ぎました。1 分後にランプオフします。」というメッセージが出たときは、光源用ランプが消耗しています。新しいランプ（別売り）と交換してください。
交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-H400 をお求めください。
別売りのプロジェクターランプ LMP-H400 には、フィルターが付属されています。ランプを交換するときは、フィルターも一緒に交換してください。

◆フィルターの交換については、「エアフィルターを交換する」(73 ページ) をご覧ください。

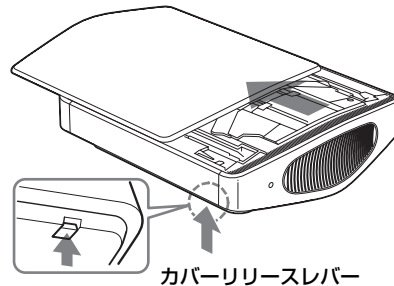
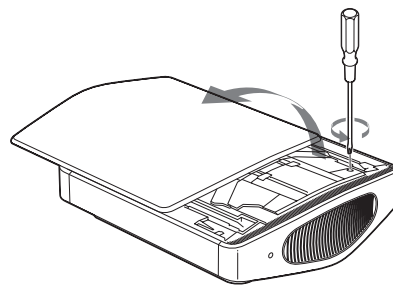
⚠警告

・I/⏻（オン／スタンバイ）スイッチで電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプを充分に冷やすため、ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから 1 時間以上たってから行ってください。
・交換ランプのガラス面は触らないでください。もし汚れが付着した場合は乾いた柔かい布でふき取ってください。
・天井つりした状態でのランプ交換は十分注意してください。

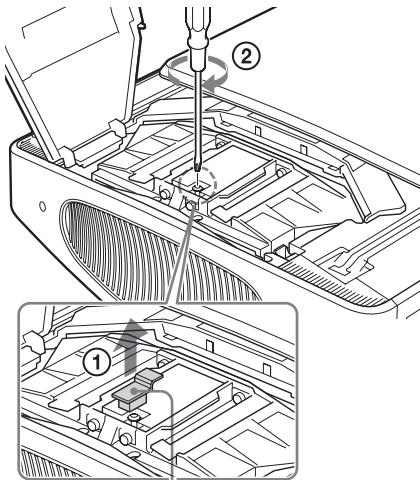
1 **プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

2 **プロジェクターや机などに傷がつかないよう布などを敷き、その上にプロジェクターを置く。**

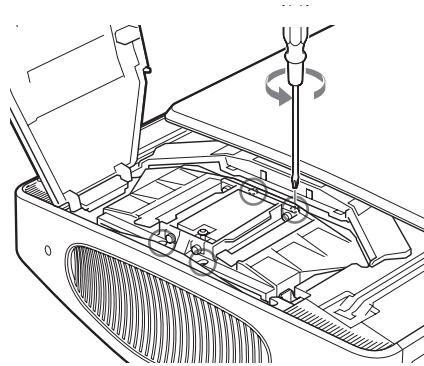
ご注意
プロジェクターは不安定な場所には置かないでください。

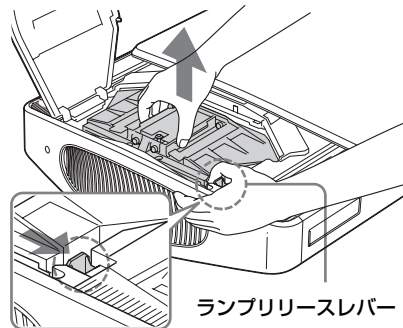
3 **右側のカバーリリースレバーを押し上げながら、トップカバーを止まるまでスライドさせる。**

4 **ランプカバーを固定しているネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開ける。**

ご注意

ランプ交換には、軸の長さ 130 mm 以上のプラスドライバーをお使いください。

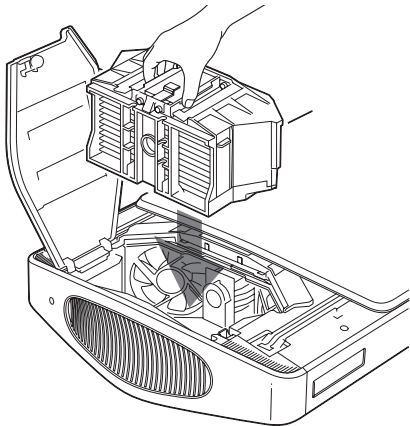
5 バルブキャップをはずし（①）、プラスドライバーで、ガス抜きバルブを右に回す（②）。

ご注意

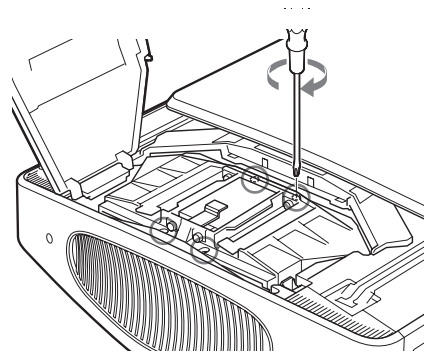
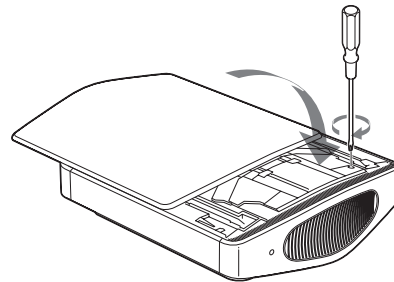
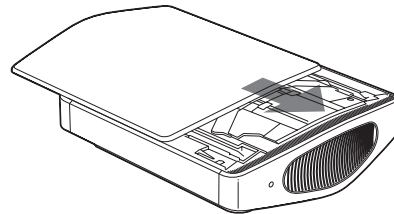
シューという音がするまでガス抜きバルブを回してください。
この音が止まってから、次に進んでください。
ランプの内部にはキセノンガスが高圧で封入されています。キセノンガスそのものは無臭、無毒ですが、ガス抜きを行わないでランプを落下させたり衝撃を与えたりすると破裂して、けがの原因になります。

6 ランプユニットを固定しているネジ（4 本）をプラスドライバーでゆるめる。

7 ランプユニットを持って、ランプリリースレバーを矢印の方向に（右方向に）押しながら、ランプユニットをまっすぐに引き出す。

ご注意

ランプユニットは重いので（約 2.9 kg）しっかり持ってください。落とすとけがの原因となったり、プロジェクターの内部を壊す原因となります。

8 **新しいランプユニットをカチッと音がするまで、まっすぐに押し込む。**

ご注意

- ランプユニットは重いので（約 2.9 kg）しっかり持ってください。落とすとけがの原因となったり、プロジェクターの内部を壊す原因となります。
- ファンや光学ブロックには手をふれないでください。
- ランプリリースレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。戻っていないと電源が入りません。

9 **手順 6 でゆるめたネジ 4 本で、新しいランプユニットをプロジェクターに固定する。**

10 **ランプカバーを閉め、手順 4 でゆるめたネジでランプカバーを固定する。**

11 **トップカバーを閉める。**

12 **電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。**

ON/STANDBY ランプが赤色点灯状態であることを確認してください。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

13 **リモコンを本体に向けて、リモコンのボタンを、RESET ボタン、⬅ ボタン、➡ ボタン、ENTER ボタンの順に、それぞれ 5 秒以内に押す。**

⚠警告

光源用ランプをはずしたあとのランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

ご注意

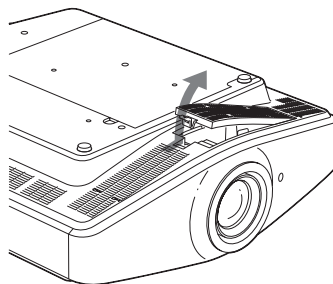
・新しい光源用ランプは、必ず交換用ランプ LMP-H400 をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
・光源用ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、ON/STANDBY ランプが消灯してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
・光源用ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
・ランプカバー、トップカバーがしっかり閉まっていないと、電源が入りません。

エアフィルターを掃除する

画面に「フィルターを掃除してください」というメッセージが表示されたら、エアフィルターのクリーニングが必要です。
約 1250 時間ごとにエアフィルターのクリーニングが必要です。1250 時間は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

1 **プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

2 **本機や机に傷がつかないように布などを敷き、その上で本機を裏返す。**

3 **フィルターホルダーをはずす。**

天井つりでご使用のため付属のエアフィルターカバーが取りつけられている場合は、フィルターホルダーをはずす前にエアフィルターカバーをはずしてください。
エアフィルターカバーについて詳しくは「エアフィルターカバーを取り付けるには」（☞ 84 ページ）をご覧ください。

4 **掃除機で掃除する。**

ご注意

エアフィルターが掃除機に吸いこまれないようご注意ください。

掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、次の手順に進み、エアフィルターをはずして洗ってください。

5 **エアフィルターをはずす。**

6 **中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。**

7 **エアフィルターをフィルターホルダーのつめ（5ヶ所）にはめる。**

8 **フィルターホルダーを本機に取り付ける。**

ご注意

フィルターホルダーがしっかり取り付けられていないと、電源が入りません。

エアフィルターを交換する

画面に「ランプ／フィルターを交換してください。使用可能時間を過ぎました。1 分後にランプオフします。」とメッセージが表示されたらランプとエアフィルターの交換時期です。ランプを交換するときは、必ずランプに付属しているエアフィルターも交換してください。

ご注意

・エアフィルターの交換は、プロジェクターの性能の維持、また故障を防ぐという意味からたいへん重要なことです。交換のメッセージが表示された場合は速やかにエアフィルターを交換してください。また、約 1250 時間を目安にフィルターの掃除をしてください。
・エアフィルターを取りはずすとき、本体内部にゴミなどが入らないよう充分ご注意ください。

1 **プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

2 **本機や机に傷がつかないように布などを敷き、その上で本機を裏返す。**

その他

3　フィルターホルダーをはずす。

天井つりでご使用のため付属のエアフィルターカバーが取りつけられている場合は、フィルターホルダーをはずす前にエアフィルターカバーをはずしてください。
エアフィルターカバーについて詳しくは「エアフィルターカバーを取り付けるには」（☞ 84 ページ）をご覧ください。

4　エアフィルターをとりはずす。

5　新しいエアフィルターをフィルターホルダーのつめ（5ヶ所）にはめる。

6　フィルターホルダーを本機に取り付ける。

ご注意

フィルターホルダーがしっかり取り付けられていないと、電源が入りません。

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
・保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
・ランプの保証期間は、お買い上げ日より 90 日間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときは

お客様ご相談センターにご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも、長時間使用による消耗部品の交換は有料になる場合があります。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、プロジェクターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後８年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターにご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
製品：VPL-VW100
製造番号：本体裏面または保証書に記載されています。
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店

主な仕様

システム

投影方式　SXRD パネル、1 レンズ、3 原色光シャッター方式

LCD パネル　0.61 インチ　SXRD パネル、6,220,800 画素（2,073,600 × 3）

レンズ　1.8 倍ズームレンズ（電動）f18.7 ～ 33.7 mm/F2.54 ～ 3.53

光源用ランプ
400W Xenon ランプ

スクリーンサイズ
40 ～ 300 インチ

カラーシステム
NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え（PAL60 は自動切り換えのみ）

対応ビデオ信号
15 kHz RGB ／コンポーネント　50/60 Hz、
プログレッシブコンポーネント　50/60 Hz、
DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、1080/60p（DVI チャンネル、HDMI チャンネルのみ）、1080/50p（DVI チャンネル、HDMI チャンネルのみ）コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

対応コンピューター信号
fH：19 ～ 72 kHz
fV：48 ～ 92 Hz
最高解像度 1920 × 1080
fV：60 Hz

入力

S VIDEO/VIDEO
（S ビデオ／ビデオ入力）
映像：ピンジャック
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75Ω 終端
S 映像：Y/C、ミニ DIN4 ピン
Y（輝度）信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75Ω 終端
C（クロマ）信号：（バースト信号）0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）、75Ω または
0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）、75Ω 終端

Y CB/PB CR/PR
コンポーネント ピンジャック
同期付 Y：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75Ω 終端
CB/PB：0.7 Vp-p ± 2 dB 75Ω 終端
CR/PR：0.7 Vp-p ± 2 dB 75Ω 終端

HDMI　デジタル RGB/Y CB（PB）CR（PR）

DVI-D（TMDS）
デジタル RGB

INPUT A　HD D-sub 15 ピン
アナログ RGB ／コンポーネント：

R/CR（PR）：0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端
G：0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75Ω 終端
B/CB（PB）：0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端
SYNC/HD：複合同期入力：TTL レベル、正負極性
水平同期入力：TTL レベル、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、正負極性

TRIGGER　ミニジャック
電源オン時：DC12 V、出力インピーダンス 4.7 kΩ
電源オフ時：0 V

REMOTE　RS-232C:D-sub9 ピン（凹）

NETWORK　RJ-45
10BASE-T/100BASE-TX

電源部・その他

外形寸法　496 × 175 × 574 mm（幅／高さ／奥行き）

質量　約 19 kg

電源　AC100 ～ 240 V、50/60 Hz

消費電力　最大 610W
スタンバイモード：10 W
ECO モード：0.5 W

動作温度　0 ℃～+ 35 ℃

動作湿度　35%～ 85%（結露しないこと）

保存温度　－ 20 ℃～+ 60 ℃

保存湿度　10%～ 90%

付属品　リモートコマンダー RM-PJVW100（1）
単 3 形乾電池（2）
電源コード（1）
プラグホルダー（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ImageDirector2 CD-ROM（1）
エアフィルターカバー（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

安全規格　電安法、JEITA、VCCI class B

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ LMP-H400（交換用）

プロジェクターサスペンションサポート
PSS-H10
PSS-610

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ		**ヨーロッパ諸国**		**イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド**	**日本**
プラグ型名	VM0233	YP-3	YP-12A	COX-07	*	YP-359
コネクタ型名	VM0089	YC-13	YC-13D	COX-02	VM0303B	YC-13
コード型名	SVT	SVT	H05VV-F	H05VV-F	CEE（13）53rd（OC）	VCTF
定格電圧・電流	10 A/125 V	10 A/125 V	10 A/250 V	10 A/250 V	10 A/250 V	12 A/125 V
安全規格	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	電安法

* 各国規制に適合し、仕様に適した定格のプラグを使用してください。

プリセット信号一覧

下記は、本機で投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。これ以外の信号に対しては、正しい投影ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV（Hz）	同期	サイズ
1	ビデオ /60	ビデオ 60 Hz	15.734	59.940	–	–
2	ビデオ /50	ビデオ 50 Hz	15.625	50.000	–	–
3	480/60i	DTV 480/60i	15.734	59.940	SonG/Y またはコンポジットシンク	–
4	575/50i	DTV 575/50i	15.625	50.000	SonG/Y またはコンポジットシンク／コンポジットビデオ	–
5	480/60p	480/60p（倍速 NTSC）	31.470	60.000	SonG/Y	–
6	575/50p	575/50p（倍速 PAL）	31.250	50.000	SonG/Y	–
7	1080/60i	1035/60i、1080/60i	33.750	60.000	SonG/Y	–
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	SonG/Y	–
9	1080/24PsF	1080/48i	27.000	48.000	SonG/Y	–
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	SonG/Y	–
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	SonG/Y	–
12	1080/60p	1080/60p	67.500	60.000	–	–
13	1080/50p	1080/50p	56.260	50.000	–	–
21	640 × 350	VGA-1 (VGA 350)	31.469	70.086	H- 正 V- 負	800
22		VESA 85 (VGA 350)	37.861	85.080	H- 正 V- 負	832
23	640 × 400	NEC PC98	24.823	56.416	H- 負 V- 負	848
24		VGA-2（TEXT）/ VESA 70	31.469	70.086	H- 負 V- 正	800
25		VESA 85 (VGA 400)	37.861	85.080	H- 負 V- 正	832
26	640 × 480	VESA 60	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800
27		Mac 13	35.000	66.667	H- 負 V- 負	864
28		VESA 72	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840
30		VESA 85 (IBM M4)	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV（Hz）	同期	サイズ
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
34		VESA 75（IBM M5）	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
36	832 × 624	Mac 16	49.724	74.550	H- 負 V- 負	1152
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 負 V- 負	1328
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
40		VESA 85	68.677	84.997	H- 正 V- 正	1376
41	1152 × 864	VESA 70	63.995	70.019	H- 正 V- 正	1472
42		VESA 75	67.500	75.000	H- 正 V- 正	1600
44	1152 × 900	SUN LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負	1504
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
50	1400 × 1050	SXGA ＋	63.981	60.020	H- 負 V- 負	1688
55	1280 × 768	1280 × 768/60	47.776	59.870	H- 負 V- 正	1664
56	1280 × 720	1280 × 720/60	44.772	59.855	H- 負 V- 正	1664
57	1920 × 1080	1920 × 1080/60	67.500	60.000	H- 負 V- 負	2200

メモリーナンバー 44 の信号は、パソコン側で DDC 機能を使用しないように設定すれば表示可能です。ただし、パソコンによってはこの解像度をサポートしていない場合や、DDC 機能を「切」にできない場合があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

DDC（Display Data Channel）：接続されているディスプレイの解像度情報などを取得し、パソコンがディスプレイの能力に合わせた設定を自動的に行う機能

ご注意

上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。

入力信号種別ごとの対応プリセットメモリーナンバーについて

アナログ信号

信号	プリセットメモリーナンバー
ビデオ信号（VIDEO, S VIDEO 端子）	1 ～ 2
コンポーネント信号（INPUT A, Y C_B/P_B C_R/P_R 端子）	3 ～ 11
ビデオ GBR 信号（INPUT A 端子）	3 ～ 11
コンピューター信号（INPUT A 端子）	21 ～ 39、56

デジタル信号

信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号（HDMI 端子）	3 ～ 8、10 ～ 13
ビデオ GBR 信号（DVI-D、HDMI 端子）	3 ～ 8、10 ～ 13
コンピューター信号（DVI-D 端子）	21 ～ 42、44、45、47、50、55 ～ 57
コンピューター信号（HDMI 端子）	26

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整／設定できる項目が限られます。詳しくは下の表をご覧ください。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

画質調整メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたは S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
コントラスト	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
色の濃さ	○ （白黒を除く）	○	○	×
色あい	○ （NTSC3.58/ NTSC4.43 のみ、白黒を除く）	○	○	×
シャープネス	○	○	○	×
NR	○	○ （プリセットメモリーナンバー３、４、７、８、９のみ）	○ （プリセットメモリーナンバー３、４、７、８、９のみ）	×
黒補正	○	○	○	×
ガンマ補正	○	○	○	○
色温度	○	○	○	○
アドバンストアイリス	○	○	○	○
RCP	○	○	○	○
カラースペース	○	○	○	○

○：調整／設定できる項目　×：調整／設定できない項目

信号設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたは S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
ドットフェーズ	×	×	×	○ *1
水平サイズ	×	×	×	○ *1
シフト	×	○	○	○ *1
ワイド切換	○	○ （プリセットメモリーナンバー3、4、5、6のみ）	○ （プリセットメモリーナンバー3、4、5、6のみ）	×
DRC モード	○	○ （プリセットメモリーナンバー3、4、7、8、9のみ）	○ （プリセットメモリーナンバー3、4、7、8、9のみ）	×
フィルムモード *2	○	○ （プリセットメモリーナンバー3、4、7、8、9のみ）	○ （プリセットメモリーナンバー3、4、7、8、9のみ）	×
オーバースキャン	×	○	○	×
スクリーンエリア *3	×	○ （プリセットメモリーナンバー7、8、9、12、13のみ）	○ （プリセットメモリーナンバー7、8、9、12、13のみ）	×

○： 調整／設定できる項目　　×： 調整／設定できない項目

*1：DVI 入力時は調整できません。

*2：入力信号がプリセットメモリーナンバー４の場合は、「信号設定メニュー」の「DRC モード」が「切」の場合のみ設定できます。

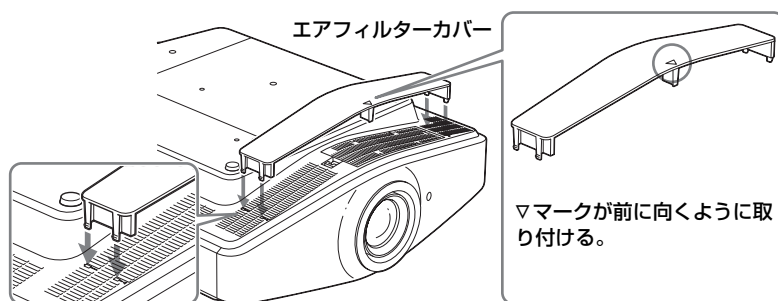
*3：「信号設定メニュー」の「オーバースキャン」が「入」の場合のみ設定できます。

その他

天井つり

本機を天井つりでご使用の場合は、プロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 または PSS-610 をご使用ください。投射距離は以下の通りです。

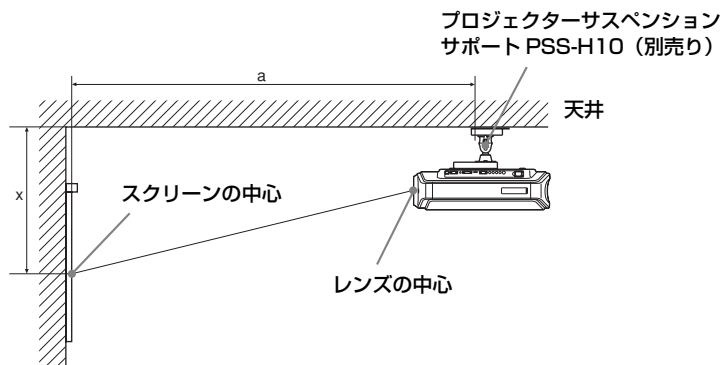
エアフィルターカバーを取り付けるには

本機を天井からつり下げて設置する場合は、防塵効果を高めるために、付属のエアフィルターカバーを取り付けてください。

ご注意

床置きでご使用の場合は取り付けないでください。破損の恐れがあります。

PSS-H10 使用時

a: スクリーンから天井つりユニットの天井側の取り付け穴（前面）までの距離
x: 映像が切れない状態での天井からスクリーンの中心までの距離

プロジェクターサスペンションサポート PSS-H10（別売り）
a
天井
x
スクリーンの中心
レンズの中心

16:9 スクリーン使用時

単位：mm

投影サイズ（インチ）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1475	2105	2735	3365	3995	4940	5885	6515	8090	9665
	最大	2368	3444	4520	5596	6672	8286	9900	10976	13666	16356
x	最小	249	374	498	623	747	934	1121	1245	1557	1868
	最大	590	751	913	1075	1237	1479	1722	1884	2288	2692

設置寸法の計算方法（SS：スクリーンサイズ）
a 最小値 =31.5 × SS + 214.8
a 最大値 =53.8 × SS + 216.1
x 最小値 =6.2263 × SS
x 最大値 =8.0876 × SS + 266

その他

4:3 スクリーン使用時

単位：mm

投影サイズ（インチ）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1757	2528	3299	4070	4841	5997	7154	7925	9853	11780
	最大	2850	4167	5483	6800	8117	10092	12068	13385	16677	19969
x	最小	305	457	610	762	914	1143	1372	1524	1905	2286
	最大	662	860	1058	1256	1454	1751	2048	2246	2740	3235

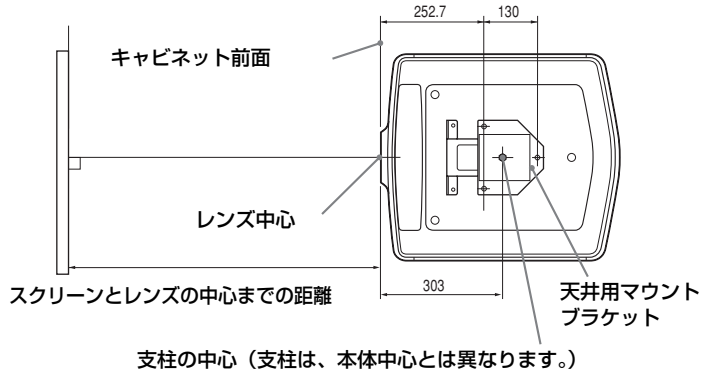
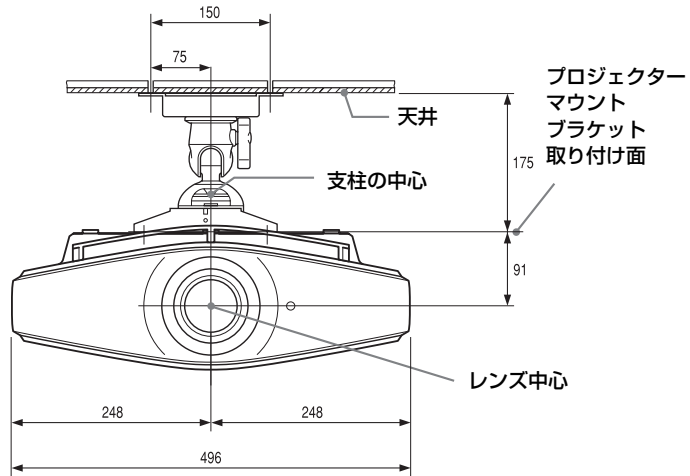
設置寸法の計算方法（SS：スクリーンサイズ）
a 最小値 =38.551 × SS + 214.8
a 最大値 =65.842 × SS + 216.1
x 最小値 =7.62 × SS
x 最大値 =9.8979 × SS + 266

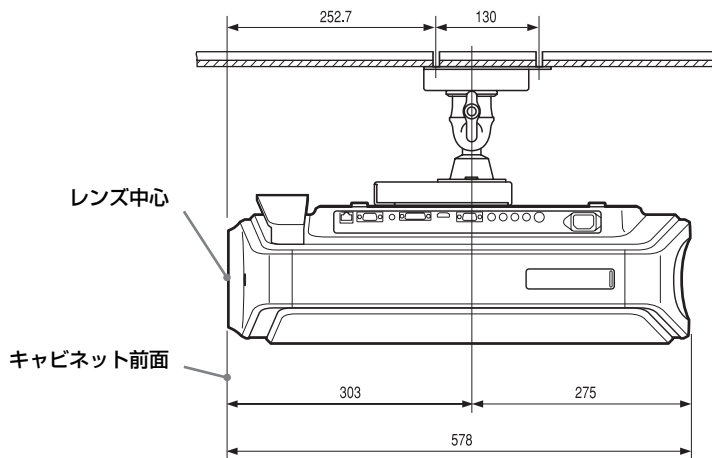
プロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 の取り付けかた

天井への設置に関して詳しくは、PSS-H10 の取付説明書をご覧ください。また、取り付けは必ずお客様ご相談センターにご相談ください。

ここでは、本機を PSS-H10 を使って天井に取り付けた場合の設置寸法について説明します。

上から見た図

プロジェクターのレンズとスクリーンが平行になるように設置してください。

前から見た図

横から見た図

PSS-610 使用時

a: スクリーンから天井用マウントブラケットの取り付け穴（前面）までの距離
b: 天井からプロジェクター本体までの距離
x: 映像が切れない状態での天井からスクリーンの中心までの距離

16:9 スクリーン使用時

単位：mm

投影サイズ（インチ）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1429	2059	2689	3319	3949	4894	5839	6469	8044	9619
	最大	2322	3398	4474	5550	6626	8240	9854	10930	13620	16310
x	最小	249	374	498	623	747	934	1121	1245	1557	1868
	最大	b+415	b+576	b+738	b+900	b+1062	b+1304	b+1547	b+1709	b+2113	b+2517
b		PSS-610 使用時、150/175/200/250/275/300mm で調整可能									

設置寸法の計算方法（SS：スクリーンサイズ）
a 最小値 =31.5 × SS + 168.8
a 最大値 =53.8 × SS + 170.1
x 最小値 =6.2263 × SS
x 最大値 =8.0876 × SS + 91 + b

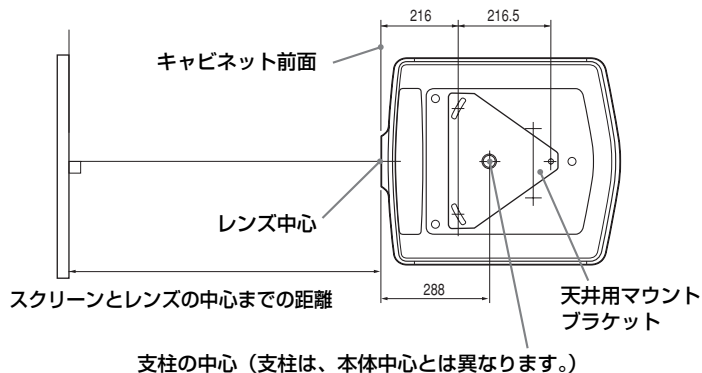
4:3 スクリーン使用時

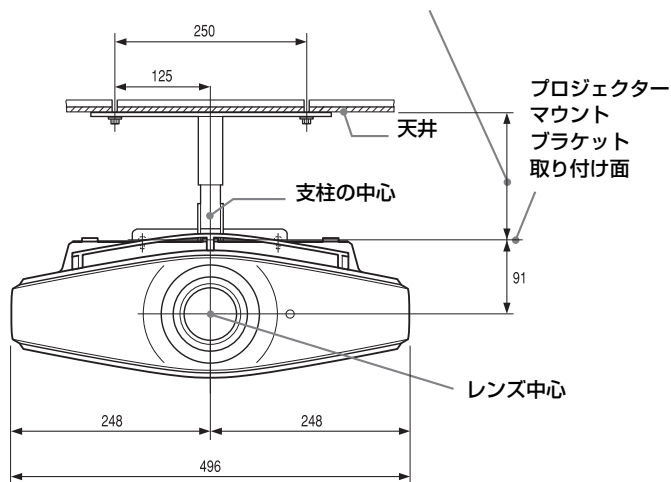
単位：mm

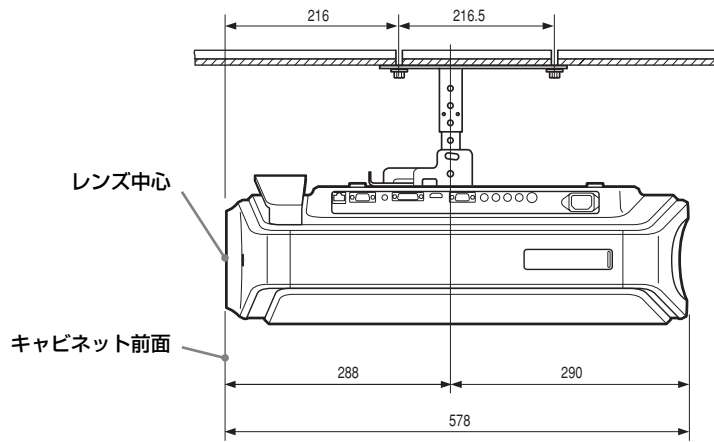
投影サイズ（インチ）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1711	2482	3253	4024	4795	5951	7108	7879	9807	11734
	最大	2804	4121	5437	6754	8071	10046	12022	13339	16461	19923
x	最小	305	457	610	762	914	1143	1372	1524	1905	2286
	最大	b+487	b+685	b+883	b+1081	b+1279	b+1576	b+1873	b+2071	b+2565	b+3060
b		PSS-610 使用時、150/175/200/250/275/300mm で調整可能									

設置寸法の計算方法（SS：スクリーンサイズ）
a 最小値 =38.551 × SS + 168.8
a 最大値 =65.842 × SS + 170.1
x 最小値 =7.62 × SS
x 最大値 =9.8979 × SS + 91 + b

プロジェクターサスペンションサポート PSS-610 の取り付けかた

天井への設置に関して詳しくは、PSS-610 の取付説明書をご覧ください。また、取り付けは必ずお客様ご相談センターにご相談ください。
ここでは、本機を PSS-610 を使って天井に取り付けた場合の設置寸法について説明します。

上から見た図

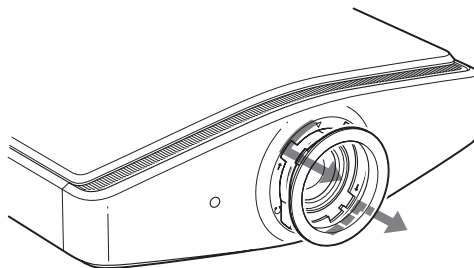
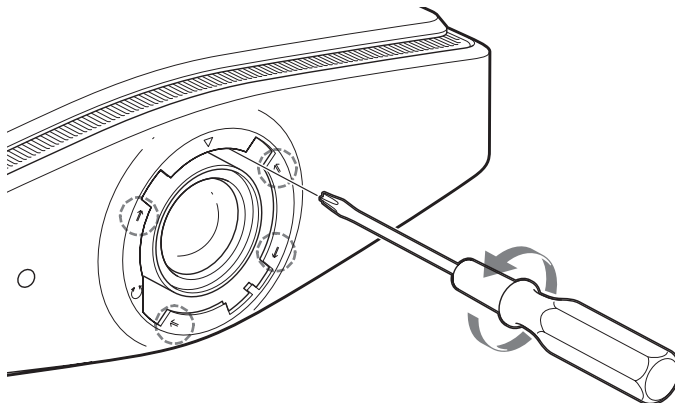
プロジェクターのレンズとスクリーンが平行になるように設置してください。

前から見た図

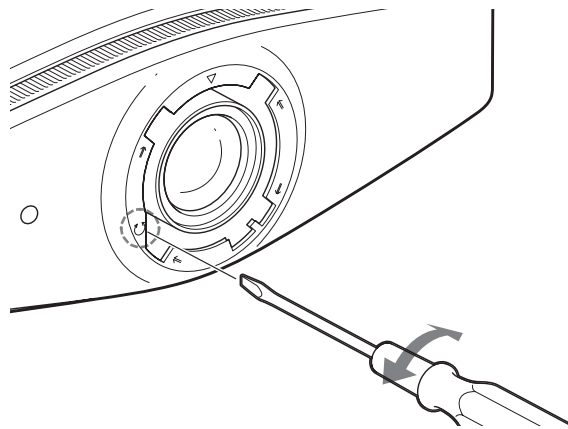
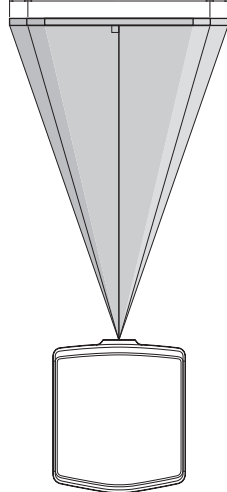
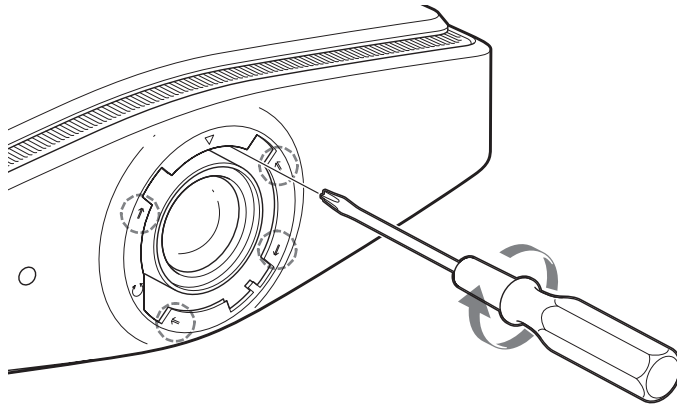
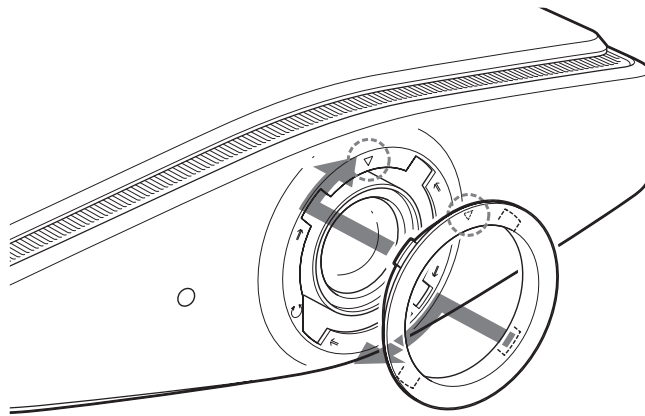
横から見た図

左右の画面位置を微調整する

ご注意

本調整は、設置業者に依頼するか、お客様の自己責任でお願いします。レンズ等に傷がついた場合、有償での修理となりますので、ご了承ください。
また本調整の際には、レンズを直接のぞかないでください。

以下の手順で、レンズの中心から左右にそれぞれ約 1 mm レンズ位置を移動できます。

1 **レンズの周りにあるリング（ワッシャー）を左に回してはずす。**

2 **矢印が示す位置の 4 つのネジを、それぞれプラスドライバーで左に廻して緩める。**

3 床置き時の正投射で（正投射でレンズに向かって）左下にあるレンズ調整の溝部分に、マイナスドライバーを差込み調整したい方向に回す。

左に回せばレンズは左に移動し、右に回せばレンズは右に移動します。（レンズの移動量：約± １ ㎜）

4 左右のレンズ位置を決めたら、プラスドライバーをレンズ四方の隙間にそれぞれ差込み、４つのネジをそれぞれ右に回して締める。

5 リング（ワッシャー）の内側にある ▽ と本体の ▽ を合わせて差し込み、右に回して締める。

ご注意

左右および上下レンズシフトを併用し、左右レンズシフトを最大にしたとき可能な上下レンズシフトは、最大で上方向に 0.53 画面となります。

索引

あ

か

さ

た

な

は

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

不要打开本机机壳，以免遭受电击。除非是本公司指定的合格技术员，否则请勿进行维修。

输出插座应安装于设备附近使用方便的地方。

警告

如果更换为不当类型的电池，有发生爆炸的危险。
请根据当地规章条例处置用过的电池。

廢電池請回收
僅適用於台灣

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

目录

CS

VPL-VW100
2-655-463-01 (1)

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请专业技术人员检查后再使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔附近。排出的空气较热。

防止内部蓄热须知

用 I/⏻ （接通 / 待机）开关关闭电源后，在冷却扇还在运转时，请勿将本机的电源插头从墙上电源插座上拔出。

警告

投影机装备有通风孔 （进气和排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏投影机。

重新包装须知

请保存原有的包装箱和包装材料，以便在运输设备时可随时使用。为尽量保护好机体，请用出厂时使用的包装箱重新包装本机。

控制器的位置

前面 / 右侧

可以使用与遥控器上的按钮名称相同的控制面板上的按钮操作投影机。

右侧

INPUT
S VIDEO
VIDEO
Y
CB/PB
CR/PR
INPUT A
HDMI
DVI-D
TRIGGER
REMOTE
NETWORK
~AC IN
～ AC IN 插孔
S VIDEO INPUT 连接器 （微型 DIN 4 芯)/VIDEO INPUT 连接器（唱机型）（☞ 第 17 页）
Y/CB/PB/CR/PR （唱机型）（☞ 第 15 页）
INPUT A 连接器 （☞ 第 18 页）
HDMI 连接器 （☞ 第 16 页）
DVI-D 连接器 （☞ 第 18 页）
TRIGGER 插孔 （微型插孔）
接通电源时输出 12 V 信号。
REMOTE 连接器
连接到电脑等，
用于遥控
NETWORK 连接器
连接到电脑等，
用于遥控

后面／底部

通风孔 （进气）
（☞ 第 12 页）
顶盖
（☞ 第 56 页）
通风孔 （排气）
（☞ 第 12 页）
遥控检测器
（☞ 第 19 页）

盖板解锁手柄
（☞ 第 56 页）
投影机悬挂支架安装孔
（☞ 第 68 页）
调节器
（☞ 第 22 页）
滤网固定器
（☞ 第 59 页）
通风孔 （进气）
（☞ 第 12 页）

遥控器

红外发射器

INPUT 按钮
（☞ 第 26 页）

LIGHT 按钮
点亮遥控器上的按钮。

PICTURE MODE 按钮
（☞ 第 32 页）

ADJ PIC 按钮
（☞ 第 33 页）

LENS 按钮
（☞ 第 19 页）

WIDE MODE 按钮
（☞ 第 29 页）

BRIGHT +/– 按钮
（☞ 第 34 页）

I/⏻（接通 / 待机）开关
（☞ 第 20 页）

⬆/⬇/⬅/➡（箭头）/
ENTER 按钮
（☞ 第 37 页）

MENU 按钮
（☞ 第 37 页）

RESET 按钮
（☞ 第 39 页）

RCP 按钮
（☞ 第 35 页）

CONTRAST +/– 按钮
（☞ 第 34 页）

LIGHT INPUT I/⏻
DYNAMIC STANDARD CINEMA
PICTURE MODE
USER 1 USER 2 USER 3
ENTER
LENS ADJ PIC MENU
WIDE MODE RCP RESET
REAL COLOR PROCESSING
BRIGHT CONTRAST

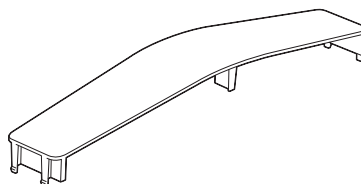
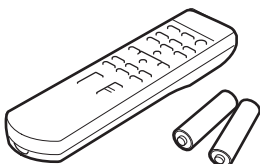
连接和准备

本节介绍如何安装投影机和屏幕，如何连接您想要投影图像的设备等内容。

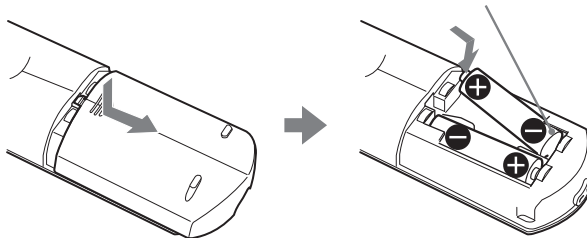
开箱

检查包装箱，确认其中包含如下物品：

• 遥控器 （1）和 AA （R6）尺寸电池 （2）

• 空气滤网盖 （1）
只有将投影机安装在天花板上时需要使用此空气滤网盖。（☞ 第 68 页）

• 交流电源线 （1）
• ImageDirector2 CD-ROM （1）
• 插头固定器
请安装插头固定器以避免不小心拔下交流电源线。
• 镜头盖 （1）
购买投影机时，镜头上装有镜头盖。使用投影机时请取下镜头盖。
• 使用说明书 （本手册）（1）

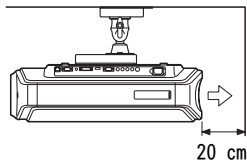
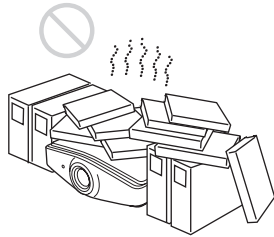
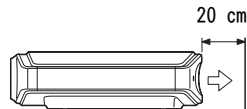
将电池插入遥控器

如图所示，首先插入电池的 ⊖ 极。
插入时如果用力过猛或极性相反，可能导致短路和发热。

步骤 1：安装投影机

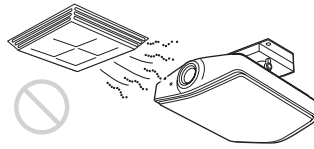
安装投影机前的准备

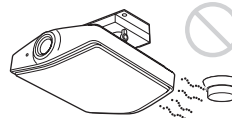
不当安装

不要将投影机放在如下位置，否则会造成故障或损坏投影机。

通风不良的场所

⇨：排气

为了维持投影机的性能和可靠性，请不要在距离后面板 20 cm 以内的空间内放置任何物品。
如果这样做的话，墙壁的温度可能会受到影响。

热和潮湿

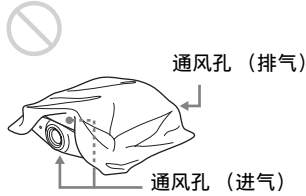
受空调的冷暖风直接吹拂的场所

在这样的场所安装投影机可能会由于水气凝结或温度升高而导致机体故障。

温度或烟雾传感器附近

可能会造成传感器失灵。

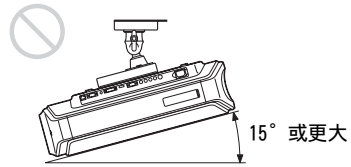
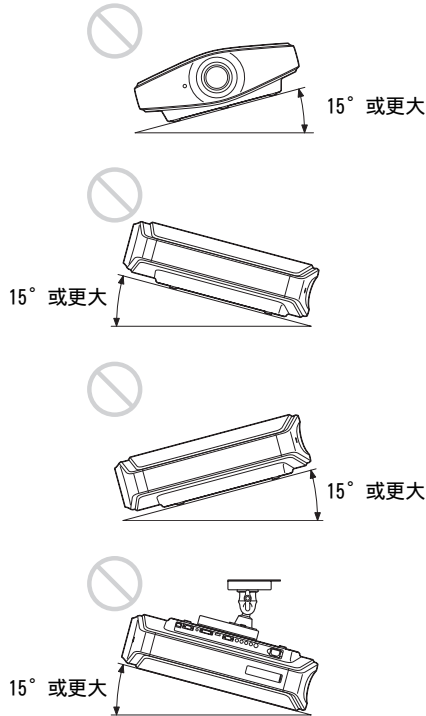
多尘、多烟雾的场所

不正确的使用方法

请不要在使用投影机期间进行下述任何操作。

堵塞通风孔。

提示

有关通风孔 （进气或排气）位置的详细内容，请参见第 6 页至第 8 页上的 “控制器的位置”。

向前面 / 后面及左侧 / 右侧倾斜

请避免在倾斜角度大于 15 度的状态下使用投影机。
请勿将投影机安装在水平表面或天花板以外的任何位置。不当安装投影机可能会引起故障。

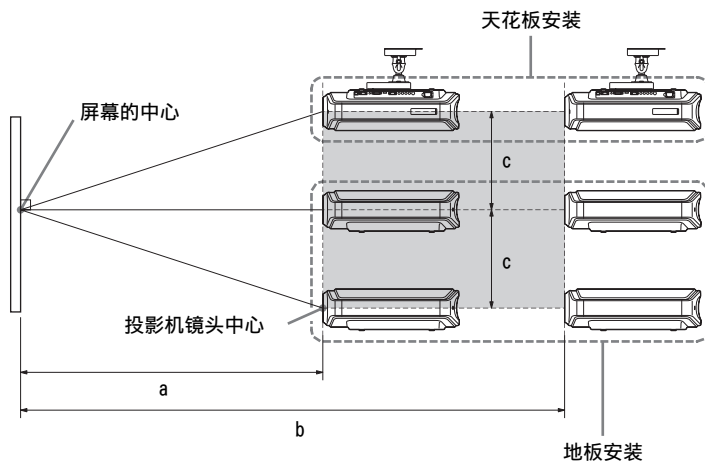
在高海拔地区安装本机时

当在海拔 1,500 m 或更高的地区使用投影机时，请将安装设定 菜单中的 “高海拔高度模式”设定为 “开”。（☞ 第 46 页）当在高海拔地区使用投影机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的效果，诸如降低某些组件的可靠性。

安装投影机和屏幕

投影机与屏幕之间的安装距离根据屏幕尺寸不同而异。

1 **确定投影机和屏幕的安装位置。**

如果放置投影机时令镜头中心位于图中以灰色标示的区域内，将会获得良好的图像质量。请使用第 14 页表中的数值 a、b 和 c 为参照。

a：屏幕与投影机镜头中心之间的最小投影距离
b：屏幕与投影机镜头中心之间的最大投影距离
c：使用最大上方垂直镜头移位功能时的屏幕中央与投影机镜头中央之间的垂直距离。

有关镜头移位功能的详细内容，请参见 “步骤 3：调整图像尺寸和位置”。(☞ 第 19 页)

当使用纵横比为 16:9 的屏幕时

单位：mm

屏幕尺寸（英寸）	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a（最小）	1212	1842	2472	3102	3732	4677	5622	6252	7827	9402
b（最大）	2105	3181	4257	5333	6409	8023	9637	10713	13403	16093
c	324	485	647	809	971	1213	1456	1618	2022	2426

要计算安装尺寸（SS：屏幕尺寸）时
a（最小）＝ 31.5 × SS － 48.2
b（最大）＝ 53.8 × SS － 46.9
c = 8.0876 × SS

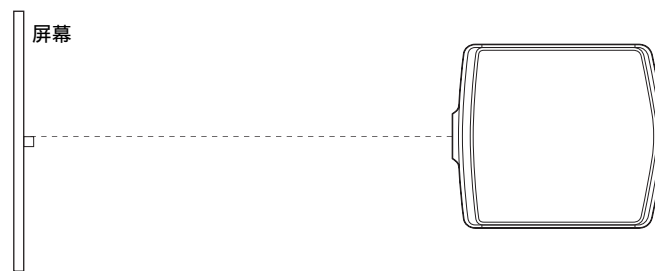
当使用纵横比为 4:3 的屏幕时（投影 4:3 图像）

单位：mm

屏幕尺寸（英寸）	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a（最小）	1494	2265	3036	3807	4578	5734	6891	7662	9590	11517
b（最大）	2587	3904	5220	6537	7854	9829	11805	13122	16414	19706
c	396	594	792	990	1188	1485	1782	1980	2474	2969

要计算安装尺寸（SS：屏幕尺寸）时
a（最小）＝ 38.551 × SS － 48.2
b（最大）＝ 65.842 × SS － 46.9
c = 9.8979 × SS

2 放置投影机时令镜头与屏幕平行。

顶视图

3 将影像投影在屏幕上并进行调整，使影像匹配于屏幕。（☞ 第 19 页）
要投影影像时，将视频设备连接到投影机上。（☞ 第 15 页）

注

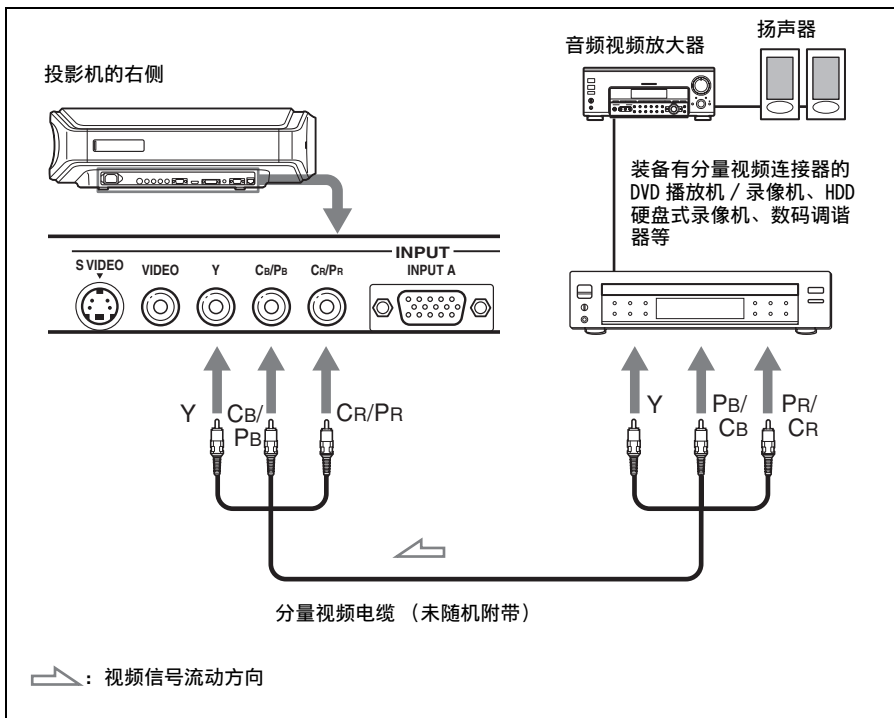
当在不平整的表面上使用屏幕时，根据屏幕与投影机之间的距离或变焦放大倍数的不同，偶尔可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非投影机的故障。

有关在天花板上安装投影机的方法，请参见 “天花板安装”。（☞ 第 68 页）

步骤 2：连接投影机

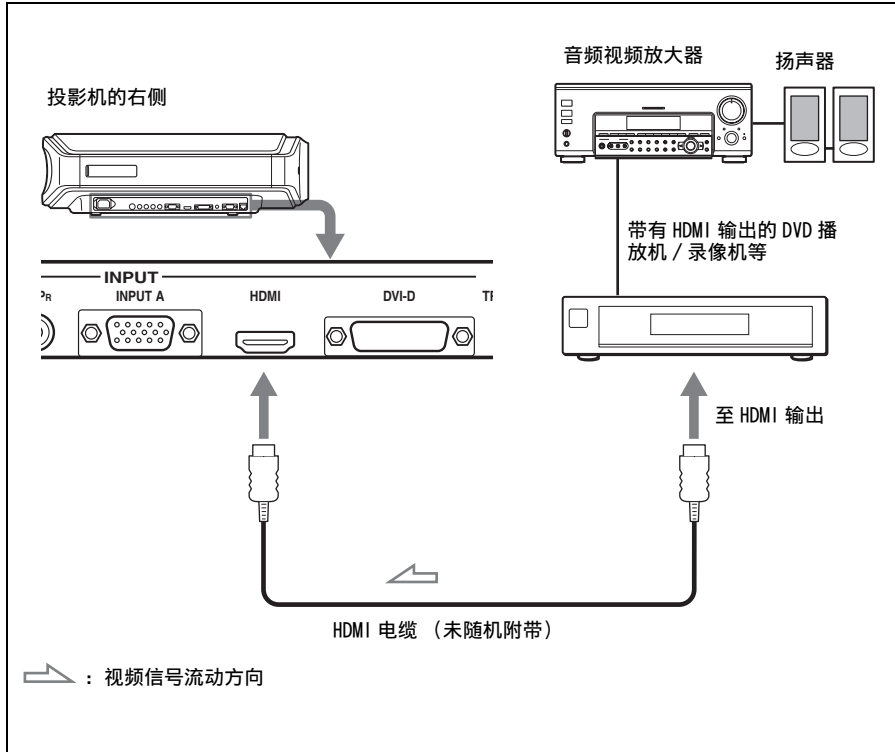
当进行连接时，请务必进行下述操作：
- 进行任何连接前关闭所有设备。
- 使用各连接用的正确的电缆。
- 正确插入电缆插头；不完全插入插头通常会产生噪音。在拔出电缆时，务必拔插头，不可拉扯电缆本身。
- 请参照所连接设备的使用说明书。

连接至 DVD 播放器 / 录像机或数码调谐器

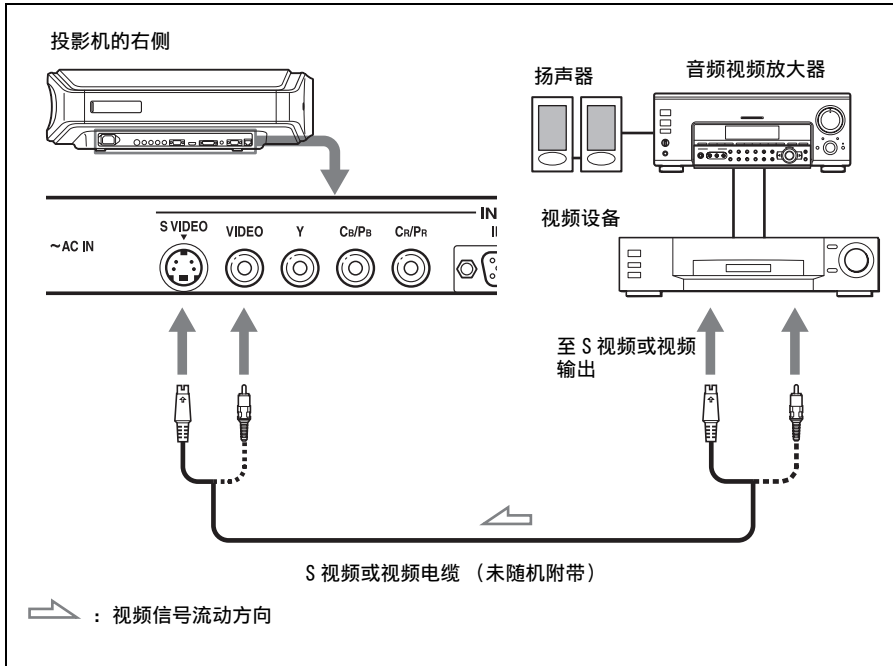
要连接至装备有分量视频连接器的 DVD 播放机 / 录像机或数码调谐器时

提示

要连接投影机至未装备有分量视频连接器的 DVD 播放机 / 录像机、HDD 硬盘式录像机、数码调谐器等时，建议您使用 S 视频电缆连接至 DVD 播放机 / 录像机、HDD 硬盘式录像机、数码调谐器等的 S 视频输出。如果所连接的设备未装备有 S 视频输出连接器，请使用视频电缆连接至该设备上的视频输出插孔。

要连接至装备有 HDMI 输出的 DVD 播放机 / 录像机时

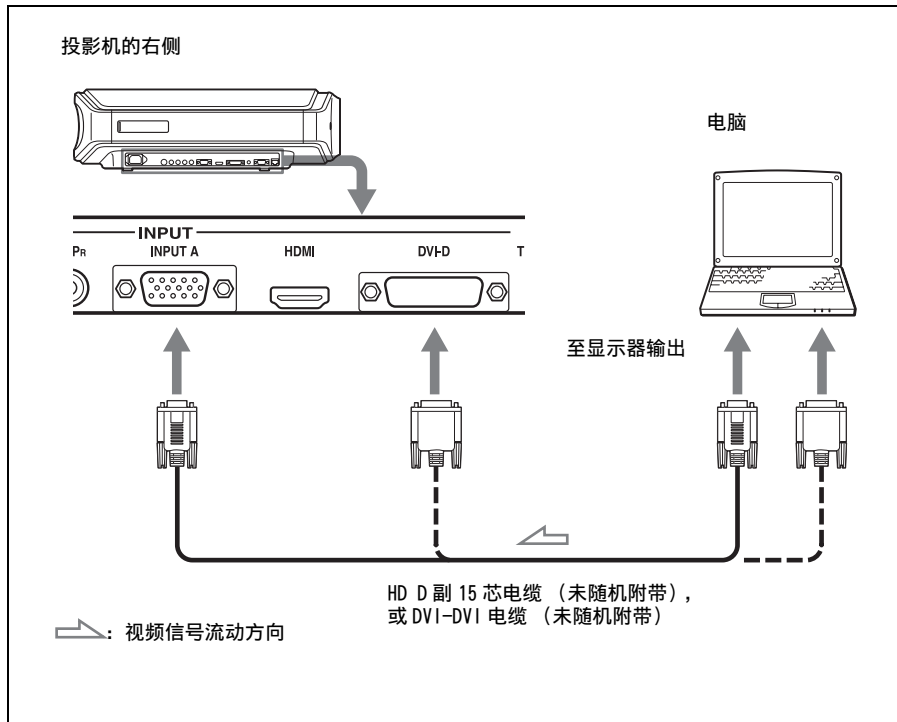
通过将装备有 HDMI 输出的 DVD 播放机 / 录像机连接至投影机的 HDMI 输入插孔，能够欣赏到更好的图像质量。

HDMI、HDMI 标志和 High-Definition Multimedia Interface 是 HDMI Licensing LLC 的商标或注册商标。本 HDMI 连接器符合 Ver. 1.1 标准。

连接至视频设备

可以连接未装备有分量视频连接器的 DVD 播放机 / 录像机，硬盘式录像机，录像机或激光光盘播放机。同时请参见各个设备的使用说明书。

提示

如果不知道应该连接电缆至 S VIDEO INPUT （S 视频输入连接器）或 VIDEO INPUT （视频输入连接器）中的哪一端，请将其连接至 S VIDEO 以欣赏到较好的图像质量。

如果要连接的装置没有 S 视频连接器，请将电缆连接至视频输出。

连接至电脑

提示

将设置 菜单中的“输入A信号选择”或“DVI信号选择”设定为“自动”或“电脑”。如果不正确显示输入信号，请将其设定为“电脑”。（☞ 第48页）

注

如果将电脑（例如笔记本类型）设定为同时向电脑显示器和外接显示器输出信号，外接显示器的图像可能不会正确显示。请将电脑设定为仅向外接显示器输出信号。

有关详细信息，请参阅随电脑附带的电脑使用说明书。

步骤 3：调整图像尺寸和位置

在屏幕上投影影像，然后调整图像位置。

提示

在投影机侧面板上的 I/⏻（接通 / 待机）、INPUT、LENS、MENU 和 ↑/↓/←/→/ENTER（控制杆）按钮与遥控器上的相应按钮具有相同功能。

注

根据投影机安装位置的不同，您可能无法使用遥控器控制投影机。此种情况下，请将遥控器指向屏幕，而不指向投影机。

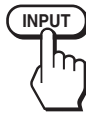
1 将交流电源线插入墙上电源插座。

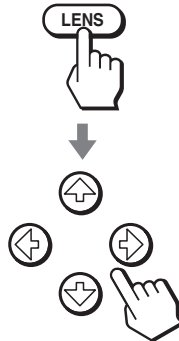
ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色，同时投影机进入待机模式。

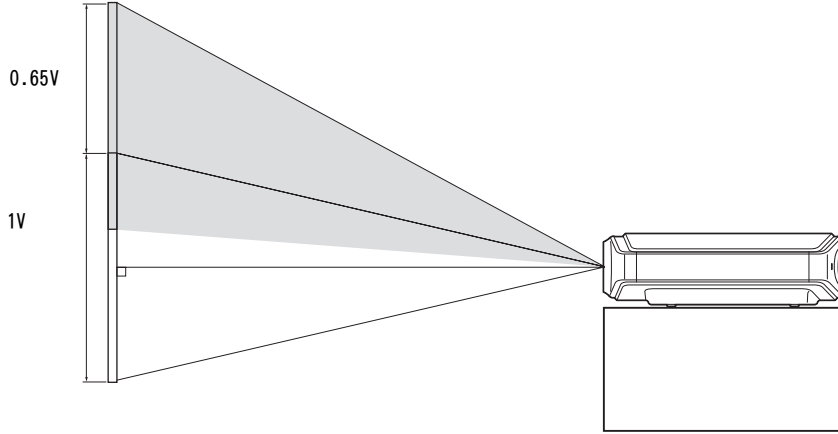
2 按 I/⏻（接通 / 待机）开关以接通投影机电源。
ON/STANDBY 指示灯以绿色闪烁，然后以绿色点亮。

以绿色闪烁数秒钟，然后以绿色点亮。

3 打开与投影机相连的设备。
请参照所连接设备的使用说明书。

4 按 INPUT 在屏幕上投影图像。
每次按该按钮时，将要投影的输入指示和设备会改变。
（☞ 第 26 页）

提示
当功能 菜单中的 “自动输入搜索”设定为 “开”时，通过按 INPUT 可自动显示信号输入的频道。（☞ 第 45 页）

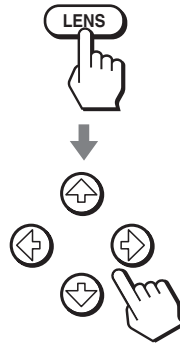
5 调整垂直方向的图像位置。
反复按 LENS 按钮直到出现透镜移位调整窗口 （测试图案）。然后通过按 ↑/↓/←/→ 按钮选择正确的垂直位置。
要向上移动位置时，按 ↑ 或 →。
要向下移动位置时，按 ↓ 或 ←。

提示
当安装设定 菜单上的 “透镜控制”设定为 “关”时，不能调整垂直方向的图像位置。（☞ 第 46 页）
当功能 菜单上的 “测试图案”设定为 “关”时，不显示测试图案。
（☞ 第 45 页）

最大可以自镜头中心起将图像向上移动 0.65 个屏幕尺寸。

提示

您还可以调整镜头的水平位置。有关详细信息，请参见第 75 页上的 “对水平图像位置进行精细调节”。

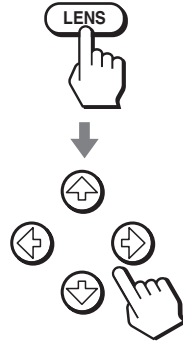
6 调整图像尺寸。

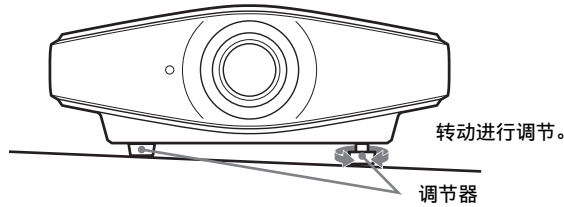
反复按 LENS 按钮直到出现透镜变点调整窗口 （测试图案）。然后通过按 ↑/↓/←/→ 按钮调整图像的尺寸。
要使图像变大时，按 ↑ 或 →。
要使图像变小时，按 ↓ 或 ←。

提示

当安装设定 菜单上的 “透镜控制” 设定为 “关” 时，不能调整图像尺寸和对焦。（☞ 第 46 页）

当功能 菜单上的 “测试图案” 设定为 “关” 时，不显示测试图案。（☞ 第 45 页）

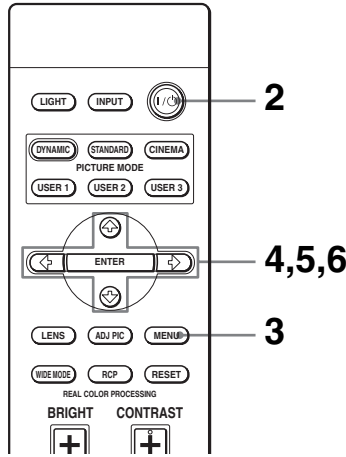
7 调整对焦。

反复按 LENS 按钮直到出现透镜焦点调整窗口 （测试图案）。然后通过按 ↑/↓/←/→ 按钮调整图像的对焦。

要调整安装表面的倾斜度时

如果将投影机安装在不平坦的表面，请使用调节器保持投影机处于水平状态。

注

转动调节器时，小心不要夹住手指。

步骤 4：选择菜单语言

可为显示菜单和其它屏幕显示选择 15 种语言之一。出厂默认设置为英语。

提示

您还可以使用投影机侧面板上的 ↑/↓/←/→ （箭头）/ENTER 按钮操作菜单，而不使用遥控器上的 ↑/↓/←/→/ENTER 按钮。

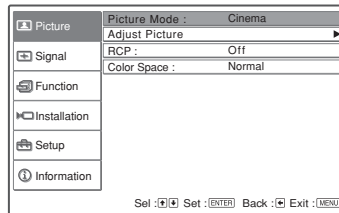
1 将交流电源线插入墙上电源插座。

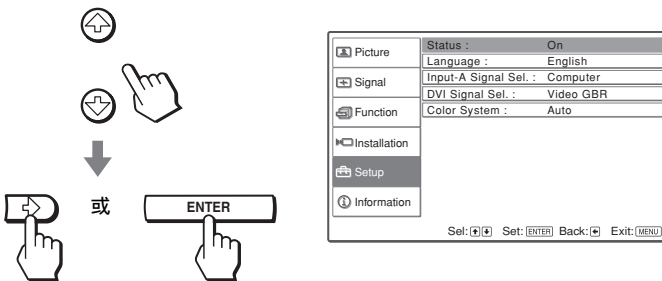
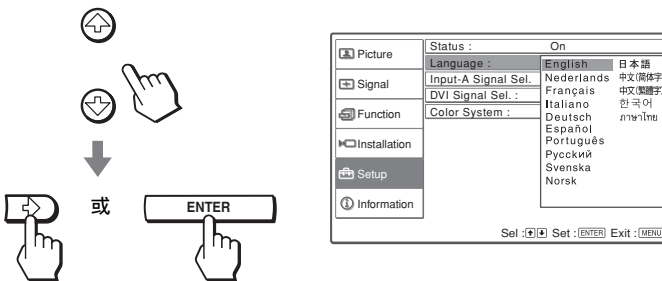
ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色，同时投影机进入待机模式。

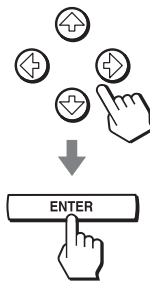
2 按 I/⏻ （接通 / 待机）开关以接通投影机电源。

ON/STANDBY 指示灯以绿色闪烁，然后以绿色点亮。

3 按 MENU。

出现菜单。

4 按 ↑ 或 ↓ 选择 Setup 菜单，然后按 → 或 ENTER。

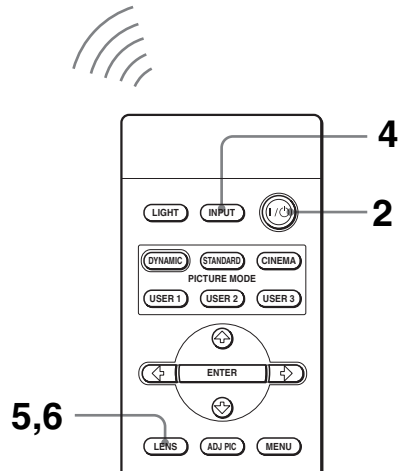
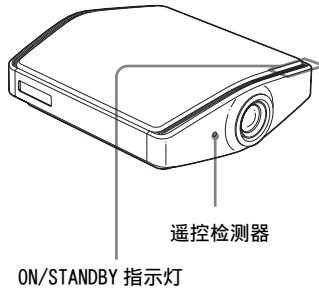
出现所选菜单的设定项目。

5 按 ↑ 或 ↓ 选择 “Language”，然后按 → 或 ENTER。

6 按 ↑/↓/←/→ 选择语言，然后按 ENTER。

菜单变为所选语言。

要清除菜单时

按 MENU。

投影

本节介绍如何操作投影机以观看来自与投影机相连接的设备的图像。还介绍如何按照您的喜好调整图像质量。

在屏幕上投影图像

1 将交流电源线插入墙上电源插座。

ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色，同时投影机进入待机模式。

以红色点亮。

2 按 I/⏻ （接通／待机）开关以接通投影机电源。
ON/STANDBY 指示灯以绿色闪烁，然后以绿色点亮。

以绿色闪烁数秒钟，然后以绿色点亮。

3 打开与投影机相连的设备。
请参照所连接设备的使用说明书。

4 反复按 INPUT 选择您想要在屏幕上投影的输入信号。
显示您想要的输入信号指示。
示例：要观看来自连接在 VIDEO INPUT 连接器上的视频设备的图像时。

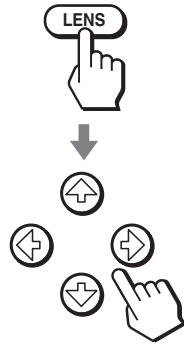
要观看来自下述设备的图像时	按 INPUT 以显示
连接在 VIDEO INPUT 连接器上的视频设备	视频信号输入
连接在 S VIDEO INPUT 连接器上的视频设备	S 视频信号输入
连接在投影机的 Y/CB/PB/CR/PR 上的分量设备	分量
连接在 INPUT A 连接器上的 RGB/ 分量设备	输入 A*
连接在 DVI-D 连接器上的视频设备	DVI*
连接在 HDMI 连接器上的设备	HDMI

* 在设置 菜单中根据输入信号设定 “输入 A 信号选择”设置和 “DVI 信号选择”设置。当您将其设定为 “自动”而不能正确显示图像时，请根据输入信号选择适当的信号。（☞ 第 48 页）

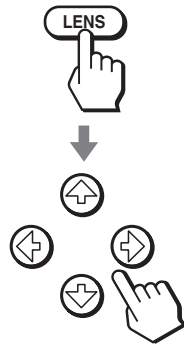
提示
当功能 菜单中的 “自动输入搜索”设定为 “开”时，当您按 INPUT 时会自动显示输入信号的频道。

5 调整图像尺寸。

反复按 LENS 按钮直到出现透镜变点调整窗口（测试图案）。然后使用 ↑/↓/←/→ 按钮调整图像的尺寸。
要使图像变大时，按 ↑ 或 →。
要使图像变小时，按 ↓ 或 ←。

提示

当安装设定 菜单上的“透镜控制”设定为“关”时，不能调整图像尺寸和图像的对焦。（☞ 第 46 页）
当功能 菜单上的“测试图案”设定为“关”时，不显示测试图案。（☞ 第 45 页）

6 调整对焦。

反复按 LENS 按钮直到出现透镜焦点调整窗口（测试图案）。然后使用 ↑/↓/←/→ 按钮调整图像的对焦。

要调整垂直方向的位置时

您还可以使用 LENS 按钮调整垂直方向的位置。（☞ 第 20 页）

关闭电源

1 按 I/⏻（接通 / 待机）开关。
屏幕上出现 “电源关闭？” 信息。

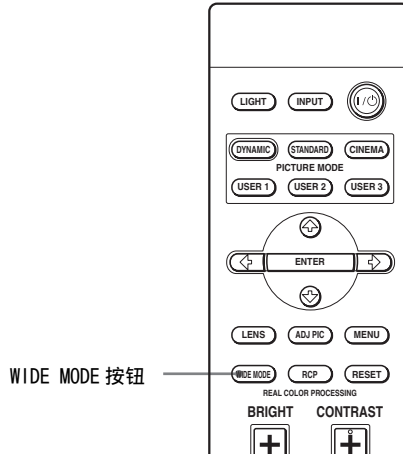
2 再次按 I/⏻ 开关。
ON/STANDBY 指示灯以绿色闪烁，冷却扇将继续运转以减少内部蓄热。最初 ON/STANDBY 指示灯快速闪烁，在此期间您将无法使用 I/⏻ 点亮 ON/STANDBY 指示灯。

3 在冷却扇停止运转且 ON/STANDBY 指示灯变为红色后，从墙上电源插座拔下交流电源线。

您可以通过按住 I/⏻（接通 / 待机）开关约 1 秒钟关闭投影机，而不需要执行以上步骤。

VPL-VW100
2-655-463-01 (1)

选择宽屏幕模式

根据所接收的视频信号的不同，您可以欣赏多样的宽屏幕模式。您还可以使用菜单选择宽屏幕模式。（☞ 第 42 页）

按 WIDE MODE。

每按一次该按钮可选择 “宽模式” 设置。

全屏幕

以正确的纵横比显示压缩为 4:3 的图像。4:3 的图像被水平放大以适合 16:9 屏幕。

提示

压缩：将纵横比为 16:9 的原始图像水平压缩为 4:3 的图像记录。

标准

在屏幕中央以标准 4:3 纵横比显示图像以充满垂直方向的屏幕尺寸。

调整放大

4:3 纵横比的图像被放大，并且图像的上部和下部被压缩以适合 16:9 屏幕。可使用该模式观看新闻，各种节目等。

放大

标准 4:3 纵横比的图像被垂直和水平放大相同比率以充满屏幕。使用该模式可观看带字幕的图像。

副标题

字幕区域被压缩，并显示在屏幕的下部。使用该模式可观看带字幕的电影。

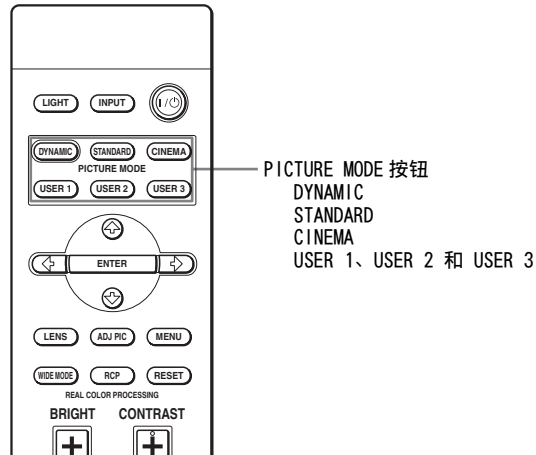
注

- 只有当选定 “放大”或 “副标题”时，可以在信号设定 菜单中用 “垂直位置”调整垂直方向的图像位置。（☞ 第 43 页）
- 只有当选定 “副标题”时，可以在信号设定 菜单中用 “标题区”调整字幕的位置。（☞ 第 43 页）

有关选择宽屏幕模式的注意事项

- 选择宽屏幕模式应考虑到，改变原始图像的纵横比将会使图像的外观与原始影像不同。
- 请注意，如果以营利或公共观赏为目的使用本投影机，因切换到宽模式而改变原有图像可能会侵犯图像作者或制作者受法律保护的权利。

选择图像观看模式

可以选择最适合节目类型或房间环境的图像观看模式。

按 PICTURE MODE 按钮之一（DYNAMIC、STANDARD、CINEMA 以及 USER 1、USER 2 和 USER 3）。

DYNAMIC

增强图像对比度和清晰度。

STANDARD

建议在通常观看条件下使用。如果在使用“DYNAMIC”观看图像时效果粗糙，请选择该项目。

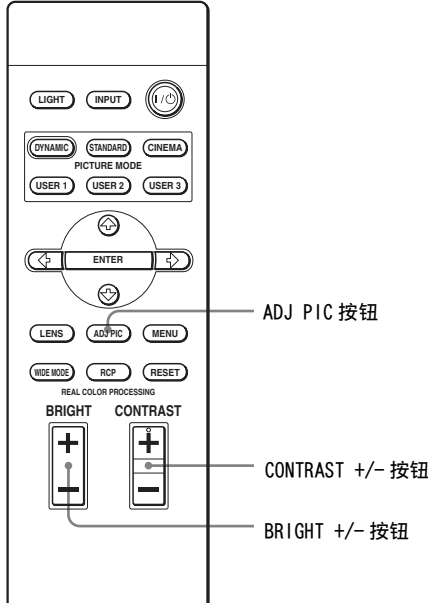
CINEMA

建议在黑暗场所观看电影时使用。

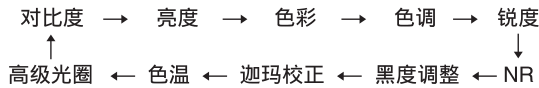
USER 1、USER 2 和 USER 3

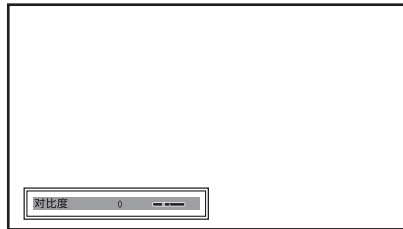
可以根据您的喜好调整图像质量并将该设置存储在投影机的所选内存中。按 USER 1、USER 2 和 USER 3 按钮之一，然后使用遥控器或菜单上的按钮调整图像。（☞ 第 33 页和第 40 页）设置被保存，您可以通过按该按钮以调整后的图像质量观看图像。

调整图像质量

可以通过使用遥控器选择调整项目来按照您的喜好调整图像质量。调整后的数据会被存储在各个图像模式中。

1 按 ADJ PIC。

每次按该按钮时，将依次显示下述调整窗口 *。

对比度 → 亮度 → 色彩 → 色调 → 锐度 → NR → 黑度调整 → 迦玛校正 → 色温 → 高级光圈 → 对比度

* 根据输入信号的不同，将不会显示上述调整窗口中的某些窗口。有关详细说明，请参阅 “输入信号和可调整 / 设定项目”。（☞ 第 66 页）

示例：要调整对比度时

有关各个调整的详细内容，请参见图像设定 菜单中的 “调整图像”。（☞ 第 40 页）

2 **对项目进行设置或调整。**

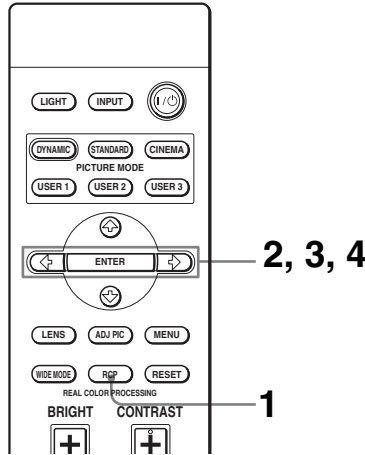
当改变调节量时
若要增大数值，按 ➡。
若要减小数值，按 ⬅。

修改设置时
按 ⬆ 或 ⬇ 改变设置。

要调整对比度和亮度时

按遥控器上的 CONTRAST +/- 调整对比度。
按遥控器上的 BRIGHT +/- 调整亮度。

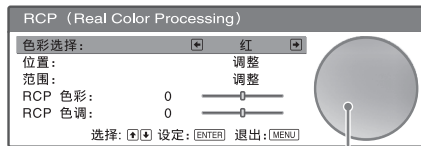
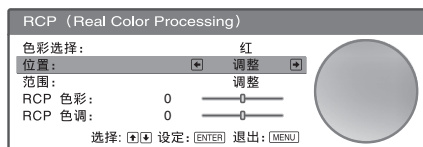
使用逼真色彩处理调整图像

使用逼真色彩处理 （RCP）功能，您可以为指定的投影图像单独调整各个目标色彩和色调。因此可以获得更符合您喜好的图像。

提示
使用逼真色彩处理时请固定视频信号源的图像画面。

1 **按遥控器上的 RCP。**

2 **按 ↑ 或 ↓ 选择 “用户 1”、“ 用户 2”或 “用户 3”，然后按 ➡。**
出现 RCP （Real Color Processing）窗口。

3 **选择您想要调整的目标色彩。**
反复下述步骤 ❶ 和 ❷ 指定目标色彩。

❶ 按 ↑ 或 ↓ 选择“色彩选择”，然后按 ⬅ 或 ➡ 从“红”、“黄”、“绿”、“青”、“蓝”和 “品红”中选择您想要调整的色彩。
只有与您指定色彩相对应的部位以彩色显示，而其它部位将以黑白颜色显示。RCP 窗口中的参考调色板也显示可调整色彩。在观看投影图像并作为指南观看参考调色板期间决定目标。

❷ 按↑或↓选择“位置”或“范围”，然后使用←或→指定更精细的色彩和您想要调整的色彩范围。

4 调整指定部位的色彩。

按↑或↓选择 “RCP 色彩” 或 “RCP 色调”，然后一边观看投影图像，一边使用←或→按照您的喜好调整在步骤 3 选定部位的色彩或色调。调整期间图像返回为正常色彩。

5 调整完成后，按 RCP。

RCP 窗口消失，并恢复为正常图像。

调整后的数据将被存储在步骤 2 选定的存储器中，并可以日后调用该数据。

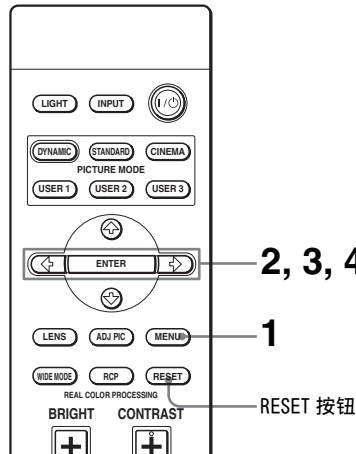
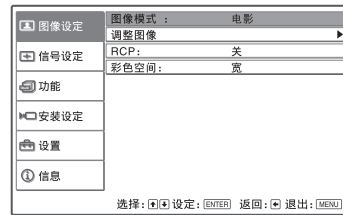
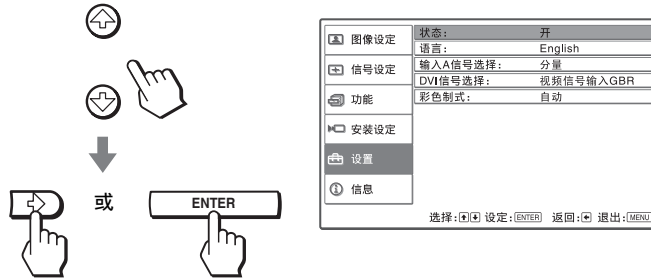
提示

选择位置和范围时会有一些限制。

使用菜单

本节介绍如何使用菜单进行各种调整和设定。

通过菜单操作

本投影机装备有屏幕显示菜单，可用来进行多种调整和设定。某些可调整 / 设定项目显示在弹出菜单、没有主菜单的设定菜单或调整菜单、或下一个菜单窗口中。如果选择项目名带有箭头（▶）的项目，会出现设定项目的下一个菜单窗口。
要改变屏幕显示菜单语言时，请参见 “选择菜单语言”。（☞ 第 23 页）

1 按 MENU。
出现菜单窗口。

2 按 ↑ 或 ↓ 选择菜单项目，然后按 ➡ 或 ENTER。
出现可以使用所选菜单进行设定或调整的项目。当前选择的项目显示为黄色。

3 按 ↑ 或 ↓ 选择您想要设定或调整的项目，然后按 ➡ 或 ENTER。
设定项目显示在弹出菜单、设定菜单、调整菜单或下一个菜单窗口中。

弹出菜单

设定项目

设定菜单

调整菜单

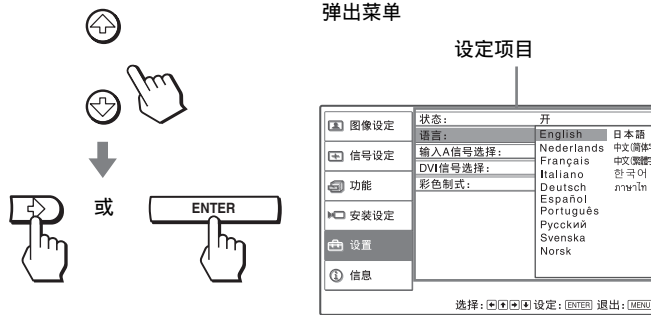
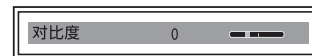
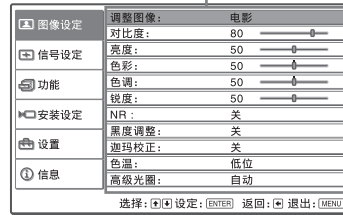
VPL-VW100
2-655-463-01 (1)

下一个菜单窗口

设定项目

图像设定
信号设定
功能
安装设定
设置
信息

调整图像：电影
对比度：80
亮度：50
色彩：50
色调：50
锐度：50
NR：关
黑度调整：关
迦玛校正：关
色温：低位
高级光圈：自动

选择：⬆⬇ 设定：ENTER 返回：⬅ 退出：MENU

4 对项目进行设定或调整。

当改变调节量时
若要增大数值，按 ⬆ 或 ➡。
若要减小数值，按 ⬇ 或 ⬅。
按 ENTER 可恢复原来的画面。

修改设定时
按 ⬆ 或 ⬇ 改变设置。
按 ENTER 可恢复原来的画面。
根据所选项目的不同，您可以使用 ⬅ 恢复原来的画面。

要清除菜单时

按 MENU。

要重设被调节过的项目时

选择您想要复原的项目，然后按 RESET。
屏幕上出现 “完毕 !”，设置复原为出厂时的预设值。
能够被重设的项目 :

- 图像设定 菜单上的 “调整图像” 中的 “对比度”、“亮度”、“色彩”、“色调”、“锐度” 和 “色温”，还有 “RCP”
- 信号设定 菜单上的 “调整信号” 的 “点相位”、“尺寸 H” 和 “移位”，还有 “DRC 模式” 的 “垂直位置”、“标题区” 和 “DRC 调色板”
- 安装设定 菜单上的 “垂直梯形失真校正”

不能够调整的项目

根据输入信号的不同，可调整的项目会受到限制。菜单中不显示不能够调整或设定的项目。(☞ 第 66 页)

图像设定菜单

图像设定菜单用于调整图像。

图像设定
信号设定
功能
安装设定
设置
信息

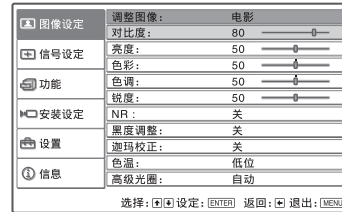
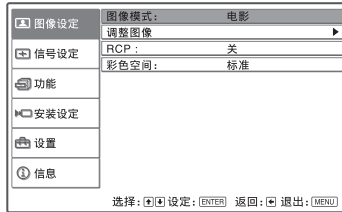
图像模式：	电影
调整图像	▶
RCP：	关
彩色空间：	标准

选择：↑↓ 设定：ENTER 返回：← 退出：MENU

调整图像菜单

图像设定
信号设定
功能
安装设定
设置
信息

调整图像：	电影
对比度：	80
亮度：	50
色彩：	50
色调：	50
锐度：	50
NR：	关
黑度调整：	关
迦玛校正：	关
色温：	低位
高级光圈：	自动

选择：↑↓ 设定：ENTER 返回：← 退出：MENU

图像模式

可以选择最适合图像类型或环境的图像观看模式。

动态	**选择该选项以增强图像的对比度和清晰度。**
标准	**建议在通常观看条件下使用。与使用动态观看图像时相比要降低图像的粗糙程度时，也可选择该选项。**
电影	**选择该选项以获得柔和的，类似电影般的图像。**
用户 1 用户 2 用户 3	**可以根据您的喜好调整图像质量并存储该设置。** 一旦设置被存储，您便可以通过按遥控器上的 PICTURE MODE 按钮或通过在图像设定 菜单上的 “图像模式”中选择希望的设置，以调整后的图像质量观看图像。 **要存储设置时** **1** 选择用户 1、用户 2、或用户 3。 **2** 在菜单中调整您想要的项目。 可以存储的项目如下：“**调整图像**”项目和 “**宽模式**”、“**垂直位置**”、“**标题区**”、“**DRC 模式**”和 “**电影模式**”设置。 **提示** 您还可以在 “**动态**”、“**标准**”或 “**电影**”模式中调整图像质量，并存储该设置。要将所有设置恢复为出厂时的设置时，按 RESET。

调整图像

您可以对图像做精细调整。

对比度	**调整图像的白色区域 （白色水平）。** 设定值越高，对比度越大。设定值越低，对比度越小。
亮度	**调整图像的亮度。** 设定值越高，图像越亮。设定值越低，图像越暗。
色彩	**调整色彩浓度的强度。** 设定值越高，浓度越高。设定值越低，浓度越低。
色调	**调整色调。** 设定值越高，图像越偏绿色。设定值越低，图像越偏红色。

锐度	**使图像的轮廓变得清晰，或减少杂讯。** 设定值越高，图像越清晰。设定值越低，图像越柔和，因此可减少杂讯。
NR	**减少图像的粗糙程度或杂讯。** 通常请选择 “**关**”。 如果图像粗糙或有杂讯，请根据输入信号源从 “**低位**”、“ **中位**” 或 “**高位**” 中选择设置。
黑度调整 （调整）	**产生轮廓鲜明、生动的图像。** 根据输入信号源进行设定。 **关：**取消此功能。 **低位：**较弱地突出黑色。 **高位：**较强地突出黑色。
迦玛校正	**调整图像色调的响应特性。** 可以从下述三种选项中选择您喜好的色调。 **关：**本功能不工作。 **迦玛 1：**使场景稍微变亮。 **迦玛 2：**使场景变亮。 **迦玛 3：**使场景变暗。 可以使用专用控制器 “ImageDirector2*”（附带的 CD-ROM）在电脑中调整、设定和存储您所喜爱的色调。 * 有关 “ImageDirector2” 的详细内容，请在电脑上参阅附带 CD-ROM 上提供的 Help。
色温	**调整色温。** **高位：**使白颜色带蓝色。 **中位：**显示 “**高位**” 和 “**低位**” 之间的中间色调。 **低位：**使白颜色带红色。 **特制 1、特制 2、特制 3：**可以调整、设定和存储您喜好的色温。
高级光圈	**可在投影期间切换光圈功能。** **关：**标准对比度。 **开：**通过提高对比度来增强黑色。 **自动：**根据投影场景自动切换为最佳光圈。最大限度地增强场景对比度。

使用菜单

RCP （逼真色彩处理）

可以单独调整图像中各个选定部位的色彩和色调。

关	**取消此功能。**
用户 1、 用户 2、 用户 3	**您可以使用逼真色彩处理调整图像并存储设置。 一旦设置被存储，您便可以以调整后的图像质量观看图像。** 有关详细内容，请参见 “使用逼真色彩处理调整图像”。（☞ 第 35 页）

彩色空间

您可以转换色彩再现的范围。

标准	**将色彩转换为 Hi-Vision 色彩。**
宽	**与 “标准” 相比，能够以更广泛的色彩再现范围再现更自然的色调。**

信号设定菜单

信号设定菜单用来调整输入信号。可以调整图像的尺寸，并选择宽屏幕模式等。

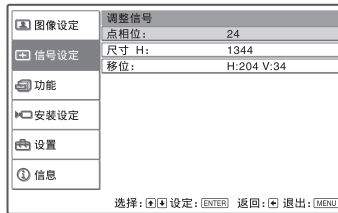
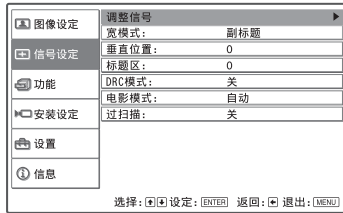
调整信号菜单

图像设定
信号设定
功能
安装设定
设置
信息

调整信号	
宽模式：	副标题
垂直位置：	0
标题区：	0
DRC模式：	关
电影模式：	自动
过扫描：	关

选择：⬆⬇ 设定：ENTER 返回：⬅ 退出：MENU

调整信号	
点相位：	24
尺寸 H：	1344
移位：	H:204 V:34

选择：⬆⬇ 设定：ENTER 返回：⬅ 退出：MENU

调整信号

可以调整输入信号。

点相位	**调整面板的点相位和电脑信号。** 将图像调整到最清晰的位置。
尺寸 H	**调整来自电脑的图像的水平尺寸。** 设定值越高，图像越宽。设定值越低，图像越窄。 调整设置以和输入信号的点数相匹配。
移位	**调整图像的位置。** H：随着 H （水平）的设定值增大，图像向右移动，随着设定值减小，图像向左移动。使用 ⬅ 或 ➡ 调整图像的水平位置。 V：随着 V （垂直）的设定值增大，图像向上移动，随着设定值减小，图像向下移动。使用 ⬆ 或 ⬇ 调整图像的垂直位置。

宽模式

您可以设定显示当前输入信号的图像的纵横比。仅在有 SD 信号 （预设存储器第 1 至 6 号）输入时，此项目有效。

全屏幕	以正确的纵横比显示压缩为 4:3 的图像。
标准	显示 4:3 纵横比的图像以充满垂直方向的屏幕高度。
调整放大	4:3 纵横比的图像被放大，并且图像的上部和下部被压缩以适合 16:9 屏幕。
放大	4:3 纵横比的图像被垂直和水平放大适当的比率以充满 16:9 屏幕。
副标题	字幕区域被压缩，并显示在屏幕的下部。

垂直位置	**在宽屏幕模式下调整图像的垂直位置。** 设定值增大时，图像向上移动。设定值减小时，图像向下移动。 **注** 仅在 “**宽模式**” 下选择 “**放大**” 或 “**副标题**” 时，此项目可以调整。

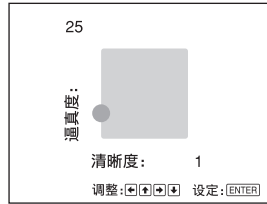
标题区	**调整字幕区域。** 设定值增大时，字幕区域向上移动。 设定值减小时，字幕区域向下移动。 **注** 仅在 “**宽模式**” 下选择 “**副标题**” 时，此项目可以调整。

DRC 模式	**使由于尺寸增大而看起来粗糙的输出视频影像变得平滑。** **关：**不变化。 **模式 1：**再现精细和自然的图像。建议对移动图像使用此模式。 **模式 2：**再现图像时抑制图像的闪动。建议对静止图像使用此模式。 当在 “**DRC 模式**” 中选择了 “**模式 1**” 或 “**模式 2**” 时，可以按照您的喜好在 DRC 调色板上调整图像的 “逼真度” 和 “清晰度”。 当杂讯较强时，请增大 “**清晰度**” 的数值。 有关如何使用 DRC 调色板的详细信息，请参见第 44 页上的 “DRC 调色板”。
电影模式	**以平滑的图像运动再现 2-3 或 2-2 Pull-Down 电影信号源的图像。** **自动：**自动检测 2-3 或 2-2 Pull-Down 格式并以平滑的图像运动再现电影信号源的图像。 **关：**不检测 2-3 或 2-2 Pull-Down 格式。

过扫描	**隐藏图像的轮廓。** **开：**隐藏输入图像的轮廓。当图像的边缘出现杂讯时选择此设置。 **关：**投影整个输入图像。

屏幕区域	**当 Hi-Vision 图像过扫描时选择图像尺寸。** **全屏幕：**将图像扩大到整个屏幕。 **非变换：**不将图像扩大到整个屏幕。 **注** 仅在有 Hi-Vision 信号 （预设存储器第 7、8、9、12 和 13 号）输入并且在 “**过扫描**” 中选择了 “**开**” 时，此项目有效。

DRC 调色板

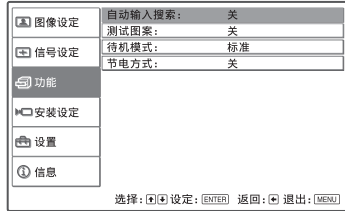
可以按照您的喜好调整图像的“逼真度”和“清晰度”。
仅在 DRC 模式中选择了“模式 1”或“模式 2”时，此功能有效。

要增大“清晰度”的设定值时，按 ➡ 按钮。
要减小“清晰度”的设定值时，按 ⬅ 按钮。
要增大“逼真度”的设定值时，按 ⬆ 按钮。
要减小“逼真度”的设定值时，按 ⬇ 按钮。

功能菜单

功能菜单用于改变投影机的各种功能设置。

图像设定
信号设定
功能
安装设定
设置
信息

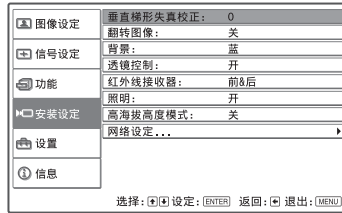
自动输入搜索： 关
测试图案： 关
待机模式： 标准
节电方式： 关

选择：⇧⇩ 设定：ENTER 返回：⇦ 退出：MENU

自动输入搜索	**当按下 INPUT 按钮时，自动检测输入信号并显示所检测到的输入信号。** 设定为 “**开**” 时，投影机会在按下 INPUT 按钮时检测是否输入了分量、HDMI、DVI、视频信号输入、S 视频信号输入或输入 A 信号。然后会自动显示所检测到的输入频道。当您想要选择没有输入信号的频道或想要手动切换输入频道时，设定为 “**关**”。
测试图案	**显示测试图案。** 当设定为 “**开**” 时，使用 “**透镜焦点**”，“**透镜变点**” 和 “**透镜移位**” 调整镜头或使用 “垂直梯形失真校正” 校正屏幕比例时，屏幕上出现测试图案。当此项目设定为 “**关**” 时，屏幕上不出现测试图案。
待机模式	**降低待机模式下的电力消耗。** 当设定为 “**低位**” 时，可以降低待机模式下的电力消耗。
节电方式	**设定节电模式。** 当设定为 “**开**” 时，如果约 10 分钟没有信号输入，投影机会进入节电模式。此时，POWER SAVING 指示灯以橙色点亮。屏幕变黑。节电模式下，当有信号输入或按下任意按钮时，节电模式会被取消。如果不想把投影机设定为节电模式，选择 “**关**”。

安装设定菜单

安装设定菜单用于改变安装设定。

菜单	项目	设定
图像设定	垂直梯形失真校正：	0
信号设定	翻转图像：	关
功能	背景：	蓝
安装设定	透镜控制：	开
设置	红外线接收器：	前&后
信息	照明：	开
	高海拔高度模式：	关
	网络设定...	

选择：◆◆ 设定：ENTER 返回：◆ 退出：MENU

垂直梯形失真校正	**校正图像的垂直梯形失真。** **当梯形底边比上边长时**（ ）：设定较小数值（– 方向）。 **当梯形上边比底边长时**（ ）：设定较大数值（+ 方向）。 **注** 根据通过透镜移位功能调节的图像位置的不同，图像的纵横比可能会与原来的图像不同，或者使用垂直梯形失真校正调整时可能会发生图像失真。
翻转图像	**在屏幕上水平和 / 或垂直翻转图像。** **关：**图像不翻转。 **水平垂直翻转：**水平和垂直翻转图像。 **水平翻转：**水平翻转图像。 **垂直翻转：**垂直翻转图像。 进行后方投影安装或天花板安装时，请使用此项目。
背景	**选择无信号输入时的屏幕背景颜色。** 可以在 “**黑**” 或 “**蓝**” 中设定背景颜色。
透镜控制	**避免任何错误的镜头操作，如 “透镜焦点”、“透镜变点”和“透镜移位”。** 当设定为 “**开**”时，可以使用 “透镜焦点”、“透镜变点” 和“透镜移位”调整投影机的镜头。当进行完此调整后，建议您将此项目设定为 “**关**”以避免任何错误的镜头操作。
红外线接收器	**选择投影机前面和后面的遥控检测器 （红外线接收器）。** **前 & 后：**激活前后双方的检测器。 **前：**仅激活前面的检测器。 **后：**仅激活后面的检测器。
照明	**选择是否在投影机电源接通期间点亮上部面板的照明。** 当设定为 “**开**”时，投影机点亮上部面板的照明。当此项目设定为 “**关**”时，照明熄灭。
高海拔高度模式	**当在高海拔地区使用投影机时，请使用此项目。** **关：**在通常海拔高度使用投影机时，使用此设定。 **开：**当在海拔 1,500 m 以上的高度使用投影机时使用此设定。 **注** 当此项目设定为 “**开**”时，冷却扇的转速升高。

网络设定
当从电脑访问投影机或使用附带的“ImageDirector2”应用程序时，可以设定互联网协议，如 IP 地址、子网掩码、默认网关和 DNS 服务器。
完成所有设定后，使用 ↓ 按钮选择“Apply”，然后按 ENTER。

IP 地址设置	选择“自动（DHCP）”或“手动”。 当选择“手动”时，设定下述的“IP 地址”、“子网掩码”和“默认网关”。
IP 地址	设定投影机的 IP 地址。 （1.0.0.0 至 223.255.255.255）
子网掩码	设定投影机的子网掩码。 （1.0.0.0 至 255,255,255,255）
默认网关	为投影机设定默认网关。 （1.0.0.0 至 223.255.255.255）
主 DNS 服务器	设定要优先使用的 DNS 服务器。 （1.0.0.0 至 223.255.255.255）
副 DNS 服务器	设定代用 DNS 服务器。 （1.0.0.0 至 223.255.255.255）
MAC 地址	显示投影机 MAC 地址。无法改变设定。

注
要使用网络设定功能时，将功能 菜单中的“待机模式”设定为“标准”。（☞ 第 45 页）

设置菜单

设置菜单用于改变出厂预设设定。

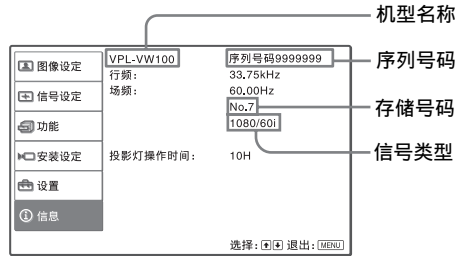
图像设定 | 信号设定 | 功能 | 安装设定 | 设置 | 信息

状态: 开
语言: 中文（简体字）
输入A信号选择: 分量
DVI信号选择: 视频信号输入GBR
彩色制式: 自动

选择: 设定:ENTER 返回: 退出:MENU

状态	**设定是否显示屏幕显示。** 设定为 “**关**” 以关闭除菜单、关闭电源时的信息、以及警告信息以外的屏幕显示。
语言	**选择在菜单中和屏上显示时所用的语言。**可使用的语言为：英语、荷兰语、法语、意大利语、德语、西班牙语、葡萄牙语、俄语、瑞典语、挪威语、日语、汉语 （简体中文）、汉语 （繁体中文）、韩国语和泰国语。
输入 A 信号选择	**选择从连接在 INPUT A 连接器上的设备输入的信号类型。** 通过用 INPUT 按钮选择 “输入 A”，选择来自设备的输入信号类型。 **自动：**自动选择输入信号类型。 **电脑：**从电脑输入信号。 **分量：**从 DVD 播放机 / 录像机、数码调谐器等输入分量信号。 **视频信号输入 GBR：**从电子游戏机或 HDTV 广播输入信号。 **注** 如果本项目设为 “**自动**” 时无法正确显示输入信号，请根据输入信号选择项目。
DVI 信号选择	**选择从连接在 DVI-D 连接器上的设备输入的信号类型。** 通过用 INPUT 按钮选择 “DVI”，选择来自设备的输入信号类型。 **自动：**自动选择输入信号类型。 **电脑：**从电脑输入信号。 **视频信号输入 GBR：**从电子游戏机或 HDTV 广播输入信号。 **注** 如果本项目设为 “**自动**” 时无法正确显示输入信号，请根据输入信号选择项目。 设定 “**DVI 信号选择**” 之前，请务必卸除 DVI 电缆以切断投影机和数码调谐器等之间的连接。
彩色制式	**选择输入信号的彩色制式。** **自动：**从 NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N 或 PAL60 中自动选择输入信号的彩色制式。 “**NTSC3.58**” – “**PAL-N**”**：**您可以手动将彩色制式设定为所选制式。 **注** 通常请将此项目设定为 “**自动**”。如果图像失真或没有色彩，请根据输入信号选择彩色制式。

信息菜单

信息菜单显示机型名称、序列号码、输入信号的水平和垂直频率以及投影灯的累计使用时间。

机型名称	显示机型名称 （VPL-VW100）和序列号码。
行频	显示输入信号的水平频率。
场频	显示输入信号的垂直频率。
存储号码	显示输入信号的预设存储号码。
信号类型	显示输入信号的类型。
投影灯操作时间	显示投影灯已经点亮的时间 （总使用时间）。

注

您无法改变以上各项显示内容。

有关预设存储器号码

本投影机有 42 种输入信号用预设数据 （预设存储器）。输入预设信号时本投影机自动检测信号类型，并从预设存储器中调用该信号的数据调整该信号以获得最佳图像。该信号的存储号码和信号类型显示在信息 ⓘ 菜单上。

还可通过信号设定 菜单调整预设数据。

本投影机对输入 A 和主要用于电脑信号的 DVI 频道还有 20 种用户存储，可分别存储非预设输入信号的调整数据的设定值。

第一次输入非预设信号时，存储号码显示为 0。当使用信号设定 菜单调整信号的数据时，信号数据将被登录在投影机中。如果登录了 20 种以上用户存储，最新的存储内容会自动取代最旧内容。

参见第 63 页的表格，查明信号是否已登录于预设存储器中。

注

当输入信号的纵横比不适合屏幕的尺寸时，部分画面显示为黑色。

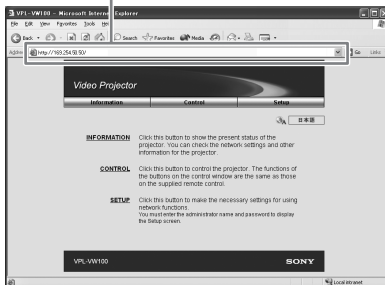
从电脑操作投影机

从电脑访问投影机

您可以在电脑显示器上查看投影机的当前状态并从电脑控制投影机。
确认已使用 LAN 电缆将投影机和电脑连接至路由器 / 集线器之后，打开投影机、电脑和路由器 / 集线器的电源。

1 在电脑上启动 Internet Explorer 5.0 （或更新版本）。

2 在 “Address”栏中输入 “http://xxx.xxx.xxx.xxx （投影机的 IP 地址）”，然后按键盘上的 ENTER 键。
可以使用安装设定菜单查看投影机的 IP 地址。（☞ 第 47 页）

在此处输入 IP 地址。

查看投影机的状态

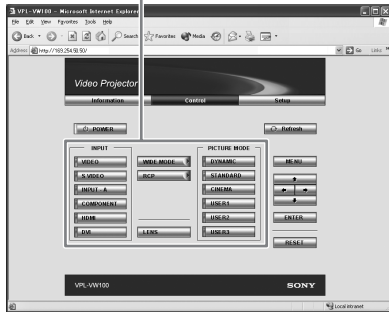
单击 “Information”。可以在电脑显示器上查看投影机的信息和当前状态。您可以在窗口中查看信息和状态，但无法改变设置。

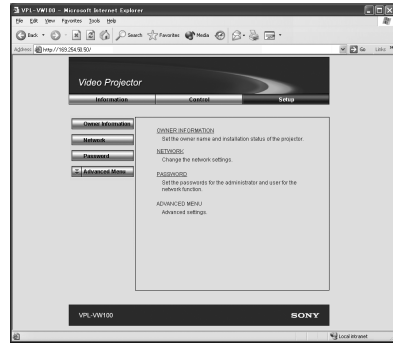
Information
显示投影机的当前状态。

Menu
显示投影机的当前设置。

从电脑控制投影机

单击 “Control”。可以在电脑显示器上执行投影机的多种调整和设置。
窗口中的按钮的功能与投影机附带的遥控器上的按钮相同。

投影机的设置将点亮。
改变投影机上的设置后，单击窗口右上角的 “Refresh”以更新状态。点亮的按钮会发生变化。

设定投影机

单击 “Setup”。出现 Password Properties 对话框。出厂时已将 “User”账户的名称预设为 “root”，该账户未设定密码。您可以设定用户信息等。单击各窗口下方的 “Apply”以按照各窗口中输入的数据更新投影机的状态。

用户和投影机信息

单击 “OWNER INFORMATION”。

Owner
输入用户信息。

Projector
输入投影机的位置。

Memo
根据需要输入备注。

网络设定

单击 “NETWORK”。

Internet Protocol (TCP/IP)
通常请设定 “Obtain an IP address automatically (DHCP)”。如果选择 “Specify an IP address”，请设定所需项目。

设定 “Administrator” 和 “User” 的密码

单击 “Password”。您可以为每个 “Administrator” 和 “User” 设定密码。出厂时已将 “Administrator” 账户的名称预设为 “root”。

高级设置

单击 “ADVANCED MENU” 以显示 Advertisement 按钮、PJ Talk 按钮和 SNMP 按钮。这些设置主要用于专业用途。有关 Advertisement 按钮和 PJ Talk 按钮的详细内容在 PROTOCOL 手册中有所说明。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

其他

本节介绍如何解决问题，如何更换投影灯和空气滤网等。

故障排除

如果发现投影机工作不正常，请使用下述说明尝试诊断并解决问题。如果问题依然存在，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

电源

症状	原因和对策
无法接通电源。	→ 请关严顶盖和投影灯盖。（☞ 第 56 页） → 将投影灯解锁手柄重设为原来位置。（☞ 第 57 页） → 关严滤网固定器。（☞ 第 60 页） → 检查警告指示灯。（☞ 第 54 页）

图像

症状	原因和对策
无图像。	→ 查看是否已经正确地连接了电缆。（☞ 第 15 页） → 使用 INPUT 按钮正确选择输入源。（☞ 第 26 页） → 将电脑的信号设定为从外接显示器输出。 → 将电脑的信号设定为仅向外部显示器输出。 → 根据输入信号在设置菜单中为 “输入 A 信号选择” 和 “DVI 信号选择” 选择 “电脑”、“分量” 或 “视频信号输入 GBR”。（☞ 第 48 页）
来自 INPUT A 连接器的图像色彩异常。	→ 根据输入信号在设置菜单中为“输入 A 信号选择”选择 “电脑”、“分量” 或 “视频信号输入 GBR”。（☞ 第 48 页）
由 DVI-D 连接器输入的图像颜色异常。	→ 根据输入信号在设置菜单中为 “DVI 信号选择” 选择 “电脑” 或 “视频信号输入 GBR”。（☞ 第 48 页）
来自 VIDEO INPUT 或 S VIDEO INPUT 连接器的图像色彩异常。	→ 在图像设定菜单的 “调整图像” 中调整图像。（☞ 第 40 页） → 在设置菜单中设定 “彩色制式”，使其与输入信号的彩色制式匹配。（☞ 第 48 页）
图像太暗。	→ 在图像设定菜单的 “调整图像” 中正确调整对比度或亮度。（☞ 第 40 页）
图像不清晰。	→ 调整聚焦。（☞ 第 22 页和第 27 页） → 镜头上有水气凝聚。接通投影机电源并放置约 2 小时。
冷却扇噪音大。	→ 检查安装设定菜单中 “高海拔高度模式” 的设定。（☞ 第 46 页）

图像闪动。	→ 在信号设定菜单中为 “调整信号”正确调整 “点相位”。（☞ 第 42 页）

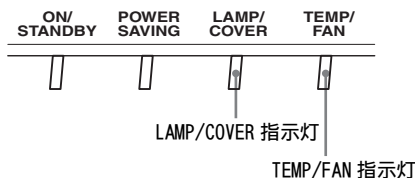
屏幕显示

症状	原因和对策
不出现屏幕显示。	→ 将设置菜单中的 “状态”设为 “开”。（☞ 第 48 页）

遥控器

症状	原因和对策
遥控器不工作。	→ 电池可能没电了。换上新电池。（☞ 第 10 页） → 按照正确的极性插入电池。（☞ 第 10 页） → 如果遥控检测器附近有荧光灯管，投影机可能会工作异常或发生错误操作。请改变安装设定菜单中 “红外线接收器”的设定。（☞ 第 46 页）

警告指示灯

如果投影机有故障，LAMP/COVER 或 TEMP/FAN 指示灯点亮或闪烁。

症状	原因和对策
LAMP/COVER 闪烁。	→ 关严顶板和投影灯盖，或牢固安装空气滤网固定器。（☞ 第 56 页和第 60 页）
LAMP/COVER 点亮。	→ 投影灯达到了使用寿命。更换投影灯。（☞ 第 56 页） → 投影灯的温度过高。等待投影灯冷却，然后再接通电源。（☞ 第 28 页）
TEMP/FAN 闪烁。	→ 冷却扇损坏。请向 Sony 专业人员咨询。
TEMP/FAN 点亮。	→ 内部温度异常高。检查并确认通风孔是否未被物品堵塞或是否正在高海拔高度使用投影机。
LAMP/COVER 和 TEMP/FAN 点亮。	→ 拔下交流电源线后重新连接，然后重新接通电源。如果指示灯仍然点亮，则表明电气系统发生了故障。请向 Sony 专业人员咨询。

信息一览表

警告信息

信息	原因和对策
操作温度过高！ 将在 1 分钟之后关灯。	→ 关闭电源。 → 检查并确认没有物品堵塞通风孔。（☞ 第 12 页）
频率在接受范围之外！	→ 频率超出规定范围。输入投影机频率接收范围内的信号。
请确认输入 A 信号选择的设定。	→ 从电脑输入 RGB 信号时，请将设置 菜单中的“输入 A 信号选择”设定为 “电脑”。（☞ 第 48 页）
请确认 DVI 信号选择的设定。	→ 从电脑输入 RGB 信号时，请将设置 菜单中的 “DVI 信号选择”设定为 “电脑”。（☞ 第 48 页） **注** 设定 “DVI 信号选择”之前，请务必卸除 DVI 电缆以切断投影机和数码调谐器等之间的连接。
请更换灯泡 / 滤网。 投影灯 / 滤网剩余寿命短于 50 小时。	→ 投影灯和空气滤网达到了使用寿命。（50 小时是大概数值。）
请更换灯泡 / 滤网。 投影灯 / 滤网剩余寿命短于 15 小时。	→ 投影灯和空气滤网达到了使用寿命。（15 小时是大概数值。）
请更换灯泡 / 滤网。 投影灯 / 滤网寿命已尽。 1 分钟内自动关灯。	→ 已到达更换投影灯的时期。更换投影灯。（☞ 第 56 页） → 同时也请更换空气滤网。（☞ 第 60 页） 更换投影灯和滤网后如果再次出现同样的信息，表明投影灯更换处理尚未完成。请检查投影灯更换处理步骤。（☞ 第 56 页）
请清洁滤网。	→ 已到达清扫空气滤网的时间了。请清扫空气滤网。（☞ 第 59 页）
请清洁滤网。 已完成操作？ 是 ↑ 不是 ↓	→ 已到达清扫空气滤网的时间了。请清扫空气滤网。（☞ 第 59 页） → 如果已清扫了空气滤网，请选择 “是”。如果尚未清扫空气滤网，请选择 “不是”。
可能正在高海拔地区使用。 切换到高海拔模式吗？ 是 ↑ 不是 ↓	→ 当在海拔 1,500 m 以上的高度使用投影机时：请选择 “是”设定为 “高海拔高度模式”。（☞ 第 46 页） → 如果在海拔低于 1,500 m 的地区使用投影机时出现本信息：请检查是否有物品遮挡通风孔。（☞ 第 12 页） **注** 当您选择 “是”时，冷却扇的转速升高。

其他

注意信息

信息	原因和对策
x⊖	→ 所选的输入端无信号输入。请检查连接。（☞ 第 15 页）
不适用！	→ 请按适当的按钮。
请检查网络设定。	→ 在网络设定窗口中输入了无效数值 （如空格）。请输入正确的数值。（☞ 第 47 页）

更换投影灯

用作光源的投影灯具有一定的使用寿命。当投影灯变暗、图像的色彩平衡异常或屏幕上出现 “请更换灯泡 / 滤网。投影灯 / 滤网寿命已尽。1 分钟内自动关灯。”信息时，表明投影灯可能已经达到其使用寿命。请及时更换新的投影灯 （未随机附带）。
请使用 LMP-H400 投影灯作为更换投影灯。
LMP-H400 投影灯附带有空气滤网。当您更换投影灯时，也是更换空气滤网的时间了。
每次更换投影灯时，也请更换新的空气滤网。
有关如何更换滤网的详细信息，请参见第 60 页上的 “更换空气滤网”。

使用投影机后更换投影灯时

关闭投影机电源，然后拔下电源线。请至少等候 1 小时让投影灯冷却。

注意

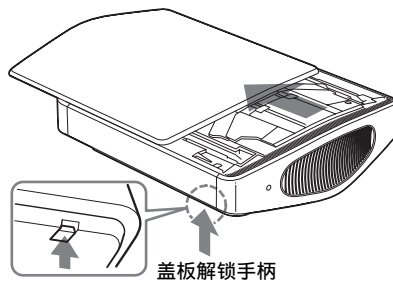
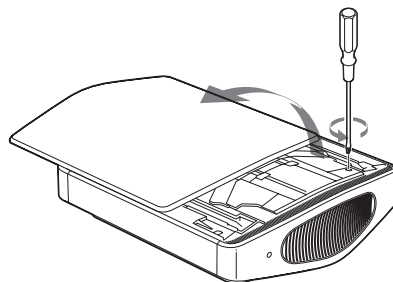
- 用 I/⏻ 键关闭电源后，投影灯的温度仍然很高。如果触摸投影灯，手指可能会被烫伤。更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。
- 请勿触摸镜头表面。如果触摸了镜头表面，请用软布擦去指纹。
- **投影机安装在天花板上时，更换投影灯时需格外小心。**

1 **关闭投影机电源并拔下交流电源线。**

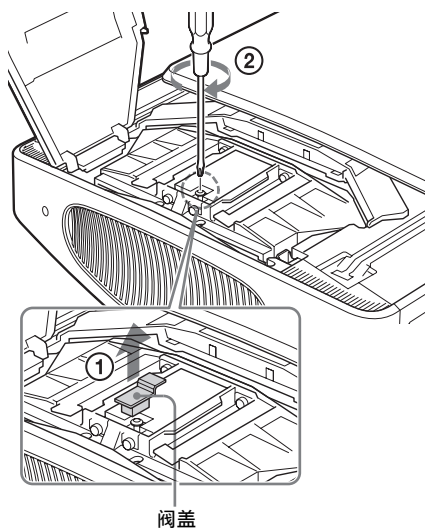
2 **将保护纸 （布）垫在投影机下面。**

注

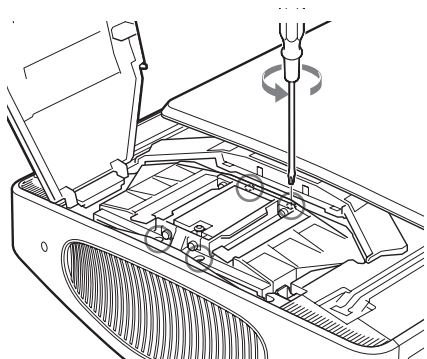
请务必将投影机放在平稳的表面。

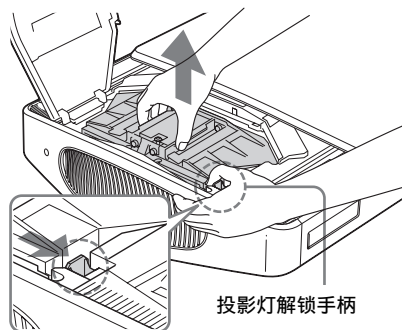
3 **一边抬起右侧的盖板解锁手柄，一边将顶盖滑动到尽头。**

4 **用十字螺丝刀拧松投影灯盖上的螺丝，然后打开投影灯盖。**

注

更换投影灯时，请务必使用轴长度为 130 mm 或更长的十字螺丝刀。

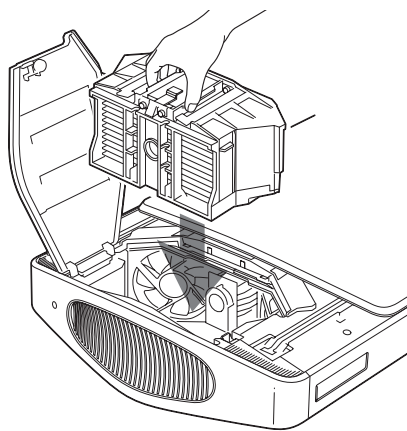
5 **卸下阀盖（①），然后用十字螺丝刀将放气阀顺时针转动（②）。**

注

顺时针转动放气阀直到听到放气阀处发出嘶嘶声。
嘶嘶声停止后，进行下一步操作。
投影灯内充有高压氙气。此氙气无臭无害。然而，如果您在释放气体前掉落或撞击投影灯，投影灯可能会炸裂。这可能会导致人身伤害。

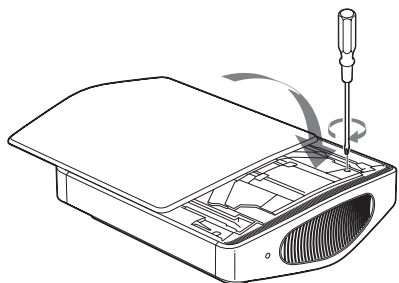
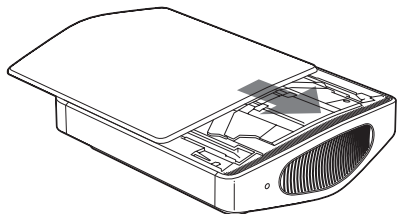
6 **用十字螺丝刀拧松投影灯装置上的四个螺丝。**

7 **用手握住投影灯装置，然后一边向箭头方向（向右）按投影灯解锁手柄，一边将投影灯装置径直拔出。**

注

由于投影灯装置较重（约 2.9 kg），请握紧投影灯以防其掉落。掉落投影灯可能会导致人身伤害或引起投影机故障。

8 **将新的投影灯装置一直插到头，直到其固定到位并听到咔嚓声。**

注

- 由于投影灯装置较重（约 2.9 kg），请在插入新的投影灯时将其握紧。掉落投影灯可能会导致人身伤害。
- 请小心不要触摸本机内部的冷却扇或光学器件。
- 确认投影灯解锁手柄已返回原来位置。否则将无法接通投影机电源。

9 **将在步骤 6 中松脱的四个螺丝拧紧，将投影灯装置固定在投影机上。**

10 **将在步骤 4 中松脱的螺丝拧紧，以关闭投影灯盖。**

11 **关上顶盖。**

12 **连接电源线并将投影机设定为待机模式。**

确认 ON/STANDBY 指示灯以红色点亮。

13 **将遥控器指向投影机，以如下顺序按遥控器上的下述按钮，按每个按钮的间隔不要超过 5 秒钟： RESET，←，→，ENTER。**

注意

请勿将手放进投影灯更换插槽，也不要让任何液体或其它物品落入插槽内，以免触电或发生火灾。

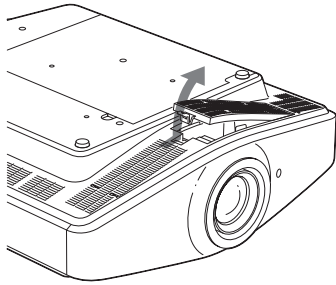
注

- 请务必使用 LMP-H400 投影灯进行更换。如果使用 LMP-H400 投影灯之外的投影灯，投影机可能发生故障。
- 在更换投影灯之前，请务必关闭投影机电源并拔下电源线。
- 如果投影灯没有牢固安装到位，投影机将不会接通电源。
- 如果顶盖和投影灯盖没有关严，投影机将不会接通电源。

清洁空气滤网

当屏幕上出现 “请清洁滤网。 已完成操作? 是 ⬆ 不是 ⬇” 信息时，您需要清扫空气滤网。
应该每 1250 小时清洁一次空气滤网。该数值根据投影机的使用环境或使用方法而异。1250 小时为近似值。

1 关闭电源，拔下电源线。

2 将保护纸 （布）垫在投影机下，并将投影机翻转过来。

3 卸下滤网固定器。

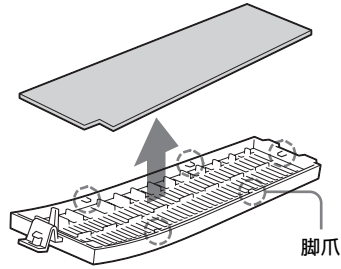
当由于在天花板上安装投影机而安装了空气滤网盖 （随机附带）时，请在卸下滤网固定器之前卸下空气滤网盖。有关空气滤网盖的详细信息，请参见 “要安装天花板安装用附属空气滤网盖时” (☞ 第 68 页)。

4 用真空吸尘器除去灰尘。

注

请小心不要让滤网被吸入到真空吸尘器中。

当难以用真空吸尘器除去滤网中的灰尘时，请进行下一步的操作。

5 拆下空气滤网。

6 用中性洗涤剂清洗空气滤网，然后将其放在阴暗处晾干。

7 将空气滤网安装固定在滤网固定器上的每个脚爪内 （5 处）。

8 安装滤网固定器。

注

如果滤网固定器没有关严，投影机将不会接通电源。

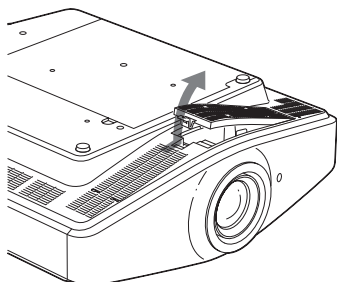
更换空气滤网

空气滤网应定期更换。当屏幕上出现“请更换灯泡 / 滤网。投影灯 / 滤网寿命已尽。1 分钟内自动关灯。”信息时，表明已到达更换投影灯和空气滤网的时期。请在每次更换投影灯时，务必立即更换新的空气滤网。

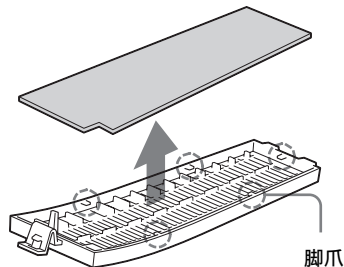
注

- 更换空气滤网对于保持投影机的高效率工作和防止故障是非常重要的。当屏幕上显示更换信息时，请及时更换空气滤网。此外应该每使用 1250 小时清扫一次空气滤网。
- 当从投影机上卸下空气滤网时，注意不要让灰尘或物体进入投影机内部。

1 **关闭电源，拔下电源线。**

2 **将保护纸（布）垫在投影机下，并将投影机翻转过来。**

3 **卸下滤网固定器。**

当由于在天花板上安装投影机而安装了空气滤网盖（随机附带）时，请在卸下滤网固定器之前卸下空气滤网盖。有关灰尘保护器的详细信息，请参见“要安装天花板安装用附属空气滤网盖时”（☞ 第 68 页）。

4 **拆下空气滤网。**

5 **将新的空气滤网安装固定在滤网固定器上的每个脚爪内（5 处）。**

6 **安装滤网固定器。**

注

如果滤网固定器没有关严，投影机将不会接通电源。

规格

系统

投影系统 SXRD 面板，1 镜头，投影系统
LCD 面板 0.61 英寸 SXRD 面板，微型透镜矩阵，6,220,800 像素（2,073,600 像素 × 3）
镜头 1.8 倍变焦镜头（电子）f18.7 至 33.7 mm/F2.54 至 3.53
投影灯 400 W 氙气灯
投影图像尺寸
40 至 300 英寸 （对角线测量）
彩色制式 NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 制式，自动 / 手动切换 （PAL60 制式不手动切换）
可接收的视频信号
15 kHz RGB/ 分量 50/60 Hz、逐行分量 50/60 Hz、DTV（480/60i，575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、1080/60p （仅限于 DVI 频道和 HDMI 频道）、1080/50p （仅限于 DVI 频道和 HDMI 频道）、复合视频、Y/C 视频
可接收的电脑信号
行频：19 至 72 kHz
场频：48 至 92 Hz
最大分辨率 1920 × 1080，场频： 60 Hz

输入

视频输入 VIDEO：唱机型
复合视频：1 Vp-p ± 2 dB 负同步 （75 Ω终端）
S VIDEO：Y/C 微型 DIN 4 芯型
Y （亮度）：1 Vp-p ± 2 dB 负同步 （75 Ω终端）
C （色度）：彩色同步 0.286 Vp-p ± 2 dB （NTSC）（75 Ω终端），或彩色同步 0.3 Vp-p ± 2 dB （PAL）（75 Ω终端）
Y/CB/PB/CR/PR
分量：唱机型
带同步信号 Y：1 Vp-p ± 2 dB 负同步 （75 Ω终端）
CB/PB：0.7 Vp-p ± 2 dB（75 Ω终端）
CR/PR：0.7 Vp-p ± 2 dB（75 Ω终端）
HDMI 数字 RGB/Y/CB(PB)CR(PR)
DVI-D （TMDS）
数字 RGB
INPUT A HD D 副 15 芯
模拟 RGB/ 分量：
R/CR （PR）：0.7 Vp-p ± 2 dB（75 Ω终端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75 Ω终端）
带同步信号 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 负同步 （75 Ω终端）
B/CB （PB）：0.7 Vp-p ± 2 dB（75 Ω终端）
SYNC/HD：复合同步输入：TTL 电平、正 / 负极性
水平同步输入：TTL 电平、正 / 负极性
VD：垂直同步输入：TTL 电平、正 / 负极性
TRIGGER 微型插孔
电源开启：直流 12 V，输出阻抗：4.7 k Ω
电源关闭： 0 V
REMOTE RS-232C：D 副 9 芯 （雌）
NETWORK RJ-45
10BASE-T/100BASE-TX

一般

尺寸 496 × 175 × 574 mm（宽 / 高 / 深）
重量 约 19 kg
电源要求 交流 100 至 240 V，0.8 至 1.95 A，50/60 Hz
功耗 最大 610 W
待机模式：10 W
ECO 模式： 0.5 W
工作温度 0 ℃至 35 ℃
工作湿度 35% 至 85% （无结露）
存放温度 -20 ℃至 +60 ℃
存放湿度 10% 至 90%

随机附件

遥控器 RM-PJVW100 （1）
AA （R6）尺寸电池 （2）
交流电源线 （1）
插头固定器 （1）
使用说明书 （1）
CD-ROM（ImageDirector2）（1）
空气滤网盖 （1）

设计和规格如有变更，恕不另行通知。

安全规则
UL60950、CSA No. 950、FCC B 类、IC B 类、EN60950 （NEMKO）、CE、C-Tick

选购附件

LMP-H400 投影灯 （更换用）
PSS-H10、PSS-610 投影机悬挂支架

有关电源连接的警告
请使用适用于当地电源的正确的电源线。

	美国、加拿大		欧洲		英国、爱尔兰、澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	YP-3	YP-12A	COX-07	*	YP-359
雌性端子	VM0089	YC-13	YC-13D	COX-02	VM0303B	YC-13
电线类型	SVT	SVT	H05VV-F	H05VV-F	CEE (13) 53 rd (OC)	VCTF
额定电压和电流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	12A/125V
安全合格标准	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENANHO

* 请使用符合各个国家 / 地区规章和规格的额定插头。

预设信号

下表显示您可以使用本机进行投影的信号和视频格式。
当输入下述预设信号以外的信号时，图像可能无法正常显示。

存储号码	预设信号		行频 (kHz)	场频 (Hz)	同步	尺寸 H
1	VIDEO/60	60 Hz	15.734	59.940	—	—
2	VIDEO/50	50 Hz	15.625	50.000	—	—
3	480/60i	DTV 480/60i	15.734	59.940	G/Y 同步或复合同步	—
4	575/50i	DTV 575/50i	15.625	50.000	G/Y 同步或复合同步 / 复合视频	—
5	480/60p	480/60p (逐行 NTSC)	31.470	60.000	G/Y 同步	—
6	575/50p	575/50p (逐行 PAL)	31.250	50.000	G/Y 同步	—
7	1080/60i	1035/60i, 1080/60i	33.750	60.000	G/Y 同步	—
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	G/Y 同步	—
9	1080/24PsF	1080/48i	27.000	48.000	G/Y 同步	—
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	G/Y 同步	—
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	G/Y 同步	—
12	1080/60p	1080/60p	67.500	60.000	—	—
13	1080/50p	1080/50p	56.260	50.000	—	—
21	640 × 350	VGA-1 (VGA350)	31.469	70.086	H- 正、V- 负	800
22		VESA 85 (VGA350)	37.861	85.080	H- 正、V- 负	832

存储号码	预设信号		行频（kHz）	场频（Hz）	同步	尺寸 H
23	640 × 400	NEC PC98	24.823	56.416	H- 负、V- 负	848
24		VGA-2 (TEXT)/VESA70	31.469	70.086	H- 负、V- 正	800
25		VESA 85 (VGA400)	37.861	85.080	H- 负、V- 正	832
26	640 × 480	VESA 60	31.469	59.940	H- 负、V- 负	800
27		Mac 13	35.000	66.667	H- 负、V- 负	864
28		VESA 72	37.861	72.809	H- 负、V- 负	832
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H- 负、V- 负	840
30		VESA 85 (IBM M4)	43.269	85.008	H- 负、V- 负	832
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正、V- 正	1024
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正、V- 正	1056
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正、V- 正	1040
34		VESA 75 (IBM M5)	46.875	75.000	H- 正、V- 正	1056
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正、V- 正	1048
36	832 × 624	Mac 16	49.724	74.550	H- 负、V- 负	1152
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 负、V- 负	1344
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 负、V- 负	1328
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正、V- 正	1312
40		VESA 85	68.677	84.997	H- 正、V- 正	1376
41	1152 × 864	VESA 70	63.995	70.019	H- 正、V- 正	1472
42		VESA 75	67.500	75.000	H- 正、V- 正	1600
44	1152 × 900	SUN LO	61.795	65.960	H- 负、V- 负	1504
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正、V- 正	1800
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正、V- 正	1696
50	1400 × 1050	SXGA +	63.981	60.020	H- 负、V- 负	1688
55	1280 × 768	1280 × 768/60	47.776	59.870	H- 负、V- 正	1664
56	1280 × 720	1280 × 720/60	44.772	59.855	H- 负、V- 正	1664
57	1920 × 1080	1920 × 1080/60	67.500	60.000	H- 负、V- 负	2200

当电脑上的 DDC 设定为关闭时，预设存储号码 44 有效。但是，根据电脑的不同，可能不支持投影机的屏幕分辨率，或有可能无法关闭 DDC。有关详细说明，请参阅电脑附带的使用说明书。

DDC （显示数据频道）允许电脑从显视器获得有关功能方面的信息。该功能还能够基于显视器的分辨率，自动输出最恰当的刷新率数值。

注

当输入上述预设信号以外的信号时，图像可能无法正常显示。

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

各个输入信号用预设存储号码

模拟信号

信号	预设存储号码
视频信号 （VIDEO INPUT 和 S VIDEO INPUT 连接器）	1，2
分量信号 （INPUT A 和 Y/CB/PB/CR/PR 连接器）	3 至 11
视频 GBR 信号 （INPUT A 连接器）	3 至 11
电脑信号 （INPUT A 连接器）	21 至 39，56

数字信号

信号	预设存储号码
分量信号 （HDMI 连接器）	3 至 8，10 至 13
视频 GBR 信号 （DVI-D 和 HDMI 连接器）	3 至 8，10 至 13
电脑信号 （DVI-D 连接器）	21 至 42，44，45，47，50，55 至 57
电脑信号 （HDMI 连接器）	26

输入信号和可调整 / 设定项目

根据输入信号的不同，菜单上的一部分项目无法调整。下表列出这些项目。
无法调整的项目不显示在菜单中。

调整图像菜单

项目	输入信号			
	视频信号输入或 S 视频信号输入（Y/C）	分量	视频信号输入 GBR	电脑
对比度	●	●	●	●
亮度	●	●	●	●
色彩	●（B & W 除外）	●	●	—
色调	●（只限于 NTSC3.58/ NTSC4.43、B & W 除外）	●	●	—
锐度	●	●	●	—
NR	●	●（只限于预设存储号码 3、4、7、8、9）	●（只限于预设存储号码 3、4、7、8、9）	—
黑度调整	●	●	●	—
迦玛校正	●	●	●	●
色温	●	●	●	●
高级光圈	●	●	●	●
RCP	●	●	●	●
彩色空间	●	●	●	●

●：可调整 / 能设定
—：不可调整 / 不能设定

信号设定菜单

项目	输入信号			
	视频信号输入或 S 视频信号输入（Y/C）	分量	视频信号输入 GBR	电脑
点相位	—	—	—	●*1
尺寸 H	—	—	—	●*1
移位	—	●	●	●*1

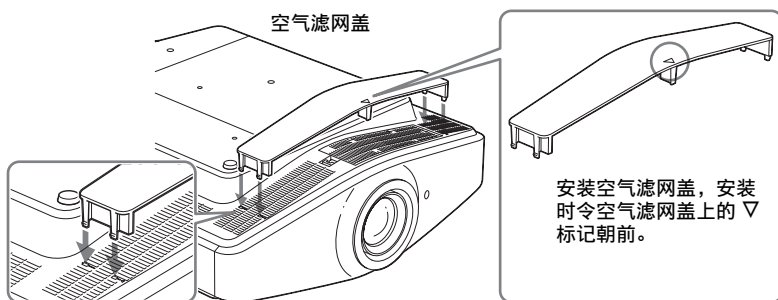
宽模式	●	● （只限于预设存储号码 3、4、5、6）	● （只限于预设存储号码 3、4、5、6）	—
DRC 模式	●	● （只限于预设存储号码 3、4、7、8、9）	● （只限于预设存储号码 3、4、7、8、9）	—
电影模式 *2	●	● （只限于预设存储号码 3、4、7、8、9）	● （只限于预设存储号码 3、4、7、8、9）	—
过扫描	—	●	●	—
屏幕区域 *3	—	● （只限于预设存储号码 7、8、9、12、13）	● （只限于预设存储号码 7、8、9、12、13）	—

●：可调整 / 能设定
—：不可调整 / 不能设定
*1：当输入 DVI 信号时，您不能调整此项目。
*2：对于预设存储号码 4，只有当信号设定 菜单中 “DRC 模式”设定为 “关”时，能够设定此项目。
*3：只有信号设定 菜单中 “过扫描”设定为 “开”时此项目有效。

天花板安装

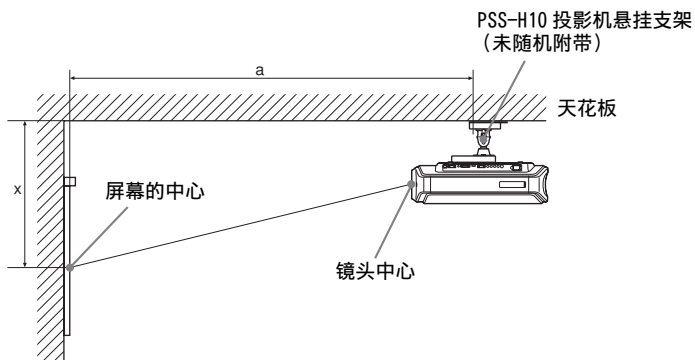
当在天花板上安装投影机时，请使用 PSS-H10 或 PSS-610 投影机悬挂支架。天花板安装用的投影距离如下所示。

要安装天花板安装用附属空气滤网盖时

当您使用 PSS-H10 或 PSS-610 投影机悬挂支架在天花板上安装投影机时，请安装附带的通风孔 （进气）用空气滤网盖以防止空气滤网被灰尘堵塞。

注

将投影机放在地板上使用时，请不要安装空气滤网盖。如果安装的话，空气滤网盖可能会破损。

当使用 PSS-H10 投影机悬挂支架时

a：屏幕和天花板安装单元的天花板侧的安装孔 （前侧）之间的距离
x：图像不会被截去或遮挡时的天花板和屏幕中心之间的距离

当使用纵横比为 16:9 的屏幕时

单位：mm

屏幕尺寸（英寸）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小距离	1475	2105	2735	3365	3995	4940	5885	6515	8090	9665
	最大距离	2368	3444	4520	5596	6672	8286	9900	10976	13666	16356
x	最小距离	249	374	498	623	747	934	1121	1245	1557	1868
	最大距离	590	751	913	1075	1237	1479	1722	1884	2288	2692

要计算安装尺寸 （SS：屏幕尺寸）时
a （最小） = 31.5 × SS + 214.8
a （最大） = 53.8 × SS + 216.1
a （最小） = 6.2263 × SS
x （最大） = 8.0876 × SS + 266

其他

当使用纵横比为 4:3 的屏幕时

单位：mm

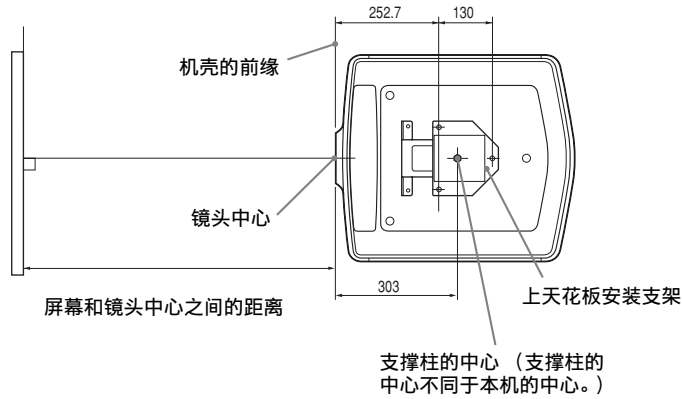
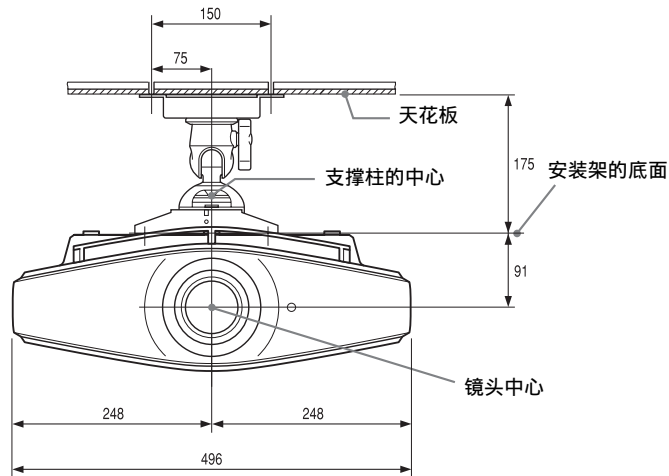
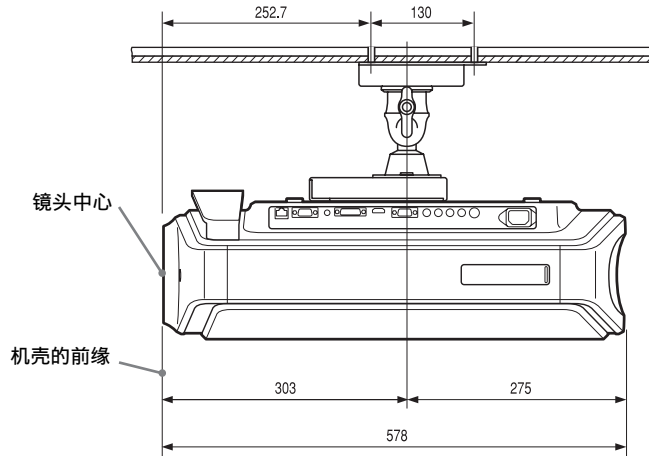
屏幕尺寸（英寸）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小距离	1757	2528	3299	4070	4841	5997	7154	7925	9853	11780
	最大距离	2850	4167	5483	6800	8117	10092	12068	13385	16677	19969
x	最小距离	305	457	610	762	914	1143	1372	1524	1905	2286
	最大距离	662	860	1058	1256	1454	1751	2048	2246	2740	3235

要计算安装尺寸 （SS：屏幕尺寸）时
a （最小） = 38.551 × SS + 214.8
a （最大） = 65.842 × SS + 216.1
a （最小） = 7.62 × SS
x （最大） = 9.8979 × SS + 266

安装 PSS-H10 投影机悬挂支架

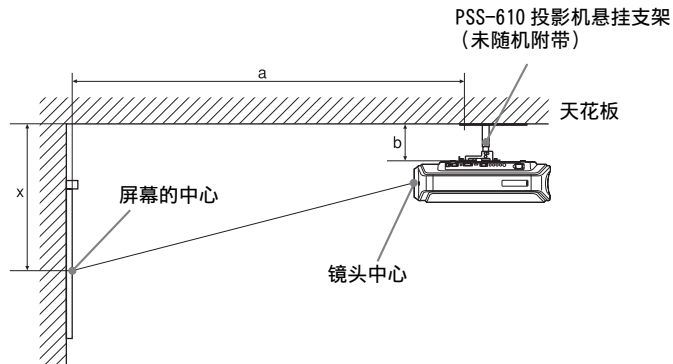
有关天花板安装的详细说明，请参阅 PSS-H10 销售商用安装手册。请务必向 Sony 专业人员咨询安装方法。
使用 PSS-H10 在天花板上安装投影机时的安装尺寸如下所示。

顶视图

安装投影机时令镜头中心与屏幕中心平行。

前视图

侧视图

其他

当使用 PSS-610 投影机悬挂支架时

a：屏幕和上天花板安装支架的安装孔 （前侧）之间的距离
b：从天花板到本机底面的距离
x：图像不会被截去或遮挡时的天花板和屏幕中心之间的距离

VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

当使用纵横比为 16:9 的屏幕时

单位：mm

屏幕尺寸（英寸）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小距离	1429	2059	2689	3319	3949	4894	5839	6469	8044	9619
	最大距离	2322	3398	4474	5550	6626	8240	9854	10930	13620	16310
x	最小距离	249	374	498	623	747	934	1121	1245	1557	1868
	最大距离	b+415	b+576	b+738	b+900	b+1062	b+1304	b+1547	b+1709	b+2113	b+2517
b		当使用 PSS-610 时，可在 150、175、200、250、275、300 mm 中调节									

要计算安装尺寸（SS：屏幕尺寸）时
a（最小）= 31.5 × SS + 168.8
a（最大）= 53.8 × SS + 170.1
x（最小）= 6.2263 × SS
x（最大）= 8.0876 × SS + 91 + b

当使用纵横比为 4:3 的屏幕时

单位：mm

屏幕尺寸（英寸）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小距离	1711	2482	3253	4024	4795	5951	7108	7879	9807	11734
	最大距离	2804	4121	5437	6754	8071	10046	12022	13339	16461	19923
x	最小距离	305	457	610	762	914	1143	1372	1524	1905	2286
	最大距离	b+487	b+685	b+883	b+1081	b+1279	b+1576	b+1873	b+2071	b+2565	b+3060
b		当使用 PSS-610 时，可在 150、175、200、250、275、300 mm 中调节									

要计算安装尺寸（SS：屏幕尺寸）时
a（最小）= 38.551 × SS + 168.8
a（最大）= 65.842 × SS + 170.1
a（最小）= 7.62 × SS
x（最大）= 9.8979 × SS + 91 + b

安装 PSS-610 投影机悬挂支架

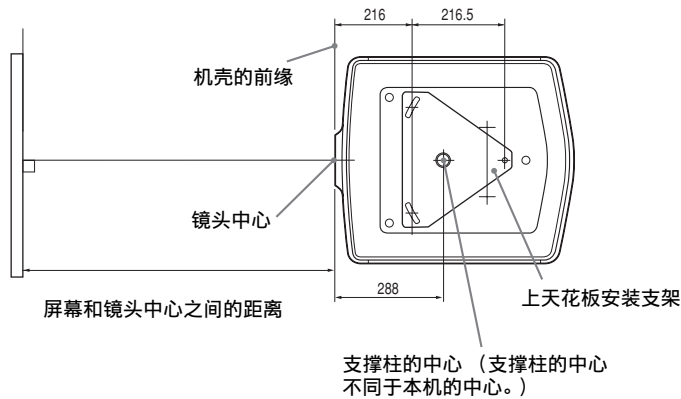
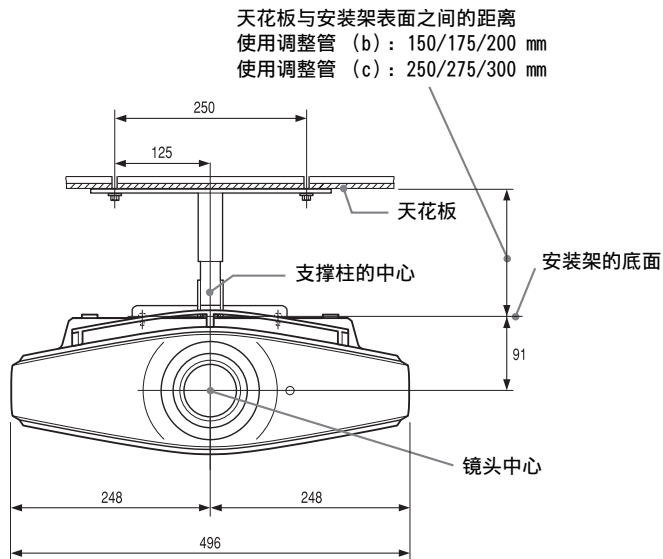
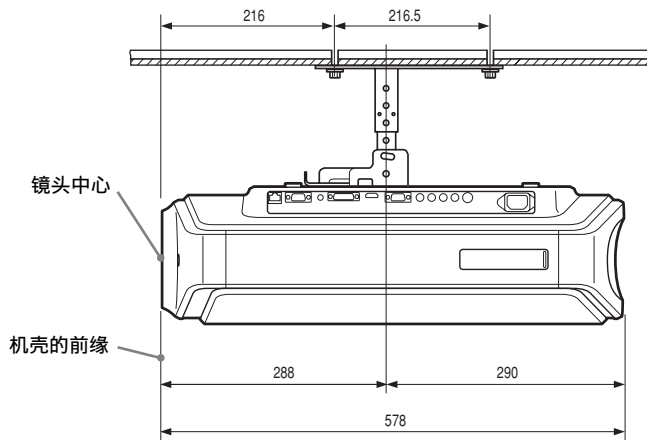
有关天花板安装的详细说明，请参阅 PSS-610 销售商用安装手册。请务必向 Sony 专业人员咨询安装方法。
使用 PSS-610 在天花板上安装投影机时的安装尺寸如下所示。

顶视图

安装投影机时令镜头中心与屏幕中心平行。

前视图

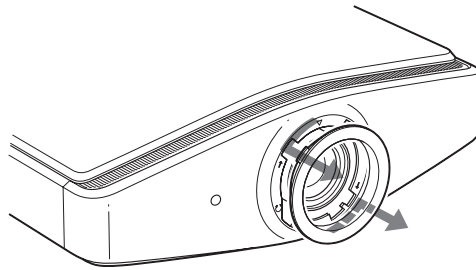
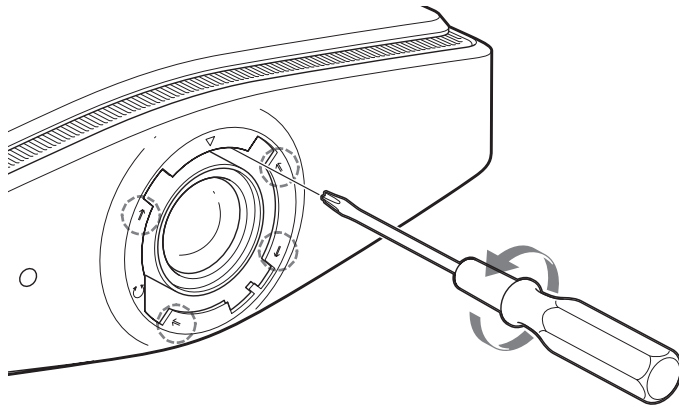
VPL-VW100
2-655-463-**01** (1)

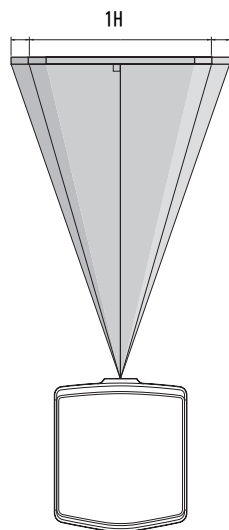
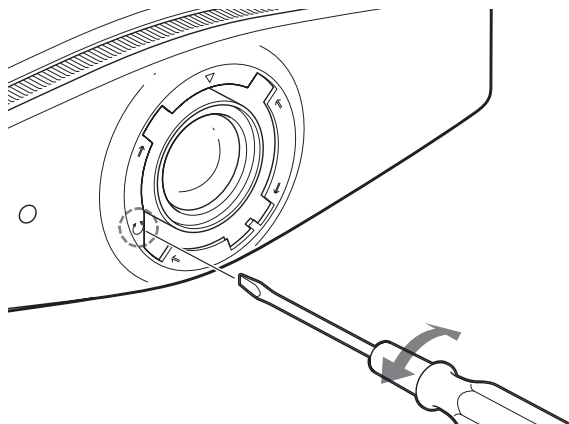
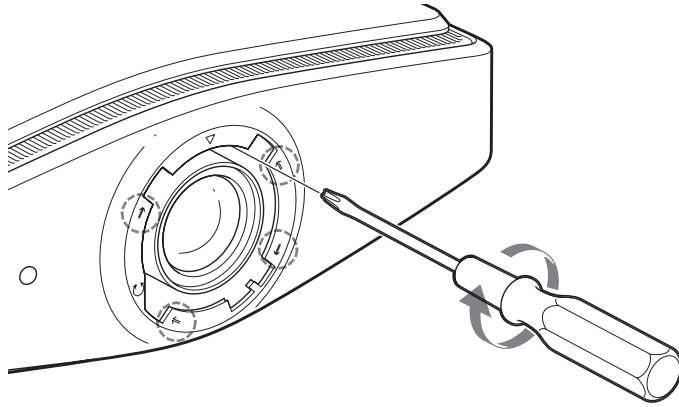
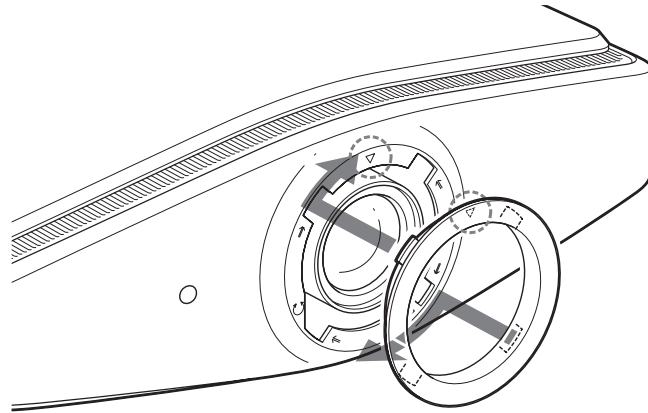
侧视图

对水平图像位置进行精细调节

注

有关如何精细调节水平图像位置的详细说明，请向专业人员咨询。当镜头划伤时，需要付费修理。
另外，调整图像位置时请勿直视镜头。

可以从镜头中心向右或向左调整镜头位置约 1 mm。

1 逆时针转动安装在镜头外围的环 （垫圈）将其卸下。

2 用十字螺丝刀逆时针拧松箭头所示位置的四个螺丝。

3 将平头螺丝刀插入位于左下方的镜头调节槽中 （将投影机放在地板、桌子等的表面，在投影机投影影像时），向您想要移动镜头的方向转动螺丝刀。

如果向左转动，镜头会向左移动，如果向右转动，镜头会向右移动。（调整范围约为± 1 mm。）

4 决定好镜头位置后，将十字螺丝刀依次插入镜头外围的四个螺丝所在处，拧紧四个螺丝将镜头固定到位。

5 安装环 （垫圈），顺时针转动环 （垫圈），令环内侧的 ▽ 标记与投影机上的 ▽ 标记对齐。

注

当您同时使用水平和垂直镜头移位功能并把镜头水平移位到最大限度时，图像会从镜头的中心向上最大移动 0.53 个屏幕尺寸。

索引

W

X

Y

Z